

II 基礎統計量報告

1. 記述分析の方針

筒井 淳也（立命館大学）

NFRJ-08Panel の調査データは様々なタイプの変数を含んでいるが、それは大きく分けて以下のようなものになる。

- (1) 調査期間中変化しない変数：性別、出生年などの基本属性。wave5 で組み入れた「回答者が 15 歳のときの親の職業」なども、期間中変化しない。また、実際には変化している可能性があるが、1 回しか観察していないためにデータ上は変化しない変数もある。学歴、居住地の都市度などである。各 wave に時事的に組み込んだ設問への回答もこれに当たる。
- (2) 調査期間中変化する変数：就業状態、結婚状態、健康状態など。ただし wave2 以降に脱落してしまった回答者については、変化を観察できない。
- (3) イベント（出来事）の発生を示す変数：引っ越し、持ち家購入、定年、子どもの誕生など。これは wave5 の調査票の設問でいえば問 4 と問 5 に当たる。

データの記述にあたっては、以上のような変数特性に応じて異なった方法をとることになる。

まず(1)の調査期間中変化しない変数については、wave ごとの単純な度数分布表を掲載し、必要に応じて解説を付すことにする。

次に(2)の調査期間中変化する変数についてであるが、これについては必要に応じて「パネル度数分布表」と「移行表」の 2 つ、あるいは「移行表」のみを掲載する。これらの記述方法は、クロスセクションデータの記述方法とはかなり性質の異なるものであるので、実際の記述を見て行く前に簡潔に解説をしておこう。

まずはパネル度数分布表（これは一般的な呼称ではないが）について例示して説明する。表 1-A は、wave2 から wave5 までの就業状態についてのものである（wave1 については選択肢のカテゴリーが異なるため、これを含めた記述については 4.2 章を参照してほしい。また、下記表の「仕事を探しているかは不明だが無職」というカテゴリーは、調査票の選択肢には存在しないが、個々の回答状況から新たに作ったカテゴリーである）。

表 1-A 就業状態の分布（n=1,775）

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
ついている	4,094	65.57	1,325	74.65	89.19
ついているが休職中	73	1.17	59	3.32	36.16
ついていないが仕事を探している	290	4.64	191	10.76	43.50
ついていない（仕事は探していない）	1,783	28.56	621	34.99	78.53
仕事を探しているかは不明だが無職	4	0.06	4	0.23	27.08
計	6,244	100.00	2,200	123.94	80.68

(n=1,775)

まず「全体」の度数は、調査期間中（この場合は wave2 から wave5）に観察された回数である。たとえば調査期間中に仕事に「ついている」という回答は、4,094 回観察されたことになる。「ついているが休職中」などの他の回答を含めると総計 6,244 の回答が得られている。もし wave2 時点（有効回答者数 1,622 人）から wave5 まで全く調査の脱落がなく（また wave2 で脱落していたが後の wave で復活しているケースがなく）、かつこの設問への無回答もないとすれば、 $6,488(=1,622 \times 4)$ 個の回答が得られるはずであるが、実際には 6,244 個の回答しか得られておらず、244 個の未観察が発生している。これは、（wave2 以降の）脱落が 201 回、（調査をしてもこの設問への）無回答が 43 回発生してしまったからである（脱落と無回答の度数は上記の表からは分からない）。脱落による欠損は（調査自体が特定の wave においてできなかったということなので）どの回答でも同じ数だけ発生するが（すなわち 201 個）、無回答は設問と wave ごとに異なった数になる。

次に「個体間」の度数である。たとえば 1,325 という数は、仕事に「ついている」という回答を観察期間中に 1 回でも行った個体（人）の数である。wave2 以降に調査対象となった人数は（表の下に記されている）1,775 人であるが、このうち 1,325 人は最低一回は仕事に「ついている」と回答している、ということである。逆に言えば、残りの 450 人は一度も「ついている」と回答しないまま調査を終了している、ということになる。右のコラムの 74.65 というパーセンテージは、全体の観察人数 1,775 人（これには 1 回だけしか調査されていない人も、すべての wave で調査できた人も同様に含まれている）に占めるこの 1,325 人の割合である。

最後に「個体内」のパーセンテージである。一番上の 89.19 という数値は、調査期間中一度でも「ついている」と回答した人の全期間の回答のうちの「ついている」という回答のパーセンテージである。つまり 10.81%は「ついている」と回答していないということで、ここからこのデータはある程度個体内の就業状態の変化を捉えられている、ということが分かる。パネルデータ分析は基本的に個人内の変動で同じく個人内の変動を説明することが主な目的となるので、個体内の変化が少ない変数は利用しにくくなる。

このように、「全体」では個々の観察が単位になっており、たとえば wave2 と wave4 の観察は、その観察が同一人物によるものかどうかとは無関係に観察数が集計されている。「その経験をしたのが誰かとは関係なく、全体として何回それが観察されたのか」が記述されている。これに対して「個体間」では、集計単位は個人である。「こういう経験をした個人はどれくらいいたのか」をそこから読み取ることができる。「個体内」では個人内部での変動を示しており、「変化を経験した人をとって見たとき、どのくらいの変化が生じているのか」が記述されている。

次に、移行表について説明する（対象は先ほどと同様に wave2 以降）。

表 1-B 就業状態の移行

	ついている	ついているが休職中	ついていないが仕事を探している	ついていない（仕事は探していない）	仕事を探しているかは不明だが無職	計
ついている	2,697	32	63	120	0	2,912
%	92.62	1.1	2.16	4.12	0.00	100.00
ついているが休職中	33	9	5	12	0	59
%	55.93	15.25	8.47	20.34	0.00	100.00
ついていないが仕事を探している	79	4	85	44	1	213
%	37.09	1.88	39.91	20.66	0.47	100.00
ついていない（仕事は探していない）	91	5	51	1,117	2	1,266
%	7.19	0.39	4.03	88.23	0.16	100.00
仕事を探しているかは不明だが無職	1	0	1	2	0	4
	25	0	25	50	0.00	100.00
計	2,901	50	205	1,295	3	4,454
%	65.13	1.12	4.6	29.07	0.07	100.00

こちらは先ほどの度数分布表よりも見方が簡単である。まず左上の 2,697 という数値は、ある wave で「ついている」と回答があり、次の wave でも「ついている」と回答があった個数を示している。同じように、その右の 32 という数値は、「ついている」から「ついているが休職中」への移行が観察された回数である。この回数は人数ではないことに留意してほしい。たとえば調査期間中一貫して「ついている」と回答した人は、計 4 回が 2,697 のなかにカウントされることになる。

右下の 4,454 という数値は、就業状態について連続して回答があった個数である。移行（同じカテゴリーへの移行を含む）が観察されるには、当該設問に回答があったすぐ後の wave で再び回答がなされていなければならない。たとえば wave2、3、5 で就業状態の回答をしている（wave4 が脱落あるいは無回答の）人については、その人における移行観察数は wave2 から 3 の移行の 1 回のみとなる。もし脱落も無回答もなければ、移行は 4,866 (=1,622×3) 回観察されるはずである。実際にはそのうち 91.53%しか観察されていないということが分かる。

パネルデータの記述の方法は、これまでに紹介した 2 つ以外にもある。たとえば wave ごとにある変数の分布がどのように変化するかをみる、という方法がある。「wave1（2009 年調査）だと有業者の割合は 60%であったのが、wave2 では 62%になり、wave3 では…」のようにデータ記述する方法である。しかしこの示し方は、パネル調査ではなく反復的な横断調査でもできる。パネル調査の特性は、同一個体のなかの変化をみるところにあり、そのためにはこの変化がどの程度生じているのかを示す必要がある。したがって今回の報告書では、wave ごとに特定の変数の分布がどのように変化したかを記述するのではなく、観察期間中にどの程度変化が生じたのかを記述する、という方針を採用する（ここで、5 年間の観察期間のどの期間にどの程度変化が生じているのかをみることもできるだろうが、記述の量が格段に増えてしまうので、この記述は行わない）。

ここで留意すべき点は、変化のあり方が個体の特性ごとに異なる可能性がある、ということだ。典型的なパネル分析の手法である固定効果モデルでは、観察期間中

に変化しない、あるいは変化しにくい個体の特性（性別、出生年、学歴、本人 15 歳時の親の職業等）の効果を、観察されないその他の個体効果と一緒に消し去り、そのことによって観察期間内において変化する要因の効果をより適切に推定する、という方針がとられる。このとき、たとえば性別ごとに（変化する）要因の効果が異なる場合でも、固定効果推定では男女の効果の（重み付け）平均が推定されることになる。

このとき、場合によっては個体の特性ごとに変化する要因の効果を見ていったほうが好ましいこともある。たとえば男女で効果の向きが著しく異なる場合、男女の回答者を分析に一緒に使ってしまうと効果が薄まったり相殺されたりすることも考えられる。

どのような個体効果がどのような効果の差を産むのかは、記述分析ではなく実際にパネルデータ分析を試みないとわからないが、少なくとも基本属性ごとに著しく変化のあり方が異なるかどうかは記述分析の段階でもみておいてよいだろう。基本属性といってもいろいろあるので、ここでは性別や年齢階層ごとに変化のあり方が異なるのかどうかをチェックし、比較的明確に差がある場合にはそれを示して解説をする、という方針を採用する。

最後に(3)のイベントの記述方法である。(2)で取り扱う変数が、ある状態を表す変数であるのに対して、イベント変数は前回調査の終了時点から今回調査までに特定の出来事が生じたかどうかを表している。とはいえ、パネルデータの文脈では、イベントの前後で生じる状態の変化に注目される。たとえば引っ越しの発生は、直接には住所がイベントの前後で異なるということを示している。引っ越し前後で仕事や居住地域の都市度が異なるかどうかは、他の変数を見ていくか、それがなければ推測するしかない。

パネルデータ分析の場合のイベント変数の用途には、①説明変数に投入し、その前後で被説明変数に変化があるのかどうかを見る、②状態移行をダブルチェックする、といった使用方法がある。

2. 基本属性および1回きりの設問への回答の分布

まず、回答者の基本属性の分布について説明する。基本属性には性別、出生年、年齢、学歴、都市規模、DID（人口集中地区）があり、本節では、順にこれらの分布を記述する。

2.1 性別、出生年、年齢、学歴、都市規模、DID

福田 亘孝（青山学院大学）

最初に表 2.1 で回答者の出生年を見てみると、三つの出生コーホートの比率は、ほぼ 1/3 ずつになっている。すなわち、wave1 では 1936-50 年出生コーホートの占める割合は約 3 割、1951-64 年出生コーホートも約 3 割、1965-80 年出生コーホートの割合も約 3 割である。さら wave1 から wave5 まで、この割合はほとんど同じである。つまり、特定の出生コーホートの脱落（attrition）率が際立って高いのではなく、どのコーホートもほぼ同じ比率でサンプルの脱落は発生していることになる。続いて年齢構成について注目すると、回答者が加齢したため wave1 から wave5 にかけて若年者層が少なくなり、高齢者層が増える傾向がわずかながら認められる（表 2.2）。すなわち、wave1 では 28-39 歳の年齢層は 26% を占めていたが、wave5 では 5% ほど減少している。他方、70-77 歳の年齢層は wave1 では 6% 前後に過ぎなかったが、wave5 では 10% に増加している。要するに、wave を重ねるごとに回答者全体の年齢が上昇している。

本人の学歴の分布については、全体としては中学校が約 10%、高校が約 45%、専門学校が約 10%、短大・高専が約 10%、大学・大学院が約 20% の構成になっている（表 2.3）。ここで注目すべき点は脱落率が学歴によってかなり異なっていることである。特に、中学校卒で脱落するケースが多く、wave5 までに回答者が 20% ぐらい減少してしまう。しかし、大学卒や短大・高専卒のカテゴリーでは 15% 弱の脱落率にとどまっている。従って、wave が進むにつれて低学歴層で脱落が高く、高学歴層で低くなる傾向が全体として見られる。

続いて、表 2.4 で都市規模を見てみると、全体の約 25% が「21 大都市」の回答者である一方、「人口 10 万人以上」の市は約 40% になっている。そして、残りが「その他の市町村」で占められている。興味深いことに、大都市ほど調査回答者の脱落率が高いわけではない。例えば、「21 大都市」では wave5 までに 1 割前後の回答者が脱落しているが、「その他の市町村」では 2 割程度、回答者が減ってしまう。もちろん、wave 間で居住地域を移動した回答者もいるので、都市規模と脱落率との関係についてはより詳細な分析が必要である。しかし、その点を考慮しても都市規模が大きくなるにつれて脱落率も上昇するとは考えにくい。同様に、都市化の程度とサンプルの脱落率にもはっきりした関連は認められない（表 2.5）。すなわち、人口集中地区に居住する回答者が 6 割、非人口集中地区の居住者が 4 割であった。そ

して、wave5までに人口集中地区でも非人口集中地区でも回答者のほぼ2割がサンプルから脱落している。その結果、人口集中地区居住者と非人口集中地区の居住者の割合はほとんど変動していない。こうした知見をふまえると、居住地域のタイプが違っていても、サンプルからの脱落率にはあまり差がないと考えられる。

表2.1 出生年

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
1936-1950	643	579	559	539	553	2,873
%	34.2	35.7	36.0	35.6	34.7	35.2
1951-1964	586	506	485	480	506	2,563
%	31.2	31.2	31.2	31.7	31.7	31.4
1965-1980	650	537	511	496	535	2,729
%	34.6	33.1	32.9	32.7	33.6	33.4
計	1,879	1,622	1,555	1,515	1,594	8,165
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.2 年齢

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
28-39歳	488	359	306	271	250	1,674
%	26.0	22.1	19.7	17.9	15.7	20.5
40-49歳	419	370	342	319	351	1,801
%	22.3	22.8	22.0	21.1	22.0	22.1
50-59歳	416	344	342	347	359	1,808
%	22.1	21.2	22.0	22.9	22.5	22.1
60-69歳	442	422	407	395	404	2,070
%	23.5	26.0	26.2	26.1	25.4	25.4
70-77歳	114	127	158	183	230	812
%	6.1	7.8	10.2	12.1	14.4	9.9
計	1,879	1,622	1,555	1,515	1,594	8,165
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.3 本人学歴

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
中学校	209	168	157	150	170	854
%	11.2	10.4	10.2	10.0	10.7	10.5
高校	819	709	684	663	698	3573
%	43.9	44.0	44.3	44.1	44.1	44.1
専門学校	205	172	164	158	172	871
%	11.0	10.7	10.6	10.5	10.9	10.7
短大・高専	205	187	178	178	183	931
%	11.0	11.6	11.5	11.8	11.6	11.5
4年制大学	379	329	315	313	319	1655
%	20.3	20.4	20.4	20.8	20.1	20.4
大学院	38	35	35	32	31	171
%	2.0	2.2	2.3	2.1	2.0	2.1
その他	12	10	10	10	11	53
%	0.64	0.62	0.65	0.66	0.69	0.65
計	1867	1610	1543	1504	1584	8108
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.4 都市規模

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
21大市	473	419	412	409	412	2125
%	25.2	25.8	26.5	27.0	25.9	26.0
10万人以上の市	758	660	636	614	651	3319
%	40.3	40.7	40.9	40.5	40.8	40.7
その他	648	543	507	491	530	2719
%	34.5	33.5	32.6	32.4	33.3	33.3
海外	0	0	0	1	1	2
%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
計	1879	1622	1555	1515	1594	8165
%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.5 DID

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
人口集中地区	1197	1030	998	963	1000	5188
%	63.7	63.8	64.6	63.9	62.7	63.7
非人口集中地区	682	584	547	544	593	2950
%	36.3	36.2	35.4	36.1	37.2	36.2
海外	0	0	0	1	1	2
%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
計	1879	1614	1545	1508	1594	8140
%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

2.2 1回きりの設問

蟹江教子（宇都宮共和大学）

住まい方や家族の状況

表 2.6～2.12 は、住まい方や家族の状況について、①二世帯住宅かどうか、②単身赴任や学業、入院などの理由で一時的な別居者がいるか、③一緒に暮らしている人に看病や介護が必要な人がいるか、④別居している家族や親族に、(主に回答者が)看病や介護を担っている人がいるか、⑤養子や継子・里子など実子以外の子どもがいるか、⑥養親や継親・里親など実親以外の親がいるか、という 6 項目について、あてはまるものに丸をつけるという複数回答方式でたずねている。調査票では、無回答と区別するために、6 つの項目いずれにも該当しない回答者のために「あてはまるものはない」という選択肢を設けている。

全体的な傾向としては、4 分の 3 が「あてはまるものはない」と回答しており、6 項目のうち、どれか一つ、あるいは複数にあてはまるという回答者は 4 分の 1 であった。比較的多かったのは二世帯住宅に住んでいる(表 2.6)、一時的な別居者がいる(表 2.7)、家族に要看病・介護者がいる(表 2.8)であったが、いずれの回答も 1 割に満たなかった。

養子や継子・里子など実子以外の子どもがいる(表 2.10)、養親や継親・里親など実親以外の親がいる(表 2.11)については、極めて僅かであった。

現在の家計の状況

現在の家計の状況(表 2.13)については、「ふつう」という回答が半数をやや超しているが、2 割が「どちらかといえば苦しい」と答えており、「苦しい」を加えると 3 割に近かった。一方、「どちらかといえばゆとりがある」という回答は 1 割強であり、「ゆとりがある」という回答は 4%にすぎず、両者(「どちらかといえばゆとりがある」「ゆとりがある」)を足しても 2 割に満たなかった。

問 26 は現在の家計の状況についての主観的評価を問うものであり、「苦しい」と回答しているからといって、必ずしも所得が低いわけではなく、逆に「ゆとりがある」と答えていても所得そのものは低い場合もありうる。しかし、主観的評価と客観的指標である所得金額との間には相関が認められることが多く、3 割近い回答者が程度の差はあるにせよ苦しいと評価していることを看過してはいけないうらう。

子どものころの同居者

子ども(15 歳)のころ一緒に住んでいた人は、母親(表 2.16)という回答が最も多く 9 割を超えており、父親(表 2.15)、きょうだい(表 2.17)がそれぞれ 9 割弱であった。祖父母は 3 割(表 2.18)であり、その他(表 2.19)という回答も若干あった。これらの結果より、一人親の場合「父と子」よりも「母と子」の方が多く、7 割が核家族、3 割が 3 世代が同居する直系家族であると考えられる。

子どものころの居住場所

子ども（15歳）のころ住んでいた場所まで、現在の住まいから片道で要する時間について、「現在の住まいと同じ」「15分未満」「15分～30分未満」「30分～60分未満」「1時間～3時間未満」「3時間以上」という6つの選択肢から回答してもらったところ、「3時間以上」が2割で最も多かった。しかし、いずれの回答も1割強から2割弱あり分散していた（表2.20）。

回答者の3割は「現在の住まい」あるいは「15分未満」という、比較的近い場所に住んでおり、「15分以上30分未満」を加えると5割弱にまで増加していた。

子どものころの家計の状況

表2.21は、子どものころの家計の状況である。当時の平均的な世帯と比べて「ふつう」という回答が5割弱で最も多かった。平均的な世帯よりも「どちらかというどと苦しい」は2割強、「苦しい」が1割であり、両者を合計すると3割が平均に満たないと評価していた。一方、「ゆとりがあった」「どちらかというどとゆとりがあった」は、両者を合計すると2割であった。

子どものころの父親と母親の状況

15歳のころの父親と母親の状況についてみてみよう。

9割強が「父親は健在だった」と回答していたが、「(死亡して)いなかった」「(離婚して)いなかった」という回答も若干みられた（表2.22）。父親の就業形態は「常用雇用されている一般従業員」が半数を超えており、「自営業」が3割、「経営者・役員」、「自営業の家族従業員」と続いていた（表2.23）。父親の職種は「技能・労務・作業」が3割強、「農林漁業」が2割弱、「管理」、「販売・サービス」、「専門・技術」、「事務・営業」がそれぞれ1割前後であった（表2.24）。

表2.25～2.28は、子どものころを「0歳～5歳」「小学校低学年」「小学校高学年」「中学生」という4つの時期にわけて、父親が1年以上仕事についていたかどうかたずねたものである。「0歳～5歳」では約9割弱（表2.25）、「小学校低学年」（表2.26）、「小学校高学年」（表2.27）では9割を超えており、「中学生」（表2.28）ではほとんどの父親が仕事についていた。

母親については、ほとんどが「健在だった」と回答しているが、「(死亡して)いなかった」「(離婚して)いなかった」という回答も散見された（表2.30）。

母親の場合、3割は無職（専業主婦）であり、「臨時雇い・パート・アルバイト」「自営業の家族従業員」がそれぞれ2割、「常用雇用されている一般従業員」は1割強であった（表2.31）。母親の職種では「販売・サービス」が最も多く、「農林漁業」「技能・労務・作業」と続いていた（表2.32）。

成長するに従い、母親が仕事をしていたという回答が増加し、「0歳～5歳」では、4割をやや超す程度であったが（表2.33）、「小学校低学年」になると5割（表2.34）、

「小学校高学年」では 6 割（表 2.35）、「中学生」では 7 割を超えるという結果であった（表 2.36）。その一方、「中学を卒業するまでずっと仕事をしていなかった」という回答も 2 割程度あった（表 2.37）。

子どものころの祖父母との同居経験

祖父母と一緒に暮らしていたかどうか、子どものころを「0 歳～5 歳」「小学校低学年」「小学校高学年」「中学生」という 4 つの時期にわけてたずねた。

「0 歳～5 歳」（表 2.38）では、4 割以上が一緒に暮らしていたと回答しているが、「小学校低学年」（表 2.39）、「小学校高学年」（表 2.40）と年齢が高くなるに従い、その割合はわずかに減少していた。しかし、「中学生」（表 2.41）になると、微増に転じていた。小学校高学年までは、死亡などの理由により祖父母と一緒に暮らす人の割合は減少傾向にあるが、その後は高齢者のみの暮らしが難しくなったり介護が必要になるなどの理由により増加傾向にあると考えられる。

子どものころ（中学校を卒業するまで）、「祖父母と暮らしていたことはない」という人は半分に満たなかった（表 2.42）。

表2.6 問25.①二世帯住宅

	度数	%
当てはまる	128	8.2
当てはまらない	1440	91.8
計	1568	100.0

表2.7 問25.②一時的な別居者

	度数	%
当てはまる	119	7.6
当てはまらない	1449	92.4
計	1568	100.0

表2.8 問25.③要看病介護家族

	度数	%
当てはまる	118	7.5
当てはまらない	1450	92.5
計	1568	100.0

表2.9 問25.④看病介護担う家族

	度数	%
当てはまる	40	2.6
当てはまらない	1528	97.5
計	1568	100.0

表2.10 問25.⑤実子以外の子ども

	度数	%
当てはまる	14	0.9
当てはまらない	1554	99.1
計	1568	100.0

表2.11 問25.⑥実親以外の親

	度数	%
当てはまる	14	0.9
当てはまらない	1554	99.1
計	1568	100.0

表2.12 問25.⑦あてはまるものなし

	度数	%
当てはまる	1194	76.2
当てはまらない	374	23.9
計	1568	100.0

表2.13 問26.現在の家計状態

	度数	%
ゆとりがある	68	4.3
どちらかといえばゆとりがある	203	12.8
ふつう	848	53.6
どちらかといえば苦しい	347	21.9
苦しい	116	7.3
計	1582	100.0

表2.14 問29.同居者（複数回答） 自分自身

	度数	%
当てはまる	1583	100.0
計	1583	100.0

表2.15 問29.同居者（複数回答） 父親

	度数	%
当てはまる	1423	90.0
当てはまらない	159	10.1
計	1582	100.0

表2.16 問29.同居者（複数回答） 母親

	度数	%
当てはまる	1517	95.9
当てはまらない	65	4.1
計	1582	100.0

表2.17 問29.同居者（複数回答） きょうだい

	度数	%
当てはまる	1409	89.1
当てはまらない	173	10.9
計	1582	100.0

表2.18 問29.同居者（複数回答） 祖父母

	度数	%
当てはまる	478	30.2
当てはまらない	1104	69.8
計	1582	100.0

表2.19 問29.同居者（複数回答） その他

	度数	%
当てはまる	52	3.3
当てはまらない	1530	96.7
計	1582	100.0

表2.20 問30.居住場所

	度数	%
現在の住まいと同じ場所	271	17.2
15分未満	249	15.8
15分～30分未満	194	12.3
30分～1時間未満	270	17.1
1時間～3時間未満	289	18.3
3時間以上	306	19.4
計	1579	100.0

表2.21 問31.15歳時の家計状態

	度数	%
ゆとりがあった	100	6.3
どちらかといえばゆとりがあった	224	14.2
ふつう	743	46.9
どちらかといえば苦しかった	357	22.6
苦しかった	159	10.0
計	1583	100.0

表2.22 問32.15歳時の父親の状況

	度数	%
健在だった	1444	92.1
いなかった (死亡)	87	5.6
いなかった (離婚)	34	2.2
その他	3	0.2
計	1568	100.0

表2.23 問32付問1. (ア) 父親就業形態

	度数	%
経営者・役員	92	6.4
常時雇用されている一般従業者	746	52.0
臨時雇い・パート・アルバイト	23	1.6
派遣・契約・嘱託社員	17	1.2
自営業主	455	31.7
自営業の家族従業者	84	5.9
内職	1	0.1
無職	17	1.2
計	1435	100.0

表2.24 問32付問1. (イ) 父親職種

	度数	%
専門・技術	143	10.0
管理	166	11.6
事務・営業	130	9.1
販売・サービス	163	11.3
技能・労務・作業	504	35.1
農林漁業	255	17.8
その他	59	4.1
無職	17	1.2
計	1437	100.0

表2.25 問32付問1. (ウ) 父親就業
0歳～5歳

	度数	%
0歳～5歳の頃	1261	89.1
回答なし	154	10.9
計	1415	100.0

表2.26 問32付問1. (ウ) 父親就業
小学校低学年

	度数	%
小学校低学年の頃	1285	90.9
回答なし	129	9.1
計	1414	100.0

表2.27 問32付問1. (ウ) 父親就業
小学校高学年

	度数	%
小学校高学年の頃	1297	91.7
回答なし	117	8.3
計	1414	100.0

表2.28 問32付問1. (ウ) 父親就業
中学生

	度数	%
中学生の頃	1404	99.2
回答なし	11	0.8
計	1415	100.0

表2.29 問32付問1. (ウ) 父親就業
中学卒業まで仕事はしていなかった

	度数	%
中学卒業まで仕事はしていなかった	1	0.1
回答なし	1414	99.9
計	1415	100.0

表2.30 問32.15歳時の母親の状況

	度数	%
健在だった	1528	97.5
いなかった (死亡)	27	1.7
いなかった (離婚)	12	0.8
その他	1	0.1
計	1568	100.0

表2.31 問32付問1. (ア) 母親就業形態

	度数	%
経営者・役員	22	1.5
常時雇用されている一般従業者	197	13.0
臨時雇い・パート・アルバイト	338	22.3
派遣・契約・嘱託社員	13	0.9
自営業主	105	6.9
自営業の家族従業者	322	21.3
内職	83	5.5
無職	435	28.7
計	1515	100.0

表2.32 問32付問1. (イ) 母親職種

	度数	%
専門・技術	57	3.8
管理	10	0.7
事務・営業	102	6.8
販売・サービス	362	24.0
技能・労務・作業	210	13.9
農林漁業	232	15.4
その他	98	6.5
無職	435	28.9
計	1506	100.0

表2.33 問32付問1. (ウ) 母親就業
0歳～5歳

	度数	%
0歳～5歳の頃	645	43.8
回答なし	829	56.2
計	1474	100.0

表2.34 問32付問1. (ウ) 母親就業
小学校低学年

	度数	%
小学校低学年の頃	810	55.0
回答なし	663	45.0
計	1473	100.0

表2.35 問32付問1. (ウ) 母親就業
小学校高学年

	度数	%
小学校高学年の頃	951	64.6
回答なし	522	35.4
計	1473	100.0

表2.36 問32付問1. (ウ) 母親就業
中学生

	度数	%
中学生の頃	1085	73.6
回答なし	389	26.4
計	1474	100.0

表2.37 問32付問1. (ウ) 母親就業
中学卒業まで仕事はしていなかった

	度数	%
中学卒業まで仕事はしていなかった	345	23.4
回答なし	1130	76.6
計	1475	100.0

表2.38 問33.祖父母との同居
0～5歳

	度数	%
当てはまる	618	40.6
当てはまらない	905	59.4
計	1523	100.0

表2.39 問33.祖父母との同居
小学校低学年

	度数	%
当てはまる	597	39.2
当てはまらない	926	60.8
計	1523	100.0

表2.40 問33.祖父母との同居
小学校高学年

	度数	%
当てはまる	530	34.8
当てはまらない	993	65.2
計	1523	100.0

表2.41 問33.祖父母との同居
中学生

	度数	%
当てはまる	550	36.1
当てはまらない	973	63.9
計	1523	100.0

表2.42 問33.祖父母との同居
中学校卒業まで経験なし

	度数	%
当てはまる	706	46.4
当てはまらない	817	53.6
計	1523	100.0

3. イベント

筒井 淳也（立命館大学）

このセクションでは、問 4 で「去年の 1～12 月の間」に生じた出来事（イベント）、問 5 で「今年に入ってから」生じた出来事を、それぞれ尋ねている。本来ならば「前回の調査終了後から今回の調査時点まで」のイベントが観察できればよいのであるが、回答者にとっての答えやすさを考えてこのような設問になっている。つまり、「前回の調査のあと今までに該当する出来事を経験したか」よりも「昨年一年間で該当する出来事を経験したか」の方が回答が得られやすい、ということである。

パネルデータ分析の特性上、必要なのは基本的に前回の観察時から今回の観察時のあいだにイベントが発生したかどうかの情報である。たとえば wave3 の観察時（2011 年 1 月）に、「去年のうちにイベントがあった」と回答があっても、それが 2010 年 1 月 1 日から wave2 調査時までには発生したものであった場合、回答者は wave2 でも「今年に入ってから経験した」という回答をするはずである。この場合、wave2 のその他の情報はこのイベントが発生したあとで得られたものであるため、もしイベントの影響がすぐに生じるものであると想定される場合、このイベントが説明する変化は wave3 ではなく wave2 に現れる、と考えるべきである。したがって以下では、問 4 と問 5 への回答の情報を利用して、前回調査後から今回調査時点までのイベント発生回数が記述されている。

なお、たとえば問 5 で wave4 の調査時に「引っ越しをした」と回答していた場合、wave5 の問 4 でも引っ越しをしたという回答が得られるはずであるが、実際にはそうならないケースも多い。このような矛盾は基本的にデータクリーニング段階で取り除かれており、以下の分析ではクリーニングがなされた後のデータが使用されている。

菅澤 貴之（奈良先端科学技術大学院大学）

NFRJ-08Panel では、引っ越し、持ち家の入手、本人・配偶者の定年、子ども・孫の誕生、配偶者との離死別、近親者の死亡といった 12 の出来事（イベント）に関して、複数回答でそれらの経験の有無を尋ねている。表 3.1 から表 3.12 はそれぞれの出来事（イベント）の発生回数を wave 毎にまとめたものである。

表 3.1 は、引っ越しイベント発生回数を集計した結果である。表 3.1 によると、観察期間中に転居を経験した者の延べ人数は 200 ケースほどであった。他方、持ち家入手イベントの発生回数は延べ 100 ケースほどであり、引っ越しイベントの半数ほどに留まる（表 3.2）。また、wave3 実査（2011 年 1 月～2 月）の直後に、東日本大震災が発生したが、wave4 において、引っ越し、持ち家入手イベント回数の増加は認められなかった。

続いて、本人・配偶者の定年イベントについてみていく。表 3.3 は回答者本人、

表 3.4 は配偶者の定年イベント発生回数をまとめた結果である。これによると、定年イベントの発生回数は、回答者本人、配偶者ともに毎年 20 ケース前後で推移し、観察期間中の延べ人数は 100 ケース弱であった。

次に、子ども・孫の誕生イベントについて確認する。子ども誕生イベントの発生回数は、wave2 から wave5 の各調査時で 10~30 ケースほどであり、観察期間中における延べ回数は 100 ケース弱であった（表 3.5）。そうした一方、孫誕生イベントの発生回数は wave2 で 100 ケースを大きく超え、回答者の 1 割弱を占めている。その後の wave3 から wave5 でも、イベントの発生回数はそれぞれ 90 ケースほど確認され、観察期間中の孫誕生イベントの延べ回数は 400 ケースを超えている（表 3.6）。この結果は、回答者の年齢構成（男女ともに 50~60 代のボリュームが大きい）を反映したものと考えられる。

表 3.7、表 3.8 は配偶者との離死別イベント発生回数について集計した結果である。離別、死別イベントの発生回数は、双方ともに wave2 から wave5 の各調査時において 10 ケース以下に留まっている。観察期間中の延べ発生回数も 50 ケースを大きく下回り、発生率も 0.5% ほどであった。

最後に、近親者の死亡イベントの発生状況について確認していく。近親者の死亡については、回答者本人・配偶者の親、子ども、その他親族について死亡の有無を尋ねている。近親者の中で最も死亡イベントの発生回数が少なかったのは、「子ども」であり、観察期間中におけるイベントの延べ発生回数は 10 ケースを大きく下回っている（表 3.11）。他方、最もイベントの延べ発生回数が多かったのは、「その他親族」であり、観察期間中の発生回数が唯一 1,000 ケースを超えている（表 3.12）。回答者本人及び配偶者の親の死亡については、各調査時における発生回数に大差は認められず、観察期間中の延べ回数はともに 200 ケース弱であった（表 3.9、表 3.10）。

表3.1 問5.イベント 引っ越し

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
引っ越しなし	1544	1383	1356	1372	5655
引っ越しあり	59	62	46	30	197
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.2 問5.イベント 持ち家入手

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
入手なし	1569	1410	1374	1384	5737
入手あり	34	35	28	18	115
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.3 問5.イベント 自分の定年

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
定年なし	1569	1424	1383	1382	5758
定年あり	34	21	19	20	94
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.4 問5.イベント 配偶者の定年

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
定年なし	1579	1424	1377	1381	5761
定年あり	24	21	26	21	92
計	1603	1445	1403	1402	5853

表3.5 問5.イベント 子どもの誕生

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
子どもできない	1573	1418	1379	1389	5759
子どもできた	30	27	23	13	93
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.6 問5.イベント 孫の誕生

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
孫できない	1469	1354	1316	1312	5451
孫できた	135	91	86	91	403
計	1604	1445	1402	1403	5854

表3.7 問5.イベント 離婚

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
離婚なし	1596	1440	1397	1396	5829
離婚あり	7	5	5	6	23
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.8 問5.イベント 死別

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
死別なし	1597	1438	1394	1394	5823
死別あり	6	7	8	8	29
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.9 問5.イベント 自分の親が死亡

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
死亡なし	1542	1403	1351	1356	5652
死亡あり	61	42	51	45	199
計	1603	1445	1402	1401	5851

表3.10 問5.イベント 配偶者の親が死亡

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
死亡なし	1572	1394	1362	1338	5666
死亡あり	32	51	41	63	187
計	1604	1445	1403	1401	5853

表3.11 問5.イベント 子どもが死亡

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
死亡なし	1603	1443	1402	1401	5849
死亡あり	0	2	0	1	3
計	1603	1445	1402	1402	5852

表3.12 問5.イベント その他親族が死亡

	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
死亡なし	1141	1094	1074	1095	4404
死亡あり	462	352	333	308	1455
計	1603	1446	1407	1403	5859

4. 期間中に変化する変数

4.1 回答者の職業

吉田 崇（静岡大学）

就業状態

表 4.1.1、表 4.1.2 は、男女それぞれの就業状態を、wave2 から wave5 までの 3 回分（w2×w3、w3×w4、w4×w5）の移動（移行）を積み上げて（総和して）表したものである。前 wave で仕事についている場合、男性で 94%、女性で 91%が次の wave でも仕事についている。残りは離職して無職化したことになる。その内訳は、男性では求職者（「仕事についていない（仕事を探している）」）が 2%、無業者（「仕事についていない（仕事を探していない）」）が 4%、女性では無職では求職者が 2%、無業者が 5%となっている。一方、前 wave に無業（「仕事についていない（仕事を探していない）」）であった者についてみると、男性では 90%、女性では 88%が次 wave でも無業のままであり、男性の 8%、女性の 7%は次 wave で有業者に、男性の 2%、女性の 5%が次 wave で求職者となっている。さらに、前 wave で求職者（「仕事についていない（仕事を探している）」）であった者についてみると、男性の 39%、女性の 36%が仕事を心得ており、男性の 38%、女性の 41%が求職者にとどまっており、男性の 19%、女性の 22%が仕事を探していない無職となっている。

これらのことから、男性の無業化の多くは定年退職であり、女性の無業化には定年退職に加え結婚、出産、子育てといった家庭の事情による離職が含まれると考えられる。

労働時間

表 4.1.3、表 4.1.4 は、男女それぞれの週あたりの労働時間を、wave2 から wave5 までの 3 回分の移行表を積み上げたものである。男性では 50%前後が、女性では 60%前後が対角線上にあり、労働時間に変化がないことを意味している。男女ともに、主対角セルに 50~60%程度が位置しており、必ずしも高い数値とはいえそうにないが、隣接セルまで含めると 90%以上が含まれ、労働時間は大きく変化することは少ないといえそうである。また 35 時間未満の比較的短時間の就業をしている場合、wave 間で同じ時間にとどまる傾向が見られる。

仕事と家庭の両立

表 4.1.5 は、付問「仕事が原因で家族と一緒に過ごす時間が十分とれないでいる」への回答の移行を wave2 から wave5 まで積み上げたものである。前 wave であてはまると答えた人のうち 43%が次 wave でもあてはまると答え、前 wave でほとんどあてはまらないと答えた人のうち 69%が次 wave でもほとんどあてはまらないと答えている。対角セルにとどまる割合は、あてはまるよりもあてはまらない方がや

や高いという傾向が見られる。

表 4.1.6 は、付問「家にも仕事のことを気になってしかたがないことがある」への回答の移行を wave2 から wave5 まで積み上げたものである。前 wave であてはまると答えた人のうち 41% が次 wave でもあてはまると答え、前 wave でほとんどあてはまらないと答えた人のうち 66% が次 wave でもほとんどあてはまらないと答えている。ここでも対角セルにとどまる割合は、あてはまるよりもあてはまらない方がやや高いという傾向が見られる。

表 4.1.7 は、付問「家族のあれやこれやで思うように仕事に時間を配分できない」への回答の移行を wave2 から wave5 まで積み上げたものである。割合としては少ないが、前 wave であてはまると答えた人のうち 17% が次 wave でもあてはまると答え、前 wave でほとんどあてはまらないと答えた人のうち 70% が次 wave でもほとんどあてはまらないと答えている。ここでも対角セルにとどまる割合は、あてはまるよりもあてはまらない方がやや高いという傾向が見られる。

表 4.1.8 は、付問「家事育児疲れで仕事をやる気にならない」への回答の移行を wave2 から wave5 まで積み上げたものである。割合としては少ないが、前 wave であてはまると答えた人のうち 12% が次 wave でもあてはまると答え、前 wave でほとんどあてはまらないと答えた人のうち 79% が次 wave でもほとんどあてはまらないと答えている。ここでも対角セルにとどまる割合は、あてはまるよりもあてはまらない方がやや高いという傾向が見られる。

以上から、仕事と家庭との両立について困難を感じている場合、それが次の wave まで持続する傾向は、困難を感じてない場合と比べて必ずしも高くないことがうかがえる。

仕事の変化

表 4.1.9 は、仕事の変化の有無の移行を wave2 から wave5 まで積み上げたものである。仕事の変化そのものではなく、仕事変化の有無の移行を表している点に注意が必要である。多数を占める前 wave で変化なしの 90% は次 wave でも変化なしとなり、4% が転職を、6% が同じ勤め先の中での変化を経験している。前 wave で転職を経験した者の 73% は変化なし（定着）となり、18% は次 wave でも転職を経験している。

表 4.1.10 は、wave2 から wave5 までの雇用形態についてのパネル度数分布表である。全体の度数およびパーセンテージは、調査期間中（wave2 から wave5）の雇用状態についての回答の総和を表している。総数で 5,398 の回答が得られており、

これはこの設問に1回でも答えた人数1,440×4wave分の5,760よりも362少ない。これは、パネル調査からの脱落や無回答、あるいは非該当（無業者はこの設問に答えない）によるものである。次に、個体間の度数およびパーセンテージから、雇用状態について1回でも答えた1,440人のうち、48%が少なくとも1回は常時雇用されている一般従業者（常雇）と答え、同様に32%が少なくとも1回は臨時雇い・パート・アルバイト（臨時雇）と、14%が少なくとも1回は派遣・契約・嘱託社員と、13%が少なくとも1回は自営業主と、答えているといったことを読み取れる。最後に、個体内のパーセンテージから、調査期間中に1回でも常雇と回答した人の全期間の回答のうち88%が常雇であり、調査期間中に1回でも臨時雇と回答した人の全期間の回答のうち83%が臨時雇である、といった個人内の変化を読み取ることができる。

表4.1.11、表4.1.12、は男女それぞれの雇用形態の推移をwave2からwave5まで積み上げたものである（連続した2waveともに有業者である者に限定）。男性では、多数を占める前waveで常時雇用されている一般従業者（常雇）であった者の94%が常雇にとどまり、前waveで自営業主であった者も94%が自営業主にとどまっている。また、前waveで臨時雇い・パート・アルバイト（臨時雇）であった者は81%が臨時雇にとどまっているものの、9%は常雇となっていることが分かる。一方、女性については、前waveで常雇であった者の94%が常雇にとどまっており、同様に前waveで臨時雇であった者の93%が臨時雇にとどまっている。また、常雇から臨時雇への移動は3%、臨時雇から常雇への移動は2%となっている。ただし、ここでの集計は連続する2waveともに有業者である者に限定され、前waveで有職者であった者が離職して無業になる、あるいは前waveで無業であった者が有業となる、といった無業を含む移動はここでの集計には含まれないことに注意が必要である。

表4.1.1 問6.就業状況の移行（男性）

	ついて いる	ついて いるが 休職中	ついて いないが仕 事を探し ている	ついていな い（仕事は 探していな い）	無職	計
ついている	93.8	0.7	1.8	3.7	0.0	100.0
ついているが休職中	42.9	22.9	17.1	17.1	0.0	100.0
ついていないが仕事を探している	39.1	2.9	37.7	18.8	1.5	100.0
ついていない（仕事を探していない）	7.9	0.5	1.9	89.7	0.0	100.0
今はついていないが、過去にはついていた	15.2	0.7	11.0	73.1	0.0	100.0
無職	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	75.4	1.0	3.5	20.1	0.0	100.0

表4.1.2 問6.就業状況の移行（女性）

	ついて いる	ついて いるが 休職中	ついて いないが仕 事を探し ている	ついていな い（仕事は 探していな い）	無職	計
ついている	91.4	1.5	2.3	4.8	0.0	100.0
ついているが休職中	58.0	16.0	4.0	22.0	0.0	100.0
ついていないが仕事を探している	36.1	1.4	41.0	21.5	0.0	100.0
ついていない（仕事を探していない）	6.9	0.3	4.9	87.6	0.2	100.0
今はついていないが、過去にはついていた	12.4	0.5	10.8	76.3	0.0	100.0
仕事についたことはない	5.9	0.0	11.8	76.5	5.9	100.0
無職	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0
計	58.7	1.3	5.5	34.4	0.1	100.0

表4.1.3 問6付問1,2.週あたり平均労働時間（男性）

	20時間未満	21-34時間	35-44時間	45-54時間	55-64時間	65時間以上	計
20時間未満	82.0	10.0	6.0	2.0	0.0	0.0	100.0
21-34時間	17.7	55.3	18.8	5.9	1.2	1.2	100.0
35-44時間	1.6	7.8	57.8	25.1	6.0	1.6	100.0
45-54時間	0.7	2.2	17.1	53.5	20.5	6.1	100.0
55-64時間	0.0	0.3	6.2	29.1	46.3	18.2	100.0
65時間以上	0.4	1.1	4.7	9.7	26.2	58.1	100.0
計	3.8	5.5	20.9	31.5	22.7	15.6	100.0

表4.1.4 問6付問1,2.週あたり平均労働時間（女性）

	20時間未満	21-34時間	35-44時間	45-54時間	55-64時間	65時間以上	計
20時間未満	78.5	18.6	2.4	0.5	0.0	0.0	100.0
21-34時間	12.2	71.4	12.9	2.2	1.0	0.3	100.0
35-44時間	3.0	13.6	57.4	20.6	3.9	1.6	100.0
45-54時間	1.3	2.3	21.6	60.2	13.0	1.8	100.0
55-64時間	0.7	0.0	11.1	34.1	43.0	11.1	100.0
65時間以上	0.0	3.5	7.0	3.5	29.8	56.1	100.0
計	19.9	23.6	23.2	21.6	8.2	3.4	100.0

表4.1.5 問6付問3.仕事と家族の関係

(ア) 仕事が原因で家族と一緒に過ごす時間が十分とれないでいる

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	計
あてはまる	42.5	36.5	12.9	8.1	100.0
まああてはまる	17.4	47.2	26.8	8.6	100.0
あまりあてはまらない	3.8	18.7	49.2	28.3	100.0
ほとんどあてはまらない	2.1	5.8	23.2	68.9	100.0
計	10.4	22.6	31.2	35.9	100.0

表4.1.6 問6付問3.仕事と家族の関係

(イ) 家においても仕事のことが気になってしかたがないことがある

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	計
あてはまる	41.3	37.4	13.2	8.1	100.0
まああてはまる	11.6	47.2	29.7	11.5	100.0
あまりあてはまらない	3.1	20.2	52.2	24.6	100.0
ほとんどあてはまらない	2.2	7.4	24.2	66.2	100.0
計	8.1	23.9	33.9	34.1	100.0

表4.1.7 問6付問3.仕事と家族の関係

(ウ) 家族のあれやこれやで仕事に時間を配分できない

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	計
あてはまる	17.4	33.3	29.0	20.3	100.0
まああてはまる	5.9	37.8	39.7	16.6	100.0
あまりあてはまらない	1.3	10.9	53.3	34.5	100.0
ほとんどあてはまらない	1.0	3.9	25.6	69.5	100.0
計	2.0	10.6	37.5	50.0	100.0

表4.1.8 問6付問3.仕事と家族の関係

(エ) 家事や育児で疲れてしまい、仕事をやろうという気持ちになれない

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない	計
あてはまる	12.0	24.0	40.0	24.0	100.0
まああてはまる	1.2	40.4	40.4	18.1	100.0
あまりあてはまらない	0.8	6.7	50.5	42.0	100.0
ほとんどあてはまらない	0.3	1.1	20.0	78.6	100.0
計	0.6	4.7	30.0	64.7	100.0

表4.1.9 問6付問4.就業状況変化

	新しい勤め先に就職・転職した	同じ勤め先で働き方が変わった	変化なし	計
新しい勤め先に就職・転職した	17.6	9.0	73.4	100.0
同じ勤め先で働き方が変わった	6.6	18.9	74.5	100.0
変化なし	3.8	5.8	90.3	100.0
計	5.2	7.1	87.7	100.0

表4.1.10 問6付問5.就業形態 (n=1440)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
経営者・役員	231	4.3	82	5.7	73.6
常時雇用されている一般従業者	2423	44.9	691	48.0	87.8
臨時雇い・パート・アルバイト	1366	25.3	466	32.4	83.4
派遣社員・契約社員・嘱託社員	418	7.7	194	13.5	60.8
自営業主・自営業者	593	11.0	189	13.1	85.8
自営業の家族従業者	325	6.0	102	7.1	82.9
内職	42	0.8	26	1.8	76.9
計	5398	100.0	1750	121.5	82.3

表4.1.11 問6付問5.就業形態（男性）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	臨時雇い・パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託社員	自営業主・自営業者	自営業の家族従業者	内職	計
経営者・役員	91.7	3.3	0.0	0.8	4.1	0.0	0.0	100.0
常時雇用されている一般従業者	1.2	94.0	1.0	3.0	0.5	0.3	0.0	100.0
臨時雇い・パート・アルバイト	0.0	9.2	80.7	7.3	2.8	0.0	0.0	100.0
派遣社員・契約社員・嘱託社員	0.0	13.8	9.8	74.0	1.6	0.8	0.0	100.0
自営業主・自営業者	1.2	2.1	1.2	0.6	93.6	0.9	0.6	100.0
自営業の家族従業者	0.0	4.4	4.4	2.2	2.2	86.7	0.0	100.0
計	6.8	59.4	6.2	7.3	17.8	2.4	0.1	100.0

表4.1.12 問6付問5.就業形態（女性）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	臨時雇い・パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託社員	自営業主・自営業者	自営業の家族従業者	内職	計
経営者・役員	86.1	7.0	0.0	2.3	0.0	4.7	0.0	100.0
常時雇用されている一般従業者	0.0	94.0	3.4	2.2	0.0	0.5	0.0	100.0
臨時雇い・パート・アルバイト	0.2	2.0	93.2	3.7	0.1	0.4	0.5	100.0
派遣社員・契約社員・嘱託社員	0.7	6.8	14.2	77.0	1.4	0.0	0.0	100.0
自営業主・自営業者	0.0	2.5	5.0	2.5	90.0	0.0	0.0	100.0
自営業の家族従業者	0.5	0.0	3.2	1.1	1.1	94.2	0.0	100.0
内職	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	73.7	100.0
計	2.1	33.0	42.1	8.4	4.0	9.6	0.9	100.0

4.2 結婚や配偶者

鈴木富美子（明治大学）

配偶者の有無

配偶者の有無について、まずパネル度数分布表で「全体」の度数をみると（表 4.2.1）、観察された回数が最も多いのは「現在配偶者がいる」で約 8 割、次いで「いない（結婚したことはない）」が 1 割弱、「いない（離別）」と「いない（死別）」がそれぞれ 5% 前後を占める。

集計単位を個人とした「個体間」で見ると、「現在、配偶者がいる」という経験をした人が約 8 割、次いで「いない（結婚したことがない）」と「いない（離別）」がいずれも 1 割弱で続き、最も経験者が少ないのが「いない（死別）」となっている。

また、「個体内」によって個人での変動の割合をみると、「いない（離別）」と「いない（死別）」で、それぞれ 2 割程度、「いない（結婚したことがない）」は 1 割程度を占めていることから、婚姻状況にある程度の変化が生じていることがわかる。但し、「現在、配偶者がいる」については変動がわずか数%と最も少ないことから、基本的には婚姻状況は安定しているといえるだろう。

次に、配偶者の有無の移行状況を見ると（表 4.2.2）、「現在、配偶者がいる」からその他の婚姻状況への移行はわずか 1% 程度であり、婚姻状況の安定性が伺える。また、「現在配偶者がいる」状況への移行をみると、「いない（離別）」と「いない（結婚したことがない）」からは、それぞれ 5% 程度あったものの、死別の場合にはみられなかった（但し、「いない（死別）」から「いない（離婚）」への移行が若干みられた）。配偶者が「いない」という状況は同じでありながらも、離別と比較すると、死別の場合は再び婚姻状況になる（再婚する）ことは生じにくいことが読み取れる。

配偶者の仕事

前項でも触れているように、就業状況の選択肢は wave1 と wave2～wave5 では異なる。仕事に「ついている」「ついている（休職中）」は 5 時点とも共通だが、これに w1 では「今はついていないが、過去にはついていた」と「仕事についたことはない」、w2～5 は「ついていないが仕事を探している」と「ついていない（仕事を探していない）」を加えた 4 項目である。

また、配偶者に関する回答については、記述の際に、男性が回答した「配偶者」については「妻」、女性が回答した「配偶者」については「夫」と記載する。

まず、男女合わせたパネル度数分布表で「全体」の度数をみると（表 4.2.3）、観察された回数が最も多いのは「ついている」で全体の 7 割近くを占める。次いで「ついていない（仕事を探していない）」（w2～5）、「今はついていないが、過去にはついていた」（w1）が続き、仕事についていない経験は約 3 割となっている。

これを個人を単位とした「個体間」で見ると、「ついている」経験者は 8 割弱、「ついていない」経験者はほぼ 4 割となっている。個体内によって個人の変動をみると、

「ついている」と回答した人の全期間の回答のうち、「ついている」という回答の割合は9割弱であることから、ほぼ1割は就業状況が変動している様子が読み取れる。

ここで、「妻」と「夫」では、「配偶者の就業状況」が大きく異なることが予想されることから、以下では、男女別にパネル度数分布表と移行表をみていく。

「妻」の場合、パネル度数分布表で「全体」の度数をみると（表4.2.4）、観察された回数が最も多いのが「ついている」でほぼ半数を占める。しかし、それに次ぐ「ついていない（仕事は探していない）」（w2～5）と「今はついていないが過去にはついていた」（w1）を合わせて4割になり、就業していない経験も多く観察される。個人を単位とした「個体内」でも、「ついている」経験者が全体の3分の2と最も多いものの、w2～5における「ついていないが仕事を探している」と「ついていない（仕事は探していない）」を合わせただけでも、6割近くの「妻」が就業していない時期を経験している。「個体内」で個人内の変動の割合をみると、「ついている」と回答した人の全期間の回答のうち、「ついている」という回答の割合は約8割であることから、2割は就業状況が変動していることがわかる。

これに対し「夫」の場合には（表4.2.5）、「全体」の度数において8割近くが「ついている」に集中する。「個体内」でも、仕事に「ついている」経験者が8割を超え、w2～5に限定しても、就業していない経験をもつ者は3割に満たない。また「個体内」の「ついている」割合が9割を超えていることから、個人内の変動は1割にも満たず、「妻」の半分以下となっている。

次に就業状況を移行表で確認した（表4.2.6、表4.2.7）。ある時点で就業に「ついている」経験が次の時点でどのようなになったのかについてみると、「妻」の場合には、1割強が「ついていない」状況へ移行しているのに対し、「夫」の場合には、ほとんどが「ついている」状況のままとなっており、「ついていない」状況への移行はほんの数%に過ぎない。就業状況の移行は、「妻」よりも「夫」のほうが少ない傾向がみられる。

一方、「ついていないが仕事を探している」（w2～5）からの移行をみると、「妻」の場合には、求職状況から就業状況に移行した人は4割に留まり、3割が求職状況のままである。これに対し「夫」の場合には、半数以上が次の時点には仕事に「ついている」状況になっており、求職状況が続いている割合は15%程度にすぎない。

このようにみえてくると、就業状況については「夫」のほうが仕事に「ついている」経験数、経験者数ともに多いだけでなく、仕事についている場合には個人内の変動も少なく、就業している状況に留まりやすい。また、一度、仕事を辞めて求職状況に入ると、「夫」のほうが仕事に「ついている」状態への移行が大きく、「妻」よりも仕事を得やすい状況が伺える。

配偶者の労働日数と労働時間

ここでは、1カ月の労働日数と1日あたりの労働時間から「週あたりの平均労働時間」を算出し、2時点間における労働時間の移行状況を確認した（表4.2.8、表

4.2.9)。

まず「妻」「夫」とともに、隣接する 2 時点ではほぼ同じ労働時間が観察される回数は、労働時間が最も長い「65 時間以上」では「夫」のみ 6 割を占めており、男性で長時間労働が常態化しやすい様子が伺える。それ以外の労働時間については、次の時点において同じ労働時間が観察される割合は、いずれも半数程度である。但し、労働時間が最も少ない「20 時間未満」では、「妻」の場合のみ 6 割を超えるなど高めになっていることから、家庭の事情などにより、労働時間を継続的に抑えている様子が垣間見られる。

労働時間の増加が観察された割合をみると、ある wave において「20 時間未満」だった場合、次の wave で労働時間が増加した割合は「妻」で 2 割強、「夫」で 3 割強である。以下、「21～34 時間」(妻 2 割 夫 3 割)、「35～44 時間」(妻 25%前後、夫 4 割)、「45～54 時間」(妻・夫とも 2 割前後)、「55～64 時間」(妻・夫とも 2 割弱)となっており、全体的に夫のほうが労働時間が長くなる傾向がみられる。

配偶者の仕事の変化

就業状況の変化について、パネル度数分布表で「全体」の度数をみると(表 4.2.10)、最も多く経験されているのが「変化なし」でほぼ 9 割弱を占め、残りの 1 割強を「新しい勤め先に就職・転職」と「同じ勤め先で働き方が変わった」で 2 分している。「個体間」でみると、「変化なし」の経験者がほとんどであるが、「同じ勤め先に就職・転職」や「同じ勤め先で働き方が変化した」という経験を持つ者がそれぞれ 2 割弱程度いることがわかる。「個体内」をみると、「変化なし」の割合が 9 割程度であり、1 割程度は変動していることを示す。

配偶者の現在の仕事

配偶者の就業形態について、パネル度数分布表をみると(表 4.2.11)、最も多い経験数は「常時雇用されている一般従業者」で約半数、次いで「臨時雇い・パート・アルバイト」の 2 割、「自営業主」の 1 割、「自営業の家族従業者」「経営者・役員」「派遣・契約・嘱託社員」がそれぞれ 5%程度と続く。

次に集計単位を個人とした「個体間」でみると、最も多かったのが「常時雇用されている一般従業者」を経験した人で約半数、次いで「臨時雇い・パート・アルバイト」の経験者で 3 割弱、「自営業主」と「派遣・契約・嘱託社員」の経験者でそれぞれ 1 割程度となっている。「全体」の経験数に比べると、「臨時雇い・パート・アルバイト」や「派遣・契約・嘱託社員」において、経験者の割合が多くなっている。

また、「個体内」をみると、経験者数が 7 人と極端に少なかった「内職」を除き、「派遣・契約・臨時雇い」における割合が最も低く、6 割に満たなかったのに対し、「常時雇用されている一般従業者」では 9 割を占めた。このことから、常時雇用されている場合には、個人内における変動が少ないのに対し、派遣などの場合には変

動が大きいことが読み取れる。

次に具体的な移行状況について、男女別にみた（表 4.2.12、表 4.2.13）。まず、ある時点から隣接する次の時点における就業形態の移行状況をみると、「常時雇用されている一般従業者」や「自営業者」では「妻」「夫」とも、また「臨時雇い・パート・アルバイト」については「妻」のみ同じ就業形態への移行が 9 割以上を占める。これに対し、「派遣・契約・嘱託社員」では、「妻」「夫」ともに同一状況への移行は 8 割に満たず、他の就業形態に比べると別の就業形態への移行が大きい。その移行先をみると、「派遣・契約・嘱託社員」から「常時雇用されている一般従業者」への移行は、「妻」の場合には 1 割に満たないのに対し、「夫」の場合にはその倍近い割合になっている。「常時雇用」への移行も「夫」のほうがしやすい様子が伺える。

大瀧友織（広島国際大学）

配偶者の健康状態

配偶者の健康状態について「配偶者の方のこの 1 年間の健康状態は、おおむね、いかがでしたか」という形でたずねている。表 4.2.14 は、その移行表である。ある時点での回答が「大変良好」「まあ良好」である場合、比較的变化が小さく、特に「まあ良好」の場合は次の調査時点で他の状態に移行している割合は 2 割強にとどまっている。

一方、その他の回答に関しては、6 割から 7 割弱で変化が見られる。「どちらともいえない」の 4 割、「やや悪い」の 3 割弱、また「大変良好」の 4 割が「まあ良好」に変化していることから、全体としてはやや「まあ良好」へ移行する傾向が読み取れる。

ただし、「大変悪い」の場合は、3 割が「やや悪い」に変化しているものの、4 割弱が同じ状態にとどまっている。若干良くなっているとは言え、「大変悪い」状態からの劇的な回復は難しいということがうかがえる。

配偶者との会話時間

配偶者と「話らしい話」を 1 日平均でどれくらいの時間しているのか、平日（表 4.2.15）と休日（表 4.2.16）に分けてたずねている。まず平日について見てみると、配偶者との会話が比較的短い場合（1 時間未満）や「3 時間以上」のように長い場合、5 割から 6 割強で同じ会話時間が持続しており、配偶者と話をする時間が短い人は短いまま、長い人は長いままであるということが分かる。しかし、会話時間が中程度（1 時間から 3 時間未満）の場合、変化した割合が高くなっている。またその会話時間は減少傾向にあり、増加が 3 割程度であるのに対して、4 割から 6 割弱で会話が少なくなっている。

休日についても、変化の方向はおおむね同様であるが、その割合はやや異なっている。会話時間が長い場合（3 時間以上）、長いままである割合が 7 割近くに達して

いる。一方、配偶者との会話が短い場合は、平日に比べると増加の割合が大きくなっていった。また中程度の会話時間の人たちにおいても、平日同様やや減少の傾向が見られるものの、その減少幅は小さくなっている。特に、会話時間が1時間から1時間半未満の場合は、増加と減少の割合がそれぞれ3割で拮抗している。

つまり、会話時間の変化は全体的にはやや減少しており、特に平日は休日に比べてその減少幅が大きいこと、また会話が多いもしくは少ない場合にはその状態を維持する傾向があると言える。

配偶者による情緒的サポート

表 4.2.17 から表 4.2.19 までは、配偶者からの情緒的サポートに関する3項目（「配偶者は、わたしの心配ごとや悩みごとを聞いてくれる」「配偶者は、わたしの能力や努力を高く評価してくれる」「配偶者は、わたしに助言やアドバイスをしてくれる」）の移行状況を示している。

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」という回答の場合、その後の調査時点においても同じ状態が続きやすいという傾向は、3項目に共通して見られた。しかし、3割から4割弱が「あてはまる」から「どちらかといえばあてはまる」へと変化し、情緒的サポートが充実している場合、その後若干減少することが分かる。

また回答が「どちらかといえばあてはまらない」の場合、「あてはまらない」への移行が1割から2割弱であるのに対して、「どちらかといえばあてはまる」への移行が3割程度生じている。ほとんど情緒的サポートがない場合は5割程度が同じ状態にとどまっており、移行の内3割程度が「どちらかといえばあてはまらない」への変化となっている。全体的な傾向としては、情緒的サポートが多い場合には減少する一方で、少ない場合には増加するようである。

3項目のなかでやや特徴的な傾向として、「わたしの心配ごとや悩みごとを聞いてくれる」については「あてはまる」から他の状態への移行が3割程度であるのに対して、他の2項目では4割以上が変化しているという点が挙げられる。能力や努力への評価や、助言やアドバイスに関しては、ややサポートが減少しやすいと言える。

水落正明（南山大学）

家事

表 4.2.20～4.2.29 を見ると、基本的には、男性はいずれの家事についても、行わないで変化がない場合が多く、女性では、ほぼ毎日で変化がない場合が多いことがわかる。それ以外の部分では際立って高い数値は見られなく、家事頻度については男女とも一定程度的変化が生じているように見える。このことについて、実際に変化が生じているのか、単に回答にブレが生じているのかについては明らかではない。

結婚生活満足度

表 4.2.30～4.2.37 を見ると、男女ともいずれの項目についても、どちらかといえ
ば満足で変化がない場合が多いことがわかる。子育てへの取り組み（表 4.2.30、表
4.2.31）では、かなり不満で変化なしについて、男性で低く女性で高いのが対称的
である。また、性生活以外では、かなり満足で変化なしは男性で 6 割以上と高く女
性で約 5 割と低めであることもわかる。

池橋みどり（和光大学）

以下は、無配偶者に限定した質問である。

今後の結婚意向

表 4.2.38 は、wave の観察期間中に、個人内で結婚に対する意向が変化したかど
うかを見たものである。結婚について「絶対したい」と回答し、変化が見られない
のは 6 割以上であるが、3 割弱は「なるべくしたい」に変化している。「なるべくし
たい」と回答した者のうち、7 割以上は観察期間中意向を変えなかったが、16%が
「どちらともいえない」に回答が変化し、1 割強が逆に「絶対したい」に変化して
いる。「どちらともいえない」と回答した者も、7 割は意向を変えていないが、「な
るべくしたい」と「あまりしたくない」に、それぞれ 1 割強が意向を変化させてい
る。「あまりしたくない」と回答していた者は、半数以上がそのまま意向を変えな
かったが、それぞれ 2 割弱が「どちらともいえない」と「絶対にしたくない」の両方
向に意向を変化させている。「絶対にしたくない」と回答していた者は、8 割以上が
「絶対にしたくない」との意向を維持し、1 割強は「あまりしたくない」に意向を
変化させている。このように、wave の観察期間中を通じて、個人内で結婚に対す
る意向は、多くが変化させていないと言える。また、意向を変化させる場合にも、
「絶対したい」から「絶対にしたくない」など、大きく変化する者は稀で、多くは、
小さい変化にとどまる。

交際相手や婚約者の有無

表 4.2.39 は、wave の観察期間中に、交際相手や婚約者の有無が変化したかど
うかを見たものである。「現在、婚約者がいる」と回答した者は 4 人に 3 人の割合で
変化がなかったが、4 人に 1 人は「現在、特定の交際相手がいる」と変化させた。
「現在、特定の交際相手がいる」と回答した者のうち、7 割は回答を変化させず、8%
は「現在、婚約者がいる」に、16%は「過去に特定の交際相手があったが、現在は
いない」に変化している。「過去に特定の交際相手があったが、現在はいない」と回答
した者のうち、7 割は回答を変化させていないが、「現在、特定の交際相手がいる」と
「現在も過去も特定の交際相手はいない」にそれぞれ 1 割強が回答を変化させてい
る。「現在も過去も特定の交際相手はいない」と回答した者のうち、8 割が回答を変

化させていないが、1割強は「過去に特定の交際相手があったが、現在はいない」に変化させている。全体で見ると、「過去に特定の交際相手があったが、現在はいない」と「現在も過去も特定の交際相手はいない」にそれぞれ4割ほどが回答している。

表4.2.1 問7.配偶者の有無 (n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
現在配偶者がいる	6646	81.5	1548	82.4	97.4
いない (離別)	464	5.7	142	7.6	83.2
いない (死別)	358	4.4	97	5.2	81.0
いない (結婚したことはない)	691	8.5	187	10.0	92.9
計	8159	100.0	1974	105.1	95.1

(n=1878)

表4.2.2 問7.配偶者の有無の移行

	現在配偶者がいる	いない (離別)	いない (死別)	いない (結婚したことはない)	計
現在配偶者がいる	98.9	0.5	0.6	0.0	100.0
いない (離別)	4.7	93.8	1.5	0.0	100.0
いない (死別)	0.0	0.4	99.6	0.0	100.0
いない (結婚したことはない)	4.2	0.6	0.0	95.3	100.0
計	81.7	5.6	4.7	8.0	100.0

表4.2.3 問8.配偶者の就業状況(n=1547)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
ついている	4417	67.0	1171	75.7	88.6
ついているが休職中	68	1.0	52	3.4	31.6
ついていないが仕事を探している	109	1.7	86	5.6	29.8
ついていない (仕事は探していない)	1541	23.4	536	34.7	62.8
今はついていないが、過去には就いていた	410	6.2	410	26.5	28.0
仕事についたことはない	48	0.7	48	3.1	32.3
仕事を探しているかは不明だが無職	2	0.0	2	0.1	41.7
計	6595	100.0	2305	149.0	67.1

(n=1547)

表4.2.4 問8.配偶者の就業状況(n=698) (男性)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
ついている	1564	53.6	466	66.8	81.8
ついているが休職中	33	1.1	25	3.6	33.4
ついていないが仕事を探している	69	2.4	52	7.5	30.6
ついていない (仕事は探していない)	953	32.7	337	48.3	62.0
今はついていないが、過去には就いていた	252	8.6	252	36.1	27.2
仕事についたことはない	46	1.6	46	6.6	31.1
仕事を探しているかは不明だが無職	2	0.1	2	0.3	41.7
計	2919	100.0	1180	169.1	59.2

(n=698)

表4.2.5 問8.配偶者の就業状況(n=849) (女性)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
ついている	2853	77.6	705	83.0	93.0
ついているが休職中	35	1.0	27	3.2	29.9
ついていないが仕事を探している	40	1.1	34	4.0	28.4
ついていない (仕事は探していない)	588	16.0	199	23.4	64.3
今はついていないが、過去には就いていた	158	4.3	158	18.6	29.4
仕事についたことはない	2	0.1	2	0.2	60.0
計	3676	100.0	1125	132.5	75.5

(n=849)

表4.2.6 問8.配偶者の就業状況の移行（男性）

	ついて いる	ついて いるが 休職中	ついて いない が仕事 を探し ている	ついて いない（仕 事は探し ていな い）	計
ついてる	87.9	1.7	2.3	8.2	100.0
ついてるが休職中	61.5	23.1	3.9	11.5	100.0
ついていないが仕事を探している	40.4	0.0	31.9	27.7	100.0
ついていない（仕事は探していない）	7.5	0.2	1.7	90.7	100.0
今はついていないが、過去には就いていた	13.6	0.0	5.9	80.5	100.0
仕事についたことはない	9.5	0.0	0.0	90.5	100.0
仕事を探しているかは不明だが無職	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	52.9	1.2	3.1	42.8	100.0

表4.2.7 問8.配偶者の就業状況の移行（女性）

	ついて いる	ついて いるが 休職中	ついて いない が仕事 を探し ている	ついて いない（仕 事は探し ていな い）	計
ついてる	95.1	1.0	1.2	2.7	100.0
ついてるが休職中	58.3	12.5	4.2	25.0	100.0
ついていないが仕事を探している	53.6	3.6	14.3	28.6	100.0
ついていない（仕事は探していない）	4.3	0.5	0.8	94.5	100.0
今はついていないが、過去には就いていた	5.6	0.7	3.5	90.1	100.0
仕事についたことはない	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	77.0	1.1	1.4	20.6	100.0

表4.2.8 問8付問1・2.配偶者の週あたり平均時間労働（男性）

	20時間未満	21-34時間	35-44時間	45-54時間	55-64時間	65時間以上	計
20時間未満	78.6	15.4	3.5	2.0	0.0	0.5	100.0
21-34時間	16.8	65.6	15.3	1.4	1.0	0.0	100.0
35-44時間	0.9	13.3	58.9	22.1	4.4	0.4	100.0
45-54時間	1.7	4.1	25.0	52.9	10.5	5.8	100.0
55-64時間	2.2	2.2	7.7	31.9	40.7	15.4	100.0
65時間以上	0.0	2.0	0.0	12.2	36.7	49.0	100.0
計	21.1	21.9	23.4	19.3	9.0	5.3	100.0

表4.2.9 問8付問1・2.配偶者の週あたり平均時間労働（女性）

	20時間未満	21-34時間	35-44時間	45-54時間	55-64時間	65時間以上	計
20時間未満	65.7	13.4	10.5	4.5	4.5	1.5	100.0
21-34時間	16.5	54.4	15.2	7.6	5.1	1.3	100.0
35-44時間	3.0	5.6	50.5	29.7	7.4	3.9	100.0
45-54時間	0.9	1.3	19.2	52.9	19.1	6.6	100.0
55-64時間	1.2	0.8	5.5	25.1	49.9	17.6	100.0
65時間以上	0.0	1.0	3.6	8.0	26.9	60.5	100.0
計	3.9	4.3	17.5	29.9	25.5	18.9	100.0

表4.2.10 問8付問3.配偶者の就業状況変化(n=1069)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
新しい勤め先に就職・転職	221	6.6	197	18.4	44.5
同じ勤め先で働き方が変わった	223	6.7	179	16.7	38.5
変化なし	2886	86.7	1028	96.2	88.8
計	3330	100.0	1404	131.3	76.1

表4.2.11 問8付問4.配偶者の就業形態(n=1165)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
経営者・役員	242	5.5	86	7.4	76.5
常時雇用されている一般従業者	2291	51.7	621	53.3	89.8
臨時雇い・パート・アルバイト	910	20.6	326	28.0	84.7
派遣社員・契約社員・嘱託社員	207	4.7	102	8.8	58.6
自営業主・自営業者	510	11.5	150	12.9	84.8
自営業の家族従業者	261	5.9	85	7.3	87.8
内職	7	0.2	7	0.6	56.9
計	4428	100.0	1377	118.2	84.6

表4.2.12 問8付問4.配偶者の就業形態（男性）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	臨時雇い・パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託社員	自営業主・自営業者	自営業の家族従業者	内職	計
経営者・役員	66.7	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	100.0
常時雇用されている一般従業者	0.0	94.0	4.0	0.9	0.6	0.3	0.3	100.0
臨時雇い・パート・アルバイト	0.0	2.6	94.5	1.6	0.6	0.4	0.2	100.0
派遣社員・契約社員・嘱託社員	0.0	7.9	15.8	76.3	0.0	0.0	0.0	100.0
自営業主・自営業者	0.0	0.0	4.7	0.0	90.7	2.3	2.3	100.0
自営業の家族従業者	0.0	0.7	2.9	0.0	2.9	93.4	0.0	100.0
内職	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	0.6	32.5	46.1	3.7	4.6	12.3	0.3	100.0

表4.2.13 問8付問4.配偶者の就業形態（女性）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	臨時雇い・パート・アルバイト	派遣社員・契約社員・嘱託社員	自営業主・自営業者	自営業の家族従業者	計
経営者・役員	89.6	4.3	0.0	1.2	4.9	0.0	100.0
常時雇用されている一般従業者	1.1	95.7	1.2	1.6	0.2	0.2	100.0
臨時雇い・パート・アルバイト	0.0	5.7	84.9	7.6	1.9	0.0	100.0
派遣社員・契約社員・嘱託社員	0.0	14.1	4.4	79.4	2.2	0.0	100.0
自営業主・自営業者	0.6	1.8	1.5	0.6	95.1	0.3	100.0
自営業の家族従業者	0.0	4.8	0.0	0.0	7.1	88.1	100.0
計	7.8	64.2	5.5	5.1	15.6	1.9	100.0

表4.2.14 問9.配偶者健康状態

	大変良好	まあ良好	どちらともいえない	やや悪い	大変悪い	計
大変良好	53.4	41.4	2.8	1.8	0.6	100.0
まあ良好	9.1	75.5	8.9	5.9	0.6	100.0
どちらともいえない	2.0	44.8	34.4	17.3	1.5	100.0
やや悪い	1.4	27.1	21.5	42.7	7.3	100.0
大変悪い	0.0	13.3	15.3	34.7	36.7	100.0
計	13.0	60.6	12.9	11.3	2.2	100.0

表4.2.15 問10.配偶者との会話（平日）

	0分	30分未 満	30分～1 時間未 満	1時間～ 1時間30 分未満	1時間30 分～2時 間未満	2時間～ 2時間30 分未満	2時間30 分～3時 間未満	3時間以 上	計
0分	53.3	36.9	4.1	0.0	4.1	0.8	0.0	0.8	100.0
30分未満	4.5	64.9	24.2	3.9	1.5	0.2	0.2	0.6	100.0
30分～1時間未満	1.0	22.3	49.0	17.0	6.1	1.8	1.0	1.8	100.0
1時間～1時間30分未満	0.1	8.3	34.1	28.8	16.8	6.3	2.9	2.7	100.0
1時間30分～2時間未満	0.0	4.8	17.6	24.2	22.7	14.7	5.4	10.7	100.0
2時間～2時間30分未満	0.4	2.6	8.2	14.7	26.3	17.2	8.6	22.0	100.0
2時間30分～3時間未満	0.6	0.6	5.4	15.1	17.5	16.3	16.3	28.3	100.0
3時間以上	0.2	1.7	4.4	4.8	7.7	7.9	8.7	64.6	100.0
計	2.9	26.4	28.0	14.0	9.5	5.1	3.2	11.0	100.0

表4.2.16 問10.配偶者との会話（休日）

	0分	30分未 満	30分～1 時間未 満	1時間～ 1時間30 分未満	1時間30 分～2時 間未満	2時間～ 2時間30 分未満	2時間30 分～3時 間未満	3時間以 上	計
0分	47.6	34.9	3.2	3.2	1.6	6.4	1.6	1.6	100.0
30分未満	4.3	54.1	29.3	6.9	2.1	0.5	0.8	2.0	100.0
30分～1時間未満	0.6	17.4	46.6	19.9	8.9	2.3	1.2	3.1	100.0
1時間～1時間30分未満	0.4	7.7	25.6	32.3	18.3	7.0	2.4	6.5	100.0
1時間30分～2時間未満	0.3	3.7	16.9	24.3	25.1	13.1	4.5	12.0	100.0
2時間～2時間30分未満	0.0	1.5	7.7	16.8	25.9	15.9	10.0	22.4	100.0
2時間30分～3時間未満	0.4	0.8	4.8	9.7	17.7	16.9	19.4	30.2	100.0
3時間以上	0.2	1.2	2.5	5.3	7.6	6.3	9.5	67.4	100.0
計	1.4	13.1	21.3	16.5	13.0	6.9	5.3	22.5	100.0

表4.2.17 問11.夫婦間にあてはまること

(ア) 配偶者は、わたしの心配ごとや悩みごとを聞いてくれる

	あてはま る	まああて はまる	てはまら ない	あてはま らない	計
あてはまる	67.5	29.5	2.4	0.6	100.0
どちらかといえばあてはまる	21.0	63.8	13.0	2.2	100.0
どちらかといえばあてはまらない	3.8	33.6	47.0	15.6	100.0
あてはまらない	4.8	14.9	34.6	45.7	100.0
計	34.2	44.1	15.5	6.2	100.0

表4.2.18 問11.夫婦間にあてはまること

(イ) 配偶者は、わたしの能力や努力を高く評価してくれる

	あてはま る	まああて はまる	てはまら ない	あてはま らない	計
あてはまる	57.3	38.9	3.2	0.6	100.0
どちらかといえばあてはまる	13.2	70.9	13.8	2.1	100.0
どちらかといえばあてはまらない	2.2	32.4	52.3	13.1	100.0
あてはまらない	2.4	16.2	34.4	47.0	100.0
計	20.0	52.4	20.6	7.0	100.0

表4.2.19 問11.夫婦間にあてはまること

(ウ) 配偶者は、わたしに助言やアドバイスをしてくれる

	あてはま る	まああて はまる	てはまら ない	あてはま らない	計
あてはまる	58.9	37.0	3.0	1.1	100.0
どちらかといえばあてはまる	16.0	65.4	15.7	2.9	100.0
どちらかといえばあてはまらない	4.0	34.3	48.7	13.1	100.0
あてはまらない	3.2	16.0	28.8	52.0	100.0
計	24.0	48.2	19.6	8.1	100.0

表4.2.20 問12.家事頻度 (ア) 食事の用意 (男性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	50.9	12.8	10.5	7.9	17.9	100.0
週に4～5回	21.5	26.1	23.0	14.4	15.0	100.0
週に2～3回	7.8	12.4	33.5	28.5	17.8	100.0
週に1回	4.1	2.0	14.3	46.0	33.6	100.0
行わない	1.7	0.6	1.7	8.3	87.8	100.0
計	6.8	3.6	7.4	15.6	66.6	100.0

表4.2.21 問12.家事頻度 (ア) 食事の用意 (女性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	94.0	4.0	1.0	0.3	0.7	100.0
週に4～5回	43.3	37.5	13.8	3.5	1.9	100.0
週に2～3回	20.8	27.7	38.1	10.1	3.3	100.0
週に1回	20.3	6.3	29.4	32.2	11.8	100.0
行わない	25.6	5.2	7.3	7.8	54.1	100.0
計	85.9	7.0	3.5	1.5	2.1	100.0

表4.2.22 問12.家事頻度 (イ) 食事のあとかたづけ (男性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	57.7	16.1	11.5	5.7	9.1	100.0
週に4～5回	21.4	30.1	27.4	10.2	11.0	100.0
週に2～3回	9.6	12.2	41.7	23.3	13.2	100.0
週に1回	3.0	4.8	15.6	37.6	38.9	100.0
行わない	1.9	1.2	3.6	11.1	82.2	100.0
計	10.3	6.3	12.4	15.9	55.1	100.0

表4.2.23 問12.家事頻度 (イ) 食事のあとかたづけ (女性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	91.5	5.8	1.6	0.4	0.6	100.0
週に4～5回	48.5	33.1	15.1	1.7	1.6	100.0
週に2～3回	19.8	27.3	34.5	11.3	7.1	100.0
週に1回	17.8	11.1	28.9	28.9	13.3	100.0
行わない	34.1	4.1	5.3	9.3	47.3	100.0
計	82.2	9.2	4.8	1.7	2.1	100.0

表4.2.24 問12.家事頻度 (ウ) 食料品や日用品の買い物 (男性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	54.1	21.7	11.2	8.9	4.1	100.0
週に4～5回	17.3	29.9	39.5	9.8	3.5	100.0
週に2～3回	3.0	7.6	52.0	30.4	7.1	100.0
週に1回	0.6	1.4	14.3	64.2	19.5	100.0
行わない	0.6	0.6	4.2	19.7	74.8	100.0
計	3.5	4.0	18.3	37.3	37.0	100.0

表4.2.25 問12.家事頻度 (ウ) 食料品や日用品の買い物 (女性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	64.5	17.4	14.2	2.8	1.2	100.0
週に4～5回	30.4	42.2	25.0	1.6	0.8	100.0
週に2～3回	14.1	12.6	60.4	11.7	1.2	100.0
週に1回	5.9	4.4	31.0	53.0	5.8	100.0
行わない	10.4	4.4	10.4	20.1	54.7	100.0
計	33.4	18.9	33.2	11.5	3.0	100.0

表4.2.26 問12.家事頻度 (エ) 洗濯 (男性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	61.8	10.0	8.9	7.8	11.4	100.0
週に4～5回	26.6	25.1	23.0	10.6	14.6	100.0
週に2～3回	8.8	7.1	46.7	22.8	14.7	100.0
週に1回	2.6	3.9	12.4	50.2	30.9	100.0
行わない	0.8	0.3	1.7	5.0	92.3	100.0
計	4.7	2.1	6.7	11.8	74.7	100.0

表4.2.27 問12.家事頻度 (エ) 洗濯 (女性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	88.5	7.2	2.8	0.8	0.7	100.0
週に4～5回	33.4	40.7	22.7	2.2	0.9	100.0
週に2～3回	12.4	19.8	57.6	9.0	1.2	100.0
週に1回	14.0	4.6	27.1	43.3	11.0	100.0
行わない	14.3	5.9	8.9	9.8	61.2	100.0
計	66.3	12.7	13.8	4.2	2.9	100.0

表4.2.28 問12.家事頻度 (オ) そうじ (部屋、風呂、トイレなど) (男性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	53.9	13.4	12.4	8.5	11.7	100.0
週に4～5回	18.2	23.8	28.7	20.3	9.1	100.0
週に2～3回	5.0	11.8	41.3	29.3	12.7	100.0
週に1回	1.5	2.5	14.2	53.7	28.1	100.0
行わない	1.1	0.6	3.3	14.0	81.1	100.0
計	4.6	3.7	11.8	26.3	53.5	100.0

表4.2.29 問12.家事頻度 (オ) そうじ (部屋、風呂、トイレなど) (女性)

	ほぼ毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回	行わない	計
ほぼ毎日	73.2	13.9	8.6	3.6	0.7	100.0
週に4～5回	34.7	33.4	26.7	4.6	0.6	100.0
週に2～3回	16.3	18.5	44.9	18.6	1.8	100.0
週に1回	9.3	6.7	22.6	54.0	7.3	100.0
行わない	10.5	4.0	9.7	38.7	37.1	100.0
計	44.0	16.9	21.3	15.0	2.8	100.0

表4.2.30 問13.結婚生活における満足度

(ア) 子どもとの関わりに対する、配偶者の取り組み方について (男性)

	かなり満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	かなり不満	子どもはいない	計
かなり満足	65.5	33.4	1.1	0.0	0.0	100.0
どちらかといえば満足	15.9	75.5	8.1	0.6	0.0	100.0
どちらかといえば不満	3.4	49.7	40.1	6.8	0.0	100.0
かなり不満	0.0	22.7	59.1	18.2	0.0	100.0
子どもはいない	4.9	5.5	0.0	1.1	88.5	100.0
計	29.3	53.6	8.1	1.1	8.0	100.0

表4.2.31 問13.結婚生活における満足度

(ア) 子どもとの関わりに対する、配偶者の取り組み方について (女性)

	かなり満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	かなり不満	子どもはいない	計
かなり満足	53.3	42.7	3.5	0.5	0.0	100.0
どちらかといえば満足	10.8	71.9	15.3	2.0	0.0	100.0
どちらかといえば不満	1.0	38.5	47.3	13.2	0.0	100.0
かなり不満	1.6	17.2	34.4	46.4	0.5	100.0
子どもはいない	2.0	4.6	1.3	0.7	91.4	100.0
計	13.8	52.7	21.0	7.3	5.2	100.0

表4.2.32 問13.結婚生活における満足度

(イ) 家事に対する、配偶者の取り組み方について (男性)

	かなり満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	かなり不満	計
かなり満足	69.5	29.2	1.1	0.2	100.0
どちらかといえば満足	21.4	68.2	9.6	0.8	100.0
どちらかといえば不満	4.0	52.8	38.6	4.6	100.0
かなり不満	0.0	23.1	42.3	34.6	100.0
計	38.9	50.7	9.1	1.3	100.0

表4.2.33 問13.結婚生活における満足度

(イ) 家事に対する、配偶者の取り組み方について (女性)

	かなり満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	かなり不満	計
かなり満足	49.4	44.3	4.3	2.1	100.0
どちらかといえば満足	6.9	69.8	20.2	3.2	100.0
どちらかといえば不満	1.2	25.4	56.9	16.6	100.0
かなり不満	1.1	8.8	32.6	57.5	100.0
計	8.0	44.6	32.3	15.1	100.0

表4.2.34 問13.結婚生活における満足度
(ウ) 性生活について (男性)

	かなり満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	かなり不満	計
かなり満足	43.9	50.5	3.6	2.0	100.0
どちらかといえば満足	6.6	73.1	17.4	3.0	100.0
どちらかといえば不満	2.0	27.6	57.5	12.9	100.0
かなり不満	1.4	9.9	27.2	61.5	100.0
計	8.7	52.1	27.3	11.9	100.0

表4.2.35 問13.結婚生活における満足度
(ウ) 性生活について (女性)

	かなり満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	かなり不満	計
かなり満足	43.6	50.5	4.3	1.6	100.0
どちらかといえば満足	6.2	80.9	11.0	2.0	100.0
どちらかといえば不満	0.6	27.9	58.3	13.2	100.0
かなり不満	1.8	15.2	34.6	48.5	100.0
計	7.7	62.7	22.1	7.6	100.0

表4.2.36 問13.結婚生活における満足度
(エ) 夫婦関係全体について (男性)

	かなり満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	かなり不満	計
かなり満足	62.8	35.8	0.9	0.5	100.0
どちらかといえば満足	12.0	79.1	7.3	1.6	100.0
どちらかといえば不満	3.9	43.6	41.3	11.2	100.0
かなり不満	0.0	16.9	29.9	53.3	100.0
計	25.2	61.4	9.3	4.1	100.0

表4.2.37 問13.結婚生活における満足度
(エ) 夫婦関係全体について (女性)

	かなり満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	かなり不満	計
かなり満足	52.7	43.8	2.1	1.4	100.0
どちらかといえば満足	10.6	74.8	12.6	2.1	100.0
どちらかといえば不満	1.2	32.7	50.7	15.3	100.0
かなり不満	1.0	11.1	31.3	56.7	100.0
計	14.9	57.0	19.4	8.7	100.0

表4.2.38 問11.今後の結婚意向（無配偶者）

	絶対したい	なるべく したい	どちらとも いえない	あまりし たくない	絶対にし たくない	計
絶対したい	63.6	27.3	4.6	1.5	3.0	100.0
なるべくしたい	11.1	71.9	16.3	0.7	0.0	100.0
どちらともいえない	1.7	10.8	70.1	13.9	3.5	100.0
あまりし たくない	1.5	3.1	19.9	56.5	19.1	100.0
絶対にし たくない	1.4	0.0	2.8	11.9	83.9	100.0
計	9.3	21.7	30.4	17.3	21.4	100.0

表4.2.39 問12.交際相手や婚約者の有無（無配偶者）

	現在、婚約 者がいる	現在、特定 の交際相手 がいる	過去に特定 の交際相手 がいたが、 現在はいな い	現在も過去 も特定の交 際相手はい ない	計
現在、婚約者がいる	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
現在、特定の交際相手がいる	8.4	70.1	15.9	5.6	100.0
過去に特定の交際相手があったが、現在はいない	0.4	12.6	69.7	17.3	100.0
現在も過去も特定の交際相手はいない	0.0	5.2	14.5	80.3	100.0
計	2.2	20.0	36.2	41.6	100.0

4.3 全体的な生活

田中慶子（家計経済研究所）

CES-D

表 4.3.1～表 4.3.12 には、wave1 時点と wave5 時点での回答者の心身の状態（CES-D 尺度）の推移を示している。「この 1 週間のあなたのからだや心の状態についていかがですか。以下のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか」という質問で、12 の項目に対して 4 段階（まったくなかった／週に 1～2 回／週に 3～4 日／ほとんど毎日）で評価してもらう形式である。各項目の頻度が少ないほど（表 4.3.11 の（サ）「毎日が楽しい」と感じたこと）のみ逆転）、心身の状態が良好であることを意味している。

wave 1 と wave 5 間の推移をみると、（サ）「毎日が楽しい」と感じたことを除いて、いずれの項目も、wave 1 時点で「まったくなかった」と回答した者は、およそ 7 割以上が wave 5 時点も「まったくなかった」と回答している。項目によるバラつきはあるが、同様に両時点とも「週に 1～2 回」では 3～6 割が、「週 3～4 日」では約 2 割～4 割、「ほとんど毎日」が約 1 割～4 割ほどとなっており、wave 1 での心身の状態が wave 5 時点でも変わっていない者が多い。

（サ）「毎日が楽しい」と感じたことは、やや異なる傾向がみられるため、盲従化回答の影響について注意が必要である。

林雄亮（尚絅学院大学）

移行表から 2 時点間の変化の量に着目すると、表 4.3.11 の『毎日が楽しい』と「感じたこと」では、2 時点とも同じ回答であることを示す対角セルの割合が、その行のうちで最も高いことから、比較的安定した回答傾向がうかがえる。一方、それ以外の項目では、対角セル以外の移行パターンが目立っている部分もある。たとえば表 4.3.7 の「何か恐ろしい気持がしたこと」では、前年に「まったくなかった」と回答した人が次の年もそう答える割合は 9 割と、ほとんど変化がないことがわかる。しかし、前年に「週に 1～2 日」「週に 3～4 日」「ほとんど毎日」と回答した人についても、次の年には「まったくなかった」と回答する人が最も多いことから、「何か恐ろしい気持がしたこと」を経験した人の多くは、その経験が一時的なものであったことを示している。

2 時点間の変化の向きに着目すると、表 4.3.11 を除いて、頻度が低下する方向へと変化していることがわかる。たとえば表 4.3.5 の「食欲が落ちたこと」の項目で、頻度が高くなったケースは前年に「まったくなかった」人で 10 数パーセント、「週に 1～2 日」と「週に 3～4 日」の人では 10 パーセントに満たないという結果である。

負担感

表 4.3.13～4.3.15 の移行表は、「この 1 カ月ほどの間に、あなたには次のようなことがどのくらいありましたか。それぞれについて教えてください。(それぞれ○は 1 つずつ)」という質問でたずねた 3 項目である。『自分が家族に理解されていない』と感じたこと」「家事・育児・介護などでの負担が大きすぎると感じたこと」「家計の先行きについて不安を感じたこと」のいずれも、前年に「まったくなかった」と回答した人は、次の年も 7～8 割が同じ回答である。しかし、前年に「何度もあった」「ときどきあった」「ごくまれにあった」と回答した人は、次の年も 3～5 割が同じ回答をしているが、それ以外は他の回答へと移動していることがわかる。これらは頻度が小さくなる方向へと変化しており、すなわち前年にこのような感情を抱いたことのある人も、次の年にはこの経験が少なくなったケースが多いことを示している。

健康状態の評価

次は回答者の健康状態に関する項目であり、「あなたのこの 1 年間の健康状態は、おおむね、いかがでしたか。(○は 1 つだけ)」と質問した。表 4.3.16 に 50 歳未満の回答者の移行表、表 4.3.17 に 50 歳以上の回答者の移行表が示されている。まず、50 歳未満と 50 歳以上とで、傾向に大きな違いは見られないことがわかる。前年に「たいへん良好」と回答した人は、次の年も約半数が「たいへん良好」と回答しており、次の年の「まあ良好」を合わせると 9 割以上に達し、健康状態の急激な悪化はほとんど見られない。前年に「まあ良好」と回答した人の 7 割以上は、次の年も「まあ良好」となっているが、「どちらともいえない」「やや悪い」「たいへん悪い」の方へと健康状態が悪化しているケースも 10 数パーセント存在している。前年に「どちらともいえない」と回答した人の 9 割以上は、次の年に「まあ良好」「どちらともいえない」「やや悪い」のいずれかとなっており、やはり健康状態の大きな改善や大きな悪化は稀である。前年に「やや悪い」「たいへん悪い」と回答した人は、3 割前後が次の年も同じ回答だが、健康状態が改善しているケースも少なくない。たとえば前年に「たいへん悪い」と回答した人うち、次の年に「やや悪い」へと改善したのは 50 歳未満で約半数、50 歳以上で 3 割強となっている。

生活全体の満足感

生活全体に関する満足感の項目は、「現在の生活全体にどのくらい満足されていますか。(○は1つだけ)」とたずねた。表 4.3.18 に移行表が示されている。前年に「かなり満足」と回答した人は、約半数が次の年も「かなり満足」であり、「どちらかといえば満足」を合わせると 9 割以上となっている。前年に「どちらかといえば満足」と回答した人は、次の年も 8 割が同じ回答であり、ほとんど変化が見られない。前年に「どちらかといえば不満」と回答した人の約半数は次の年も同じ回答だが、「どちらかといえば満足」へ 4 割、「かなり不満」へ約 1 割、回答が変化していることがわかる。前年に「かなり不満」と回答した人の約半数は次の年も「かなり不満」であり、「どちらかといえば不満」を合わせると 8 割に達する。

表4.3.1 問14.からだや心の状態 (ア) ふだんは何でもないことをわずらわしいと感じたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	69.4	27.8	2.0	0.9	100.0
週に1~2日	28.8	60.9	7.6	2.8	100.0
週に3~4日	17.2	51.1	20.2	11.6	100.0
ほとんど毎日	9.6	38.9	24.6	27.0	100.0
計	46.8	44.0	6.2	3.1	100.0

表4.3.2 問14.からだや心の状態 (イ) 家族や友達から励ましてもらっても気分が晴れないこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	81.1	16.0	1.8	1.1	100.0
週に1~2日	47.5	44.4	6.0	2.2	100.0
週に3~4日	34.7	39.4	14.6	11.3	100.0
ほとんど毎日	34.6	16.5	18.1	30.8	100.0
計	70.8	23.3	3.6	2.4	100.0

表4.3.3 問14.からだや心の状態 (ウ) 憂うつだと感じたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	75.0	21.7	2.3	1.1	100.0
週に1~2日	34.8	52.0	10.1	3.2	100.0
週に3~4日	12.9	46.6	27.8	12.7	100.0
ほとんど毎日	11.7	32.1	22.9	33.3	100.0
計	53.4	34.7	7.9	4.0	100.0

表4.3.4 問14.からだや心の状態 (エ) 物事に集中できなかったこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	74.2	23.2	1.9	0.6	100.0
週に1~2日	33.9	56.3	7.5	2.4	100.0
週に3~4日	15.1	49.6	28.1	7.2	100.0
ほとんど毎日	14.4	32.9	24.0	28.8	100.0
計	54.1	37.4	6.2	2.4	100.0

表4.3.5 問14.からだや心の状態 (オ) 食欲が落ちたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	86.9	11.2	1.3	0.5	100.0
週に1~2日	58.6	34.2	5.3	1.9	100.0
週に3~4日	42.1	35.3	17.3	5.3	100.0
ほとんど毎日	41.8	26.9	13.4	17.9	100.0
計	81.1	15.5	2.4	1.1	100.0

表4.3.6 問14.からだや心の状態 (カ) 何をするのも面倒と感じたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	72.1	24.9	2.1	1.0	100.0
週に1~2日	32.9	55.4	9.0	2.7	100.0
週に3~4日	13.9	49.5	22.7	13.9	100.0
ほとんど毎日	8.5	31.9	18.8	40.9	100.0
計	51.5	38.2	6.5	3.8	100.0

表4.3.7 問14.からだや心の状態 (キ) 何か恐ろしい気がしたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	90.2	8.3	1.0	0.5	100.0
週に1~2日	57.4	34.8	6.4	1.4	100.0
週に3~4日	45.3	30.9	16.6	7.2	100.0
ほとんど毎日	41.5	30.2	20.8	7.6	100.0
計	84.8	12.2	2.2	0.8	100.0

表4.3.8 問14.からだや心の状態 (ク) なかなか眠れなかったこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	79.3	17.8	2.3	0.6	100.0
週に1~2日	40.6	47.9	9.2	2.3	100.0
週に3~4日	23.1	40.5	27.1	9.4	100.0
ほとんど毎日	14.4	24.4	29.4	31.9	100.0
計	63.5	27.6	6.4	2.4	100.0

表4.3.9 問14.からだや心の状態 (ケ) ふだんより口数が少なくなったこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	82.6	14.7	1.7	1.0	100.0
週に1~2日	45.7	45.8	6.5	2.0	100.0
週に3~4日	35.6	38.6	20.3	5.5	100.0
ほとんど毎日	37.6	19.7	18.0	24.8	100.0
計	72.2	22.3	3.7	1.8	100.0

表4.3.10 問14.からだや心の状態 (コ) 一人ぼっちで寂しいと感じたこと

	まったくなかった	週に1~2日	週に3~4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	89.3	8.8	1.3	0.7	100.0
週に1~2日	49.1	39.4	8.6	3.0	100.0
週に3~4日	34.7	37.7	19.2	8.4	100.0
ほとんど毎日	31.6	27.6	14.3	26.5	100.0
計	81.3	14.1	3.0	1.6	100.0

表4.3.11 問14.からだや心の状態 (サ) 「毎日が楽しい」と感じたこと

	まったくなかった	週に1～2日	週に3～4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	48.8	30.9	12.6	7.6	100.0
週に1～2日	20.7	52.4	22.1	4.8	100.0
週に3～4日	9.1	28.6	45.5	16.9	100.0
ほとんど毎日	8.4	12.6	26.4	52.6	100.0
計	21.0	34.1	27.4	17.5	100.0

表4.3.12 問14.からだや心の状態 (シ) 悲しいと感じたこと

	まったくなかった	週に1～2日	週に3～4日	ほとんど毎日	計
まったくなかった	79.7	17.3	2.0	1.0	100.0
週に1～2日	45.2	47.3	6.1	1.4	100.0
週に3～4日	34.7	38.7	19.0	7.7	100.0
ほとんど毎日	25.2	24.4	21.7	28.7	100.0
計	67.8	26.1	4.1	1.9	100.0

表4.3.13 問15.悩みや不安 (ア) 「自分が家族に理解されていない」と感じたこと

	何度もあった	ときどきあった	ごくまれにあった	まったくなかった	計
何度もあった	37.9	29.9	17.3	14.9	100.0
ときどきあった	9.6	39.7	31.5	19.2	100.0
ごくまれにあった	3.6	20.8	42.0	33.6	100.0
まったくなかった	1.4	6.9	16.9	74.8	100.0
計	5.4	17.2	25.7	51.7	100.0

表4.3.14 問15.悩みや不安 (イ) 家事・育児・介護などでの負担が大きすぎると感じたこと

	何度もあった	ときどきあった	ごくまれにあった	まったくなかった	計
何度もあった	37.0	30.2	19.2	13.6	100.0
ときどきあった	14.2	36.5	26.4	22.9	100.0
ごくまれにあった	5.0	18.2	39.4	37.4	100.0
まったくなかった	1.5	4.5	13.0	81.1	100.0
計	5.9	12.9	20.6	60.6	100.0

表4.3.15 問15.悩みや不安 (ウ) 家計の先行きについて不安を感じたこと

	何度もあった	ときどきあった	ごくまれにあった	まったくなかった	計
何度もあった	56.2	23.7	14.3	5.8	100.0
ときどきあった	19.3	37.8	30.6	12.3	100.0
ごくまれにあった	7.2	21.4	45.4	26.1	100.0
まったくなかった	2.7	7.5	21.8	68.0	100.0
計	17.7	21.1	29.0	32.2	100.0

表4.3.16 問16.健康状態（50歳未満）

	たいへん良好	まあ良好	どちらともいえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	47.1	46.2	3.7	2.3	0.7	100.0
まあ良好	11.4	73.2	9.7	5.1	0.6	100.0
どちらともいえない	2.8	43.9	36.6	15.2	1.6	100.0
やや悪い	1.1	28.4	28.4	36.7	5.3	100.0
たいへん悪い	0.0	20.4	10.2	46.9	22.5	100.0
計	14.3	59.9	14.5	9.8	1.6	100.0

表4.3.17 問16.健康状態（50歳以上）

	たいへん良好	まあ良好	どちらともいえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	49.9	46.2	2.1	1.5	0.3	100.0
まあ良好	8.0	73.2	12.1	6.0	0.8	100.0
どちらともいえない	1.5	40.9	37.0	18.7	2.0	100.0
やや悪い	0.8	25.4	31.3	37.2	5.4	100.0
たいへん悪い	1.4	15.3	19.4	36.1	27.8	100.0
計	10.1	58.0	17.8	12.1	2.1	100.0

表4.3.18 問17.生活全体満足度

	かなり満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	かなり不満	計
かなり満足	49.7	46.0	4.0	0.3	100.0
どちらかといえば満足	7.8	80.4	10.7	1.2	100.0
どちらかといえば不満	0.9	41.2	48.9	9.0	100.0
かなり不満	1.8	17.5	36.4	44.3	100.0
計	11.4	66.4	17.8	4.4	100.0

4.4 子ども

中島満大（京都大学）

子ども人数

調査期間中、子どもの人数を「2人」と回答したケースは全体の5割弱を占めている。次に多いのは「3人」と回答したケースで、全体の2割程度を占めていた。その後子ども的人数を「0人」と回答したケース、「1人」と回答したケースが続くが、その割合はどちらも1割強の水準にあった。また個体間の割合をみても、調査期間中、少なくとも一度は子ども的人数を「2人」と回答した者は5割弱、「3人」と回答した者は2割程度、「1人」と「0人」はそれぞれ全体の1割強を占めていた。最後に個体内の変動をみると、子ども的人数を「1人」と回答した場合が、最もその変動が大きかった。つまり、一度でも子ども的人数を「1人」と回答した者の全期間の回答のうち、1割程度が「1人」以外の回答であった。次に個体内の変動が大きかったのは、子ども的人数を「0人」と回答した場合であった。

子どもの性別

全期間で観察された回答のうち、1番目の子どもの性別については、「男性」、「女性」と回答したケースが拮抗しているが、若干「男性」と回答したケースが多かった。waveごとにみると、全体の比率に比べ、wave1での回答では、1番目の子どもの性別で「男性」とこたえる割合が高かった。続いて2番目の子どもの性別をみると、全期間を通して、「女性」と回答するケースが、「男性」と回答するケースよりも、ややその割合が高いという結果になった。3番目の子どもの性別に関しては、1番目の子どもの性別と同じく「男性」と回答するケースが、「女性」と回答するケースよりも僅かながら全回答に占める割合が大きかった。

子ども居住場所

本調査では、子どもの居住地を、1番目から3番目の子どもについて、それぞれ尋ねている。はじめに1番目の子どもの居住地をみると、あるwaveで「一緒に暮らしている」と回答したケースのうち、次のwaveで「一緒に暮らしている」とこたえたケースは9割弱であった。他方、あるwaveで「一緒に暮らしている」と回答したケースのうち、次のwaveで「60分未満で行ける場所」、あるいは「60分以上かかる場所」と回答したケースは、合わせると1割を超えていた。続いて、あるwaveで「60分未満で行ける場所」とこたえたケースのうち、次のwaveで「60分未満で行ける場所」と回答したケースは9割程度であった。また「60分未満で行ける場所」に住んでいると回答したケースのうち、次のwaveで「一緒に暮らしている」へと移行したのは3%程度であり、「60分以上かかる場所」へと移行したのは5%程度であった。そしてあるwaveで「60分以上かかる場所」と回答したケースのうち、次のwaveで同じく「60分以上かかる場所」と回答した割合は9割弱であり、

「一緒に暮らしている」へと移行したのは3%程度、「60分未満で行ける場所」へと移ったのは7%程度であった。

続いて2番目の子どもの居住地をみると、ある wave で「一緒に暮らしている」と回答した場合、次の wave では9割弱が同じく「一緒に暮らしている」とこたえていた。また、ある wave で「一緒に暮らしている」と回答したケースのうち、次の wave では「60分未満で行ける場所」、もしくは「60分以上かかる場所」と回答した割合は、合わせて1割を超えていた。次いである wave で「60分未満で行ける場所」と回答した場合、9割弱の回答が同じく「60分未満で行ける場所」であり、7%が「60分以上かかる場所」へ、3%が「一緒に暮らしている」へと移行していた。また「60分以上かかる場所」とある wave で回答したケースのうち、次の wave で同様に「60分以上かかる場所」と回答するケースは9割弱であり、「60分未満で行ける場所」、あるいは「一緒に暮らしている」へと移ったケースは合算すると1割程度であった。

最後に3番目の子どもが住んでいる場所をみていくと、ある wave で「一緒に暮らしている」と回答した場合、次の wave で同じく「一緒に暮らしている」とこたえた割合は9割程度であり、「60分未満で行ける場所」、あるいは「60分以上かかる場所」へと移行した割合は合わせて1割弱であった。「60分未満で行ける場所」とある wave でこたえた場合、次の wave で「60分未満で行ける場所」と回答した割合は85%であり、「60分以上かかる場所」へと移行したのは5%、「一緒に暮らしている」へと移ったのは7%であった。最後に「60分以上かかる場所」とある wave で回答した場合、次の wave で同じく「60分以上かかる場所」と回答し、移行がなかった割合は9割弱であった。「60分以上かかる場所」と回答した場合で、次の wave にて「60分未満で行ける場所」へ移行したのは5%、「一緒に暮らしている」へと移ったのは3%であった。

子どもの年齢

調査期間中、1番目の子どもの年齢に関しては、平均値が24歳、最小値が0歳、最大値が53歳であった。次に2番目の子どもの年齢においては、平均値が23歳、最小値が0歳、最大値が49歳であった。最後に3番目の子どもの場合をみると、平均値が21歳、最小値が0歳、最大値が46歳であった。

子どもが18歳以上か

まず1番目の子どもの場合、ある wave で「18歳未満」とこたえていたケースのうち、9割強が、次の wave でも「18歳未満」と回答している。言い換えれば、ある wave で「18歳未満」とこたえていたケースのうち、次の wave では1割弱の回答が、1番目の子どもが「18歳以上」へ移行しているということになる。続いて2番目の子どもの場合をみると、ある wave で「18歳未満」と回答したケースのうち、9割強の回答が次の wave で「18歳未満」とこたえており、その割合は1番目の子

どもとほとんど変わらない。最後に3番目の子どもの場合でも、ある wave で「18歳未満」と回答したケースの9割程度が、次の wave でも「18歳未満」とこたえているが、1番目、2番目の子どもと比べると、その割合は低い。したがって、3番目の子どもは、1番目、2番目の子どもと比べて、wave 間で「18歳未満」から「18歳以上」へと移行しているケースがやや多いと言える。

神原文子（神戸学院大学）

子どもと一緒に遊ぶ頻度

子どものいる対象者について、ふだん、「子どもと一緒に遊ぶ」頻度を、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもを区別して集計した結果は、表 4.4.4、表 4.4.25、表 4.4.42 のとおりである。

1番目の子どもでは、「一緒に遊ぶ」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」28%、「週に3~4回」10%、「週に1~2回」31%、「月に1~2回」14%、「年に数回」11%、そして、「まったくない」は6%である。「子どもと一緒に遊ぶ」頻度の移行傾向をみると、「ほぼ毎日」の場合は、7割以上が継続して「ほぼ毎日」となっているものの3割弱は頻度が下がっている。「週に3~4回」では、継続して「週に3~4回」は3割程度であり、「ほぼ毎日」へと2割程度は頻度が増加している一方、半数近い対象者の頻度が下がっている。また、「週に1~2回」の場合も、「ほぼ毎日」あるいは「週に3~4回」へと15%前後は頻度が増加しているものの、3割弱は頻度が下がっている。しかし、「月に1~2回」「年に数回」「まったくない」場合は、頻度がさらに下がったというよりも、幾分か頻度が上がった比率のほうが高くなっている。

2番目の子どもでは、「一緒に遊ぶ」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」22%、「週に3~4回」11%、「週に1~2回」31%、「月に1~2回」17%、「年に数回」12%、そして、「まったくない」は7%である。2番目の子どもと一緒に遊ぶ頻度の移行傾向をみると、1番目の子どもの場合と比較的よく似た傾向を示しており、「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」の場合は、頻度が上がった人よりも頻度が下がった人の比率が高い。しかし、「月に1~2回」や「まったくない」場合には、頻度が下がった人よりも頻度が上がった人の比率のほうが高くなっている。

3番目の子どもでは、平均すると、「ほぼ毎日」18%、「週に3~4回」13%、「週に1~2回」24%、「月に1~2回」18%、「年に数回」18%、そして、「まったくない」は9%である。3番目の子どもと一緒に遊ぶ頻度の移行傾向をみると、やはり、「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」の場合は、頻度が上がった人よりも頻度が下がった人の比率が高い傾向がみられる。対して、「月に1~2回」「年に数回」「まったくない」では、頻度が下がった人よりも頻度が上がった人の比率が高くなっている。

なお、「子どもと一緒に遊ぶこと」の頻度を、1番目の子ども、2番目の子ども、

3番目の子どもについて比較すると、1番目よりは2番目、2番目よりは3番目の子どもにおいて、頻度が下がる傾向がうかがえる。ただし、1番目の子どもの平均年齢24歳、2番目23歳、3番目21歳という年齢から言えば、対象者がこれらの子どもと一緒に遊ぶ頻度は、総じて、高い傾向にあると言えるのではないだろうか。

子どもに知識や技能を教える頻度

次に、「子どもに知識や技能を教える」頻度について、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもを区別して集計した結果は、表4.4.5、表4.4.26、表4.4.43である。

1番目の子どもでは、「知識や技能を教える」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」21%、「週に3~4回」13%、「週に1~2回」31%、「月に1~2回」17%、「年に数回」11%、そして、「まったくない」は8%である。「知識や技能を教える」頻度の移行傾向をみると、「ほぼ毎日」の場合は、約6割が継続して「ほぼ毎日」となっているものの4割弱は頻度が下がっている。「週に3~4回」では、継続して「週に3~4回」は3割であり、「ほぼ毎日」へと2割程度は頻度が増加している一方、頻度が下がっているのは5割強である。また、「週に1~2回」の場合も、「ほぼ毎日」あるいは「週に3~4回」へと15%前後は頻度が増加しているものの、35%前後は頻度が下がっている。しかし、「月に1~2回」「年に数回」「まったくない」場合は、頻度がさらに下がった比率よりも、幾分か頻度が上がった比率のほうが高くなっている。

2番目の子どもでは、「知識や技能を教える」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」19%、「週に3~4回」12%、「週に1~2回」27%、「月に1~2回」19%、「年に数回」13%、そして、「まったくない」は11%である。2番目の子どもに「知識や技能を教える」頻度の移行傾向をみると、やはり、「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」の場合は、頻度が上がった人よりも頻度が下がった人の比率が高い傾向がみられる。対して、「月に1~2回」「年に数回」「まったくない」では、頻度が下がった人よりも頻度が上がった人の比率が高くなっている。

3番目の子どもでは、「知識や技能を教える」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」18%、「週に3~4回」13%、「週に1~2回」18%、「月に1~2回」22%、「年に数回」20%、そして、「まったくない」は10%である。3番目の子どもに「知識や技能を教える」頻度の移行傾向をみると、「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」の場合は、頻度が上がった人よりも頻度が下がった人の比率が高い傾向がみられ、対して、「月に1~2回」「年に数回」「まったくない」では、頻度が下がった人よりも頻度が上がった人の比率が高くなっている。

「知識や技能を教える」頻度を、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもの場合に比較すると、1番目より2番目、2番目よりも3番目のほうが幾分頻度は下がっているが、頻度の差は、「一緒に遊ぶ」項目ほどではない。また、子どもに「知識や技能を教える」ことについても、子どもの平均年齢からすると、総じて、

頻度が高いと言えるのではないだろうか。

子どもと一緒に食事をする頻度

「子どもと一緒に食事をする」頻度については、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもを区別するだけではなく、子どもの年齢を、18歳未満と18歳以上に分けて集計している。

表 4.4.6、表 4.4.27、表 4.4.44 は、18歳未満の子どもについて、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度を集計したものである。

1番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」67%、「週に3~4回」11%、「週に1~2回」18%、「月に1~2回」2%、「年に数回」1%、そして、「まったくない」は1%である。「子どもと一緒に食事をする」頻度の移行傾向をみると、「ほぼ毎日」の場合の9割、「週に1~2回」の場合の7割、「年に数回」の場合の5割強が変化していないことがわかる。「週に3~4回」は、「ほぼ毎日」へ2割、「週に1~2回」へ3割が移行している。また、「月に1~2回」の場合は、「月に1~2回」のまま変化していないのは4割強であり、「週に1~2回」へ4割弱が移行し、「年に数回」か「まったくない」へ2割弱が移行している。

2番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、1番目の子どもの場合と大きな開きはみられない。平均すると、「ほぼ毎日」65%、「週に3~4回」11%、「週に1~2回」19%、「月に1~2回」3%、「年に数回」2%、そして、「まったくない」は1%である。移行傾向についても、1番目の子どもの場合と同様に、「ほぼ毎日」の9割弱、「週1~2回」の7割強、「年に数回」の8割が変化なしであり、「週に3~4回」「月1~2回」の移行傾向は大差ない。

3番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、1番目の子どもの場合と非常によく似ており、平均すると、「ほぼ毎日」69%、「週に3~4回」12%、「週に1~2回」14%、「月に1~2回」3%、「年に数回」2%、そして、「まったくない」は1%である。移行傾向についてもよく似ており、「ほぼ毎日」の9割、「週に1~2回」の7割弱、「月に1~2回」の7割弱、「年に数回」の100%が変化なしである。「週に3~4回」の場合は、「ほぼ毎日」に4割が移行し、「週に3~4回」のままで変化なしは4割である。

18歳未満の子どもについては、出生順によって、「子どもと一緒に食事をする」頻度に大差はないと言える。

次に、表 4.4.7、表 4.4.28、表 4.4.45 は、18歳以上の1番目から3番目の子どもについて、「一緒に食事をする」頻度を集計したものである。

1番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」14%、「週に3~14」7%、「週に1~2回」11%、「月に1~2回」15%、「年に数回」39%、そして、「まったくない」は15%であり、18歳未満の子どもの場合より、頻度は大きく下がっている。移行傾向についてみると、「ほぼ毎日」の7割弱は変化してい

ないが、3割は頻度が下がっている。「週に3~4回」では、「ほぼ毎日」へと27%は頻度が上がっているが、35%は頻度が下がっている。「週に1~2回」では、「週に3~4回」へ15%前後は頻度が上がっているが、3割強は頻度が下がっている。「月に1~2回」では15%前後は頻度が上がっているが、3割は頻度が下がっている。「年に数回」でも、1割程度は、頻度が上がっているが、1割強は「まったくない」へと移行している。ただ、「まったくない」の4割は頻度が上がっている。

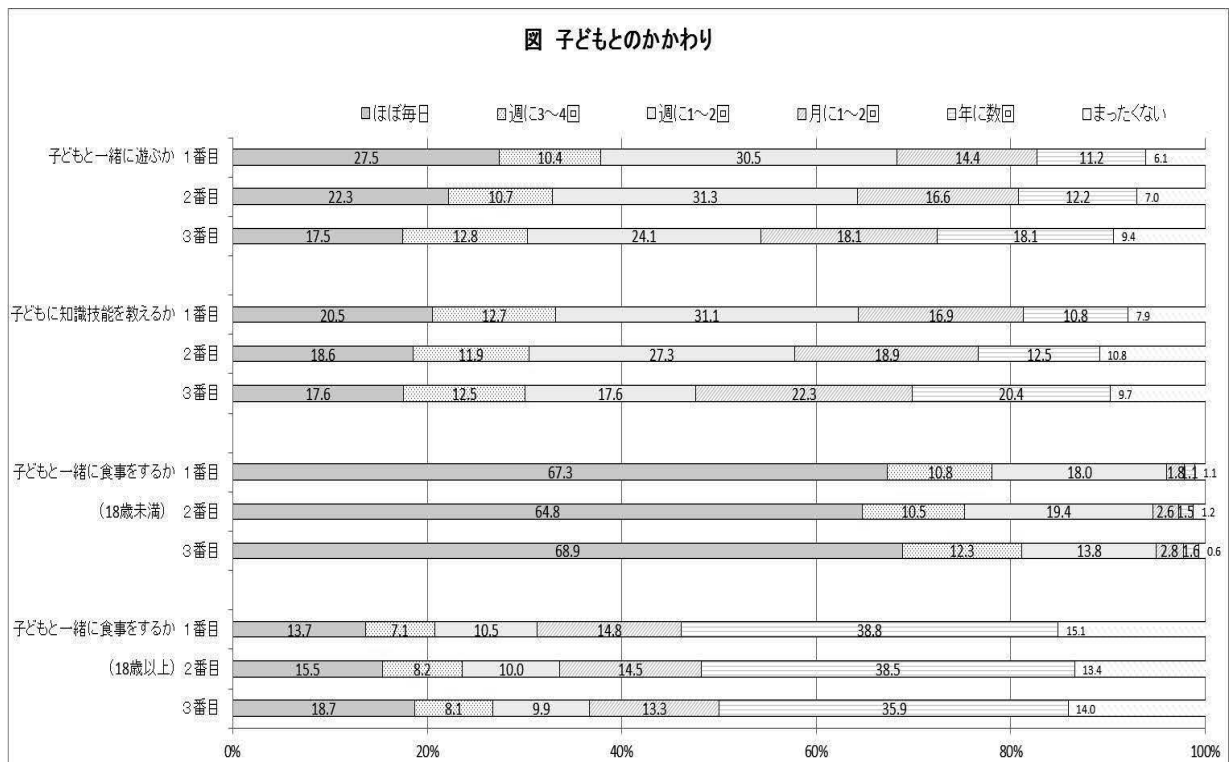
2番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」16%、「週に3~14」8%、「週に1~2回」10%、「月に1~2回」15%、「年に数回」39%、そして、「まったくない」は13%であり、1番目の子どもと大差はないが、わずかに頻度は高い。移行傾向は、1番目の子どもの場合と非常によく似ており、数%程度の差しか見られない。

3番目の子どもと「一緒に食事をする」頻度は、平均すると、「ほぼ毎日」19%、「週に3~14」8%、「週に1~2回」10%、「月に1~2回」13%、「年に数回」36%、そして、「まったくない」は14%であり、「ほぼ毎日」が、1番目、2番目の子どもより幾分高く、「年に数回」がわずかに低い、ほとんど差はみられない。移行傾向については、1番目の子ども、2番目の子どもの場合と大差はなく、個々の数値を比べても、せいぜい数%程度の差である。

「子どもと一緒に食事をする」頻度については、1番目より2番目、2番目より3番目がわずかながら頻度が高いように見受けられる。

参考までに、「子どもと一緒に遊ぶ」「子どもに知識や技能を教える」「子どもと一緒に食事をする」ことについて、1番目の子ども、2番目の子ども、3番目の子どもを比較できるようにグラフにした。

「子どもと一緒に遊ぶ」では、子どもの出生順が後になるほど、頻度が低くなる傾向にあるが、「子どもに知識や技能を教える」と18歳未満の子どもと「一緒に食事をする」ことでは、子どもの出生順による差は大きいとは言えない。対して、18歳以上の子どもと「一緒に食事をする」ことでは、出生順が下がるほど、幾分、頻度が高い傾向がうかがえる。



井田瑞江（関東学院大学）

子どもの仕事

1番目、2番目、3番目の子どものいずれでも、仕事に就いている人は9割以上が仕事に就いたままであり、在学中の人は7割以上の方が在学中のまま、無職の人も7割前後が無職のままである。「仕事に就いている」から「在学中」や「無職」への移行はほとんど見られない。「在学中」から「仕事に就いている」への移行が1番目、2番目、3番目の子どもいずれでも2割ほど見られる。また、「無職」から「仕事に就いている」への移行も1番目と2番目の子どもでは2割程度、3番目の子どもでは3割近く観察された。

子どもの結婚

1番目、2番目、3番目の子どものいずれでも、「既婚」から「離別」や「死別」への移行はほとんど見られない。「離別」から「既婚」への移行は1割弱見られ、「未婚」から「既婚」への移行も5%程度見られる。また、「死別」から「既婚」への移行が2番目の子どもでは約4割、3番目の子どもでは約2割観察された。

子どもの子ども（孫）

「子どもがいない」から「子どもがいる」への移行も、「子どもがいる」から「子どもがいない」への移行も、いずれもわずかしは見られなかった。子どもの年齢が

「0～5歳児」から「6歳～17歳」への移行は15%前後見られ、「6歳～17歳」から「18歳以上」への移行は5%前後見られた。

子どもとの会話

会話らしい会話が「毎日」から「週に3～4回」への会話の減少が1割程度観察された。「週3～4回」から「毎日」への会話の増加が2割見られる一方、「週1～2回」への会話の減少も約3割見られる。「週1～2回」から「月に1～2回」への会話の減少が約3割みられ、「月に1～2回」から「年に数回」への移行も2割見られる。「年に数回」から「月に1～2回」、「会話なし」から「年に数回」への会話の増加が、それぞれ2割程度見られた。

中西 泰子（相模女子大学）

子どもからの金銭的援助

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれから「この1年間に、この方から金銭的な援助（小遣い、仕送り、贈与など）」を受けたかを、「受けた（年間30万円以上）」「受けた（年間30万円未満）」「受けなかった」の3つの回答選択肢で把握した。移行表（表4.4.17、表4.4.34、表4.4.51）をもとに、あるwaveと次のwaveの間における変化を概観する。まず、1番目から3番目の子に共通してみられる傾向として、あるwaveで金銭的援助を受けておらず、次のwaveでも受けていない割合は9割を超えて高い割合を示している。また、1番目から3番目の子の間でみられる異なった傾向としては、次のことが指摘できる。30万円以上の金銭的援助の受領の継続性についてみてみると、1番目の子からの場合は、30万円以上の金銭的援助を受けた翌年度にも同じく30万円以上の援助を受けている割合が5割程度を占めているのに対して、2番目および3番目の子からの場合は、30万円以上の援助が翌年度も継続している割合は3割程度にとどまる。こうした違いがきょうだい数によるものか、それともきょうだい順位によるものかは、ここでは判別しかねる。

子どもからの心理的支援

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれから「この1年間に、この方に相談にのってもらったこと」があったかについて、「あった」「なかった」の2つの回答選択肢で把握した。移行表（表4.4.18、表4.4.35、表4.4.52）をもとに、あるwaveと次のwaveの間における変化を概観する。1番目から3番目の子に共通してみられる傾向としては、あるwaveで相談にのってもらっている場合、次年度も継続して相談にのってもらっている割合が6割を超えており、相談にのってもらっていなかった場合には、次年度ももらっていない割合が8割を超えている。金銭的援助とは異なり、1番目から3番目の子どもの間で大きな差異はみられず、また支援の継続割合も相対的に高いようである。

子どもからのサービス

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれから「この1年間に、この方に看病や家事などの手伝いをしてもらうこと」があったかについて、「あった」「なかった」の2つの回答選択肢で把握した。移行表（表4.4.19、表4.4.36、表4.4.53）をもとに、ある wave と次の wave の間における変化を概観する。

傾向は、相談にのってもらうか否かの回答と類似しており、1番目から3番目の子に共通して、ある wave で看病や家事手伝いをしてもらっている場合、次年も継続してもらっている割合が6割を超えている。反対にある wave で看病や家事手伝いをしてもらっていない場合は、次年もしてもらっていない割合が8割を超えている。相談にのってもらうことと同様に、看病や家事手伝いは、金銭的援助に比べて相対的に継続性が高いことが伺われる。

子どもへの金銭的援助

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれに対して「この1年間に、この方に金銭的な援助（小遣い、仕送り、贈与など）」を行ったかについて、「した（年間30万円以上）」「した（年間30万円未満）」「しなかった」の3つの回答選択肢で把握した。移行表（表4.4.20、表4.4.37、表4.4.54）をもとに、ある wave と次の wave の間における変化を概観する。

1番目から3番目の子に対する共通した傾向として、ある wave で30万円以上の金銭的援助を子にしている場合、次年も継続して援助している割合は5割弱である。一方金銭的援助をしていない場合は、次年も8割以上が援助をしていない。子への金銭的援助のあり方については、どの回答選択肢においても、前年度と同じ支援状況である割合が最も高くなっている。

子から親への金銭的援助と比較してみると、親から子への援助では、何番目の子であるかによって wave 間の変化や継続性について大きな違いはみられず、この点は子から親への援助とは異なった傾向であるといえよう。

子どもへの心理的支援

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれに対して「この1年間に、この方の相談相手になること」があったかについて、「あった」「なかった」の2つの回答選択肢で把握した設問である。移行表（表4.4.21、表4.4.38、表4.4.55）をもとに、ある wave と次の wave の間における変化を概観する。

1番目から3番目の子まで共通した傾向として、ある wave で子の相談にのったことがあると回答している場合には、次年も相談にのったことがあったと回答する割合が7割を超えている。同様に、相談にのったことがなかった場合には、引き続かなかったと回答する割合が7割を超えている。先に、子に相談にのってもらう場合の変化や継続性について述べたが、子の相談にのる場合もほぼ同様の傾向にある

ことが確認された。

子どもへのサービス

18歳以上の子がいる対象者に対して、1番目から3番目の子それぞれに対して「この1年間に、この方の看病や家事・育児などの手伝いをしたこと」があったかについて、「あった」「なかった」の2つの回答選択肢で把握した。移行表（表 4.4.22、表 4.4.39、表 4.4.56）をもとに、ある wave と次の wave の間における変化を概観する。

子に対する看病や手伝いについては、1番目から3番目の子まで共通して、ある wave で子の看病や手伝いをした場合、次年もしたことがあったと回答する割合は6割前後となっており、なかったと回答していた場合には次年も8割程度がなかったと回答している。

なお、子からの相談にのったことがあったかについて聞いた結果と比較すると、wave 間の変化が相対的に大きいようである。具体的には、相談の場合には、ある wave で相談にのっていて次年にのったことはなかったと回答する割合は2割程度だが、看病や手伝いについては、ある wave でしていても次年にしていない割合が4割前後となっている。相談にのることに比べると、看病や手伝いについては継続性が相対的に低いことが伺える。

表4.4.1 問18.子どもの人数(n=1772)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
0人	880	14.0	266	15.0	95.5
1人	878	14.0	283	16.0	89.2
2人	2964	47.2	847	47.8	97.5
3人	1336	21.3	381	21.5	98.8
4人	184	2.9	54	3.1	97.7
5人	24	0.4	8	0.5	100.0
6人	5	0.1	2	0.1	100.0
7人	4	0.1	1	0.1	100.0
計	6275	100.0	1842	104.0	96.2

(n=1772)

表4.4.2 問19付問1.1番上のお子さん (ア) 性別

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
男性	806	702	677	657	689	3,531
%	51.5	50.9	50.7	50.2	50.3	50.8
女性	758	678	658	652	681	3,427
%	48.5	49.1	49.3	49.8	49.7	49.3
計	1,564	1,380	1,335	1,309	1,370	6,958
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4.4.3 問19付問1.1番上のお子さん (イ) 居住場所

	距離は不明 だが別居	一緒に暮ら している	60分未満で 行ける場所	60分以上か かる場所	計
距離は不明だが別居	25.8	3.2	35.5	35.5	100.0
一緒に暮らしている	0.0	88.1	5.3	6.6	100.0
60分未満で行ける場所	1.7	2.9	90.8	4.6	100.0
60分以上かかる場所	1.3	3.0	6.6	89.1	100.0
計	1.3	31.5	32.6	34.6	100.0

表4.4.4 問19付問1.1番上のお子さん (ウ) この方と一緒に遊ぶことは、どのくらいありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	73.4	11.2	13.6	0.3	0.9	0.6	100.0
週に3~4回	22.0	30.3	37.6	8.3	1.8	0.0	100.0
週に1~2回	5.0	10.7	55.0	20.7	6.8	1.8	100.0
月に1~2回	0.7	2.2	29.0	38.4	23.9	5.8	100.0
年に数回	1.1	0.0	7.8	13.3	55.6	22.2	100.0
まったくない	4.7	0.0	2.3	14.0	14.0	65.1	100.0
計	27.5	10.4	30.5	14.4	11.2	6.1	100.0

表4.4.5 問19付問1.1番上のお子さん (エ) この方に知識や技能を教えることはありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	61.6	19.2	12.8	3.2	1.2	2.0	100.0
週に3~4回	18.3	28.1	42.5	7.2	1.3	2.6	100.0
週に1~2回	7.3	8.2	49.9	23.4	7.0	4.3	100.0
月に1~2回	0.7	5.3	29.3	37.3	23.3	4.0	100.0
年に数回	0.0	3.4	13.6	14.8	43.2	25.0	100.0
まったくない	10.4	5.2	11.7	15.6	15.6	41.6	100.0
計	20.5	12.7	31.1	16.9	10.8	7.9	100.0

表4.4.6 問19付問1.1番上のお子さん (オ) この方と一緒に夕食をとることはありますか (18歳未満)

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	90.7	5.6	2.8	0.4	0.4	0.1	100.0
週に3~4回	24.3	39.3	32.7	1.9	0.0	1.9	100.0
週に1~2回	7.4	16.0	72.0	3.4	0.6	0.6	100.0
月に1~2回	7.1	0.0	35.7	42.9	7.1	7.1	100.0
年に数回	9.1	0.0	9.1	18.2	54.6	9.1	100.0
まったくない	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	41.7	100.0
計	67.3	10.8	18.0	1.8	1.1	1.1	100.0

表4.4.7 問19付問1.1番上のお子さん (オ) この方と一緒に夕食をとることはありますか (18歳以上)

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	67.6	13.7	6.6	4.5	5.0	2.6	100.0
週に3~4回	27.1	36.7	18.6	11.2	5.3	1.1	100.0
週に1~2回	5.9	13.4	49.2	17.1	10.2	4.3	100.0
月に1~2回	2.7	2.7	10.0	54.6	26.3	3.8	100.0
年に数回	1.3	0.4	1.8	8.1	75.4	13.1	100.0
まったくない	1.6	1.6	1.6	2.7	32.7	59.8	100.0
計	13.7	7.1	10.5	14.8	38.8	15.1	100.0

表4.4.8 問19付問1.1番上のお子さん (カ) 年齢

	平均	最小	最大
年齢	24.3	0.0	53.0

表4.4.9 問19付問1.1番上のお子さん (キ) この方は18歳未満ですか、18歳以上ですか

	18歳未満	18歳以上	計
18歳未満	92.2	7.8	100.0
18歳以上	0.0	100.0	100.0
計	27.9	72.1	100.0

表4.4.10 問19付問1.1番上のお子さん (ケ) 仕事の有無

	仕事に就いている	在学中	無職	計
仕事に就いている	94.8	0.5	4.7	100.0
在学中	20.7	74.7	4.6	100.0
無職	21.3	0.2	78.5	100.0
計	73.6	9.4	17.0	100.0

表4.4.11 問19付問1.1番上のお子さん (ケ) 婚姻状況

	既婚	離別	未婚	計
既婚	97.9	2.1	0.0	100.0
離別	9.9	90.1	0.0	100.0
未婚	5.6	0.0	94.4	100.0
計	51.1	6.0	42.9	100.0

表4.4.12 問19付問1.1番上のお子さん
(コ) 子どもの有無 (複数回答) 子どもはいない

	いない	いる	計
いない	99.9	0.1	100.0
いる	4.2	95.8	100.0
計	45.7	54.3	100.0

表4.4.13 問19付問1.1番上のお子さん
(コ) 子どもの有無 (複数回答) 0～5歳の子がいる

	いない	いる	計
いない	96.2	3.8	100.0
いる	16.0	84.0	100.0
計	80.3	19.7	100.0

表4.4.14 問19付問1.1番上のお子さん
(コ) 子どもの有無 (複数回答) 6～17歳の子がいる

	いない	いる	計
いない	96.1	3.9	100.0
いる	4.5	95.6	100.0
計	71.6	28.4	100.0

表4.4.15 問19付問1.1番上のお子さん
(コ) 子どもの有無 (複数回答) 18歳以上の子がいる

	いない	いる	計
いない	98.2	1.8	100.0
いる	0.0	100.0	100.0
計	93.2	6.8	100.0

表4.4.16 問19付問1.1番上のお子さん

(サ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	毎日	週3～4回	週1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	計
毎日	67.3	14.1	9.6	4.9	3.4	0.7	100.0
週3～4	21.3	30.6	29.2	13.7	3.8	1.4	100.0
週1～2	6.5	13.2	41.5	29.0	8.7	1.1	100.0
月1～2	2.8	4.1	15.8	50.7	25.6	1.0	100.0
年数回	1.3	1.1	3.9	21.8	66.2	5.7	100.0
なし	0.0	2.6	1.7	7.8	19.1	68.7	100.0
計	19.0	10.2	18.0	25.2	23.3	4.3	100.0

表4.4.17 問19付問1.1番上のお子さん

(シ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	51.4	20.8	27.8	100.0
30万未満	11.6	43.4	45.0	100.0
なし	0.8	5.5	93.7	100.0
計	4.0	9.6	86.4	100.0

表4.4.18 問19付問1.1番上のお子さん

(ス) この方に相談に乗ってもらったことはありますか

	あった	なかった	計
あった	66.1	33.9	100.0
なかった	15.7	84.3	100.0
計	31.1	68.9	100.0

表4.4.19 問19付問1.1番上のお子さん

(セ) この方に看病や家事などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	63.6	36.4	100.0
なかった	13.0	87.0	100.0
計	27.0	73.0	100.0

表4.4.20 問19付問1.1番上のお子さん

(ソ) この方に金銭的な援助をしましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	46.8	26.2	27.0	100.0
30万未満	15.6	47.0	37.4	100.0
なし	4.1	11.4	84.5	100.0
計	12.7	21.4	65.8	100.0

表4.4.21 問19付問1.1番上のお子さん

(タ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	76.9	23.1	100.0
なかった	24.5	75.5	100.0
計	53.3	46.7	100.0

表4.4.22 問19付問1.1番上のお子さん

(チ) この方の看病や家事・育児などの手伝いをしたことはありますか

	あった	なかった	計
あった	61.7	38.3	100.0
なかった	12.1	87.9	100.0
計	25.1	74.9	100.0

表4.4.23 問19付問1.2番目のお子さん (ア) 性別

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
男性	625	547	540	529	550	2,791
%	48.7	47.7	48.2	48.1	47.8	48.1
女性	659	599	580	572	600	3,010
%	51.3	52.3	51.8	52.0	52.2	51.9
計	1,284	1,146	1,120	1,101	1,150	5,801
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4.4.24 問19付問1.2番目のお子さん (イ) 居住場所

	距離は不明 だが別居	一緒に暮ら している	60分未満で 行ける場所	60分以上か かる場所	計
距離は不明だが別居	30.8	0.0	42.3	26.9	100.0
一緒に暮らしている	0.2	89.3	5.4	5.1	100.0
60分未満で行ける場所	1.7	3.1	88.8	6.5	100.0
60分以上かかる場所	1.1	3.3	7.6	88.0	100.0
計	1.2	38.0	29.4	31.3	100.0

表4.4.25 問19付問1.2番目のお子さん (ウ) この方と一緒に遊ぶことは、どのくらいありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	65.7	13.1	15.5	4.1	0.8	0.8	100.0
週に3~4回	25.7	26.7	39.6	5.9	2.0	0.0	100.0
週に1~2回	4.7	11.5	55.7	20.6	5.1	2.4	100.0
月に1~2回	0.7	3.0	28.2	38.5	24.4	5.2	100.0
年に数回	0.0	1.1	2.3	16.9	56.2	23.6	100.0
まったくない	3.9	0.0	7.8	15.7	19.6	52.9	100.0
計	22.3	10.7	31.3	16.6	12.2	7.0	100.0

表4.4.26 問19付問1.2番目のお子さん (エ) この方に知識や技能を教えることはありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	66.3	14.4	10.2	5.4	0.5	3.2	100.0
週に3~4回	16.2	30.8	35.9	10.3	3.4	3.4	100.0
週に1~2回	5.8	10.4	45.8	22.7	10.8	4.6	100.0
月に1~2回	1.3	9.0	25.0	36.5	22.4	5.8	100.0
年に数回	0.0	4.0	13.9	23.8	37.6	20.8	100.0
まったくない	10.6	1.1	18.1	11.7	8.5	50.0	100.0
計	18.6	11.9	27.3	18.9	12.5	10.8	100.0

表4.4.27 問19付問1.2番目のお子さん (オ) この方と一緒に夕食をとることはありますか (18歳未満)

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	89.8	6.2	2.3	0.8	0.5	0.3	100.0
週に3~4回	29.2	34.4	33.3	2.1	1.0	0.0	100.0
週に1~2回	7.2	14.4	73.7	4.2	0.0	0.6	100.0
月に1~2回	5.3	0.0	31.6	47.4	5.3	10.5	100.0
年に数回	0.0	0.0	0.0	10.0	80.0	10.0	100.0
まったくない	37.5	6.3	18.8	0.0	6.3	31.3	100.0
計	64.8	10.5	19.4	2.6	1.5	1.2	100.0

表4.4.28 問19付問1.2番目のお子さん (オ) この方と一緒に夕食をとることはありますか (18歳以上)

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	66.7	16.0	9.2	3.0	4.1	1.1	100.0
週に3~4回	25.3	34.3	18.1	12.7	5.4	4.2	100.0
週に1~2回	9.3	15.6	39.1	21.8	11.1	3.1	100.0
月に1~2回	1.4	2.7	13.4	49.7	28.4	4.5	100.0
年に数回	1.1	1.3	1.5	8.8	74.3	13.0	100.0
まったくない	1.2	1.2	2.7	3.8	34.7	56.5	100.0
計	15.5	8.2	10.0	14.5	38.5	13.4	100.0

表4.4.29 問19付問1.2番目のお子さん (カ) 年齢

	平均	最小	最大
年齢	22.8	0.0	49.0

表4.4.30 問19付問1.2番目のお子さん
 (キ) この方は18歳未満ですか、18歳以上ですか

	18歳未満	18歳以上	計
18歳未満	92.9	7.1	100.0
18歳以上	0.0	100.0	100.0
計	29.3	70.7	100.0

表4.4.31 問19付問1.2番目のお子さん (ク) 仕事の有無

	仕事に就いている	在学中	無職	計
仕事に就いている	94.8	0.2	4.9	100.0
在学中	22.7	73.3	4.0	100.0
無職	23.5	2.1	74.4	100.0
計	75.0	9.5	15.5	100.0

表4.4.32 問19付問1.2番目のお子さん (ケ) 婚姻状況

	既婚	離別	死別	未婚	計
既婚	97.7	2.3	0.0	0.0	100.0
離別	7.3	92.7	0.0	0.0	100.0
死別	37.5	0.0	62.5	0.0	100.0
未婚	6.4	0.1	0.0	93.5	100.0
計	47.5	5.3	0.2	47.1	100.0

表4.4.33 問19付問1.2番目のお子さん
 (サ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	毎日	週3~4回	週1~2回	月に1~2回	年に数回	なし	計
毎日	68.6	13.9	10.0	4.6	2.2	0.7	100.0
週3~4	19.4	31.9	29.9	12.5	5.2	1.0	100.0
週1~2	9.1	14.9	37.6	28.3	9.3	0.8	100.0
月1~2	2.1	3.3	12.7	52.4	28.6	1.0	100.0
年数回	1.9	1.2	4.3	20.7	65.8	6.2	100.0
なし	3.1	4.7	4.7	10.9	35.9	40.6	100.0
計	22.1	10.7	16.4	24.1	23.9	2.9	100.0

表4.4.34 問19付問1.2番目のお子さん
 (シ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	34.9	27.9	37.2	100.0
30万未満	6.1	45.5	48.5	100.0
なし	1.2	5.1	93.7	100.0
計	2.7	9.6	87.7	100.0

表4.4.35 問19付問1.2番目のお子さん

(ス) この方に相談に乗ってもらったことはありますか

	あった	なかった	計
あった	66.3	33.7	100.0
なかった	16.3	83.7	100.0
計	31.5	68.6	100.0

表4.4.36 問19付問1.2番目のお子さん

(セ) この方に看病や家事などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	63.3	36.7	100.0
なかった	15.1	84.9	100.0
計	29.0	71.0	100.0

表4.4.37 問19付問1.2番目のお子さん

(ソ) この方に金銭的な援助をしましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	45.8	27.0	27.2	100.0
30万未満	13.6	47.3	39.1	100.0
なし	4.8	11.1	84.1	100.0
計	12.3	21.3	66.4	100.0

表4.4.38 問19付問1.2番目のお子さん

(タ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	75.4	24.7	100.0
なかった	26.8	73.2	100.0
計	53.6	46.4	100.0

表4.4.39 問19付問1.2番目のお子さん

(チ) この方の看病や家事・育児などの手伝いをしたことはありますか

	あった	なかった	計
あった	60.0	40.0	100.0
なかった	14.0	86.0	100.0
計	25.9	74.1	100.0

表4.4.40 問19付問1.3番目のお子さん (ア) 性別

	wave 1	wave 2	wave 3	wave 4	wave 5	計
男性	225	195	194	192	205	1,011
%	50.6	49.6	50.8	50.8	51.1	50.6
女性	220	198	188	186	196	988
%	49.4	50.4	49.2	49.2	48.9	49.4
計	445	393	382	378	401	1,999
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4.4.41 問19付問1.3番目のお子さん (イ) 居住場所

	距離は不明だが別居	一緒に暮らしている	60分未満で行ける場所	60分以上かかる場所	計
距離は不明だが別居	45.5	0.0	27.3	27.3	100.0
一緒に暮らしている	0.0	91.0	3.2	5.8	100.0
60分未満で行ける場所	2.2	7.1	85.3	5.4	100.0
60分以上かかる場所	1.9	3.1	5.4	89.6	100.0
計	1.6	46.9	21.2	30.4	100.0

表4.4.42 問19付問1.3番目のお子さん (ウ) この方と一緒に遊ぶことは、どのくらいありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	55.7	21.4	15.7	2.9	4.3	0.0	100.0
週に3~4回	26.3	18.4	44.7	2.6	7.9	0.0	100.0
週に1~2回	7.0	18.6	38.4	23.3	8.1	4.7	100.0
月に1~2回	1.9	3.8	24.5	39.6	18.9	11.3	100.0
年に数回	0.0	2.2	4.4	19.6	60.9	13.0	100.0
まったくない	0.0	0.0	3.7	18.5	25.9	51.9	100.0
計	17.5	12.8	24.1	18.1	18.1	9.4	100.0

表4.4.43 問19付問1.3番目のお子さん (エ) この方に知識や技能を教えることはありますか

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	68.4	12.3	12.3	5.3	0.0	1.8	100.0
週に3~4回	10.2	28.6	32.7	18.4	8.2	2.0	100.0
週に1~2回	6.3	10.9	28.1	23.4	28.1	3.1	100.0
月に1~2回	6.9	9.7	15.3	41.7	20.8	5.6	100.0
年に数回	1.9	3.8	3.8	18.9	50.9	20.8	100.0
まったくない	8.3	12.5	8.3	16.7	4.2	50.0	100.0
計	17.6	12.5	17.6	22.3	20.4	9.7	100.0

表4.4.44 問19付問1.3番目のお子さん（オ）この方と一緒に夕食をとることはありますか（18歳未満）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	90.4	7.9	0.9	0.4	0.4	0.0	100.0
週に3～4回	40.9	40.9	13.6	0.0	4.6	0.0	100.0
週に1～2回	5.3	19.3	66.7	7.0	1.8	0.0	100.0
月に1～2回	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	100.0
年に数回	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
まったくない	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
計	68.9	12.3	13.8	2.8	1.6	0.6	100.0

表4.4.45 問19付問1.3番目のお子さん（オ）この方と一緒に夕食をとることはありますか（18歳以上）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	まったくない	計
ほぼ毎日	62.4	15.9	7.6	3.8	7.6	2.6	100.0
週に3～4回	27.3	32.7	20.0	10.9	5.5	3.6	100.0
週に1～2回	15.8	7.9	40.8	22.4	10.5	2.6	100.0
月に1～2回	4.6	5.7	11.4	43.2	35.2	0.0	100.0
年に数回	1.3	0.4	2.2	10.4	72.7	13.0	100.0
まったくない	0.0	2.0	1.0	3.1	31.6	62.2	100.0
計	18.7	8.1	9.9	13.3	35.9	14.0	100.0

表4.4.46 問19付1.3番目のお子さん（カ）年齢

	平均	最小	最大
年齢	21.1	0.0	46.0

表4.4.47 問19付問1.3番目のお子さん
（キ）この方は18歳未満ですか、18歳以上ですか

	18歳未満	18歳以上	計
18歳未満	91.3	8.7	100.0
18歳以上	0.0	100.0	100.0
計	30.3	69.7	100.0

表4.4.48 問19付問1.3番目のお子さん（ク）仕事の有無

	仕事に就いている	在学中	無職	計
仕事に就いている	95.0	0.3	4.7	100.0
在学中	22.5	72.5	5.1	100.0
無職	27.0	3.7	69.3	100.0
計	74.9	11.2	14.0	100.0

表4.4.49 問19付問1.3番目のお子さん（ケ）婚姻状況

	既婚	離別	死別	未婚	計
既婚	96.4	3.3	0.3	0.0	100.0
離別	7.7	92.3	0.0	0.0	100.0
死別	25.0	0.0	75.0	0.0	100.0
未婚	4.4	0.0	0.0	95.6	100.0
計	43.8	4.7	0.6	51.0	100.0

表4.4.50 問19付問1.3番目のお子さん

(サ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	毎日	週3～4回	週1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	計
毎日	65.2	18.3	8.1	5.9	1.8	0.7	100.0
週3～4	25.4	28.5	31.5	9.2	5.4	0.0	100.0
週1～2	10.0	18.7	32.7	28.7	9.3	0.7	100.0
月1～2	2.0	3.5	11.1	54.6	28.3	0.5	100.0
年数回	1.2	1.2	3.1	19.0	66.9	8.6	100.0
なし	0.0	4.4	4.4	0.0	30.4	60.9	100.0
計	24.8	13.3	14.9	22.4	21.1	3.4	100.0

表4.4.51 問19付問1.3番目のお子さん

(シ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	30.0	40.0	30.0	100.0
30万未満	9.6	51.1	39.4	100.0
なし	0.9	4.8	94.3	100.0
計	2.3	10.2	87.5	100.0

表4.4.52 問19付問1.3番目のお子さん

(ス) この方に相談に乗ってもらったことはありますか

	あった	なかった	計
あった	62.4	37.6	100.0
なかった	15.4	84.6	100.0
計	28.4	71.6	100.0

表4.4.53 問19付問1.3番目のお子さん

(セ) この方に看病や家事などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	63.6	36.4	100.0
なかった	16.0	84.0	100.0
計	31.7	68.3	100.0

表4.4.54 問19付問1.3番目のお子さん

(ソ) この方に金銭的な援助をしましたか

	30万以上	30万未満	なし	計
30万以上	48.9	24.1	27.0	100.0
30万未満	15.8	49.8	34.5	100.0
なし	5.6	10.5	84.0	100.0
計	14.3	21.2	64.5	100.0

表4.4.55 問19付問1.3番目のお子さん

(タ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	71.8	28.2	100.0
なかった	27.5	72.5	100.0
計	51.1	48.9	100.0

表4.4.56 問19付問1.3番目のお子さん

(チ) この方の看病や家事・育児などの手伝いをしたことはありますか

	あった	なかった	計
あった	59.9	40.1	100.0
なかった	16.1	83.9	100.0
計	29.1	70.9	100.0

4.5 両親

金貞任（東京福祉大学）

得津慎子（関西福祉科学大学）

wave1 時点の親の年齢

wave1 時点の親の平均年齢は、父親が 70.6 歳、母親が 71.2 歳であり、最高年齢は、父親が 98 歳、母親が 99 歳であった。

父の仕事

父親の仕事の変化について、「無職」から「ついている」へと移行が観察された回答は 6% であったが、「仕事についている」者は回答に変化がなかった。

母の仕事

母親の仕事の変化について、「ついている」から「無職」へと移行が 2 割強、「無職」から「ついている」へと移行が 2 割弱観察された。

父の居住地

父親の居住地について、変化がみられたのは、「15 分未満」、「15 分～30 分未満」、「30 分～60 分未満」のみである。すなわち、父親の居住地が「15 分未満」から「15 分～30 分未満」と「30 分～60 分未満」へと移行が観察されたのは、それぞれ 2 割弱であった。他方で、父親の居住地が「30 分～60 分未満」から「15 分～30 分未満」、「1 時間～3 時間未満」へと移行が観察されたのは、それぞれ 2 割であった。

母の居住地

母親の居住地について、「同じ敷地内の別棟」と「1 時間～3 時間未満」と回答した者を除く、すべてのカテゴリーに変化が見られた。すなわち、「同じ建物内」から「15 分～30 分未満」へと変化が見られたのは 1 割、「15 分～30 分未満」から「同じ敷地内」へと変化が見られたのは 2 割弱であった。他方で、「15 分未満」群は「15 分～30 分未満」と「3 時間以上」へと変化が見られたのはそれぞれ 2 割弱、「30 分～1 時間未満」群は「15 分～30 分未満」と「1 時間～3 時間未満」へと変化が見られたのはそれぞれ 1 割と 2 割、観察された。

父との会話

父親との話らしい話について、「まったくなかった」と回答した者を除くすべてのカテゴリーに変化が見られた。特に、「月に 1～2 回」から「週に 1～2 回」と「年に数回」へと移行が観察されたのは、それぞれ 3 割、1 割強、「年に数回」から「月に 1～2 回」へと移行が観察されたのは 4 割であった。

母との会話

母親との話らしい話について、すべてのカテゴリーに変化が見られた。特に、「週に3~4回」から「月に1~2回」へと移行の変化があったのはすべてだったが、「月に1~2回」から「週に1~2回」と「年に数回」へと移行がそれぞれ3割と1割強、観察された。

父母からの金銭的援助

父親からの金銭的援助の受領について、「受けた」から「受けなかった」へと移行が2割強、「受けなかった」から「受けた」へと移行が1割観察された。

母親からの金銭的援助の受領について、「年間30万円以上」から「年間30万円未満」へと移行が観察されたのはすべてであり、「年間30万円未満」から「受けなかった」へと移行が6割観察された。

父母からの心理的支援

父親からの相談の受領について、「あった」から「なかった」へと変化が見られたのが4割、「なかった」から「あった」へと変化が見られたのが1割であった。

母親からの相談の受領について、「あった」から「なかった」へと変化が見られたのが4割強、「なかった」から「あった」へと変化が見られたのが2割強であった。

父母からのサービス

父親からの看病や家事の受領について、「なかった」から「あった」へと移行がみられたのは1割であった。

母親からの看病や家事の受領について、「あった」から「なかった」へと移行は4割、「なかった」から「あった」へと移行の変化がみられたのは3割であった。

父母への金銭的援助

父親への金銭的援助の提供について、「年間30万円未満した」から「しなかった」へと変化があったのが4割、「しなかった」から「年間30万円未満した」へと変化があったのが1割強であった。

母親への金銭的援助の提供について、「年間30万円以上した」から「しなかった」へ、「年間30万円未満した」から「しなかった」へ、「しなかった」から「年間30万円未満した」へと移行が、それぞれ3割、4割、1割観察された。

父母への心理的支援

父親への相談の提供について、「あった」から「なかった」へと移行が観察されたのは、4割であった。

母親への相談の提供について、「あった」から「なかった」へ、「なかった」から

「あった」へと移行が観察されたのは、それぞれ 4 割、1 割弱であった。

父母へのサービス

父親への看病や家事の手伝いの提供について、「あった」から「なかった」へ、「なかった」から「あった」へと移行が観察されたのは、それぞれ 6 割、1 割であった。

母親への看病や家事の手伝いの提供について、「あった」から「なかった」へ、「なかった」から「あった」へと移行が、それぞれ 5 割、2 割であった。

父母の健康状態

父親の 1 年間の健康状態について、「大変良好」から悪い方向へと移行が 6 割弱であったが、「大変悪い」から良い方向へと移行の変化が見られたのも 6 割強であった。「まあ良好」から悪い方向へと移行が 2 割、良い方向へと移行が 1 割観察されたが、「やや悪い」から良い方向へと移行の変化が 4 割強、悪い方向へと移行が 1 割観察された。

母親の 1 年間の健康状態について、「大変良好」から悪い方向へと移行が 5 割強、「大変悪い」から良い方向へと移行が見られたのが 4 割強であった。「まあ良好」から悪い方向へと移行が 2 割強、良い方向へと移行が 1 割未満観察されたが、「やや悪い」から良い方向へと移行が 4 割、悪い方向へと移行が 1 割あることがわかった。

表4.5.1 問20付問1.父 (ア) 年齢

	平均値	最小値	最大値
年齢	70.6	45.0	98.0

表4.5.2 問20付問1.父 (イ) 就業状況

	仕事についている	無職	計
仕事についている	100.0	0.0	100.0
無職	5.9	94.1	100.0
計	40.7	59.3	100.0

表4.5.3 問20付問1.父 (ウ) 居住場所

	同じ建物内	同じ敷地内	15分未満	15分～30分未満	30分～60分未満	1時間～3時間未満	3時間以上	計
同じ建物内(玄関も同じ)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ敷地内の別棟	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分未満	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	100.0
15分～30分未満	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	100.0
30分～60分未満	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	22.2	3.7	14.8	18.5	14.8	11.1	14.8	100.0

表4.5.4 問20付問1.父 (エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	まったくなかった	計
ほぼ毎日	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
週に1～2回	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	100.0
月に1～2回	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	100.0
年に数回	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	100.0
まったくなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	19.2	3.9	19.2	26.9	19.2	11.5	100.0

表4.5.5 問20付問1.父 (オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	受けた(年間30万未満)	受けなかった	計
受けた(年間30万未満)	75.0	25.0	100.0
受けなかった	9.1	90.9	100.0
計	19.2	80.8	100.0

表4.5.6 問20付問1.父

(カ) この方に相談にのってもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	62.5	37.5	100.0
なかった	11.1	88.9	100.0
計	26.9	73.1	100.0

表4.5.7 問20付問1.父

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	100.0	0.0	100.0
なかった	9.1	90.9	100.0
計	23.1	76.9	100.0

表4.5.8 問20付問1.父 (ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	した(年間30万未満)	しなかった	計
した(年間30万未満)	62.5	37.5	100.0
しなかった	16.7	83.3	100.0
計	30.8	69.2	100.0

表4.5.9 問20付問1.父

(ケ) この方に相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	57.1	42.9	100.0
なかった	5.3	94.7	100.0
計	19.2	80.8	100.0

表4.5.10 問20付問1.父

(コ) この方の看病や家事などの手伝いをしたことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	42.9	57.1	100.0
なかった	10.5	89.5	100.0
計	19.2	80.8	100.0

表4.5.11 問20付問1.父 (サ) この方の健康状態はいかがですか

	たいへん良好	まあ良好	どちらとも いえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	37.2	54.6	4.6	2.6	1.0	100.0
まあ良好	7.7	71.4	12.7	7.4	0.7	100.0
どちらともいえない	1.7	40.1	36.7	18.7	2.7	100.0
やや悪い	1.2	18.2	26.3	45.2	9.3	100.0
たいへん悪い	0.0	10.2	8.2	44.9	36.7	100.0
計	8.8	54.7	17.7	15.4	3.4	100.0

表4.5.12 問20付問1.母 (ア) 年齢

	平均値	最小値	最大値
年齢	71.2	44.0	99.0

表4.5.13 問20付問1.母 (イ) 就業状況

	仕事についている	無職	計
仕事についている	75.0	25.0	100.0
無職	16.7	83.3	100.0
計	31.3	68.8	100.0

表4.5.14 問20付問1.母 (ウ) 居住場所

	同じ建物内	同じ敷地内	15分未満	15分～30分未満	30分～60分未満	1時間～3時間未満	3時間以上	計
同じ建物内(玄関も同じ)	88.9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ敷地内の別棟	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分未満	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	100.0
15分～30分未満	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	100.0
30分～60分未満	0.0	0.0	0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
計	25.0	6.3	12.5	25.0	18.8	9.4	3.1	100.0

表4.5.15 問20付問1.母 (エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	計
ほぼ毎日	69.2	15.4	7.7	7.7	0.0	100.0
週に3～4回	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
週に1～2回	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	100.0
月に1～2回	0.0	0.0	28.6	57.1	14.3	100.0
年に数回	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	100.0
計	32.3	6.5	19.4	25.8	16.1	100.0

表4.5.16 問20付問1.母

(オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	受けた(年間30万未満)	受けなかった	計
受けた(年間30万以上)	100.0	0.0	100.0
受けた(年間30万未満)	40.0	60.0	100.0
受けなかった	8.0	92.0	100.0
計	16.1	83.9	100.0

表4.5.17 問20付問1. 母

(カ) この方に相談にのってもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	57.1	42.9	100.0
なかった	23.5	76.5	100.0
計	38.7	61.3	100.0

表4.5.18 問20付問1. 母

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	61.5	38.5	100.0
なかった	27.8	72.2	100.0
計	41.9	58.1	100.0

表4.5.19 問20付問1. 母 (ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	した(年30万 以上)	した(年30万 未満)	しなかった	計
した(年間30万以上)	66.7	0.0	33.3	100.0
した(年間30万未満)	0.0	57.1	42.9	100.0
しなかった	0.0	14.3	85.7	100.0
計	6.5	22.6	71.0	100.0

表4.5.20 問20付問1. 母

(ケ) この方に相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	58.8	41.2	100.0
なかった	7.1	92.9	100.0
計	35.5	64.5	100.0

表4.5.21 問20付問1. 母

(コ) この方の看病や家事などの手伝いをしたことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	46.7	53.3	100.0
なかった	20.0	80.0	100.0
計	33.3	66.7	100.0

表4.5.22 問20付問1. 母 (サ) この方の健康状態はいかがですか

	たいへん良好	まあ良好	どちらとも いえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	44.5	50.7	1.3	3.5	0.0	100.0
まあ良好	6.8	70.4	14.0	8.2	0.6	100.0
どちらともいえない	2.3	34.9	44.0	16.6	2.3	100.0
やや悪い	0.9	19.1	20.4	53.1	6.6	100.0
たいへん悪い	0.0	7.0	5.6	32.4	54.9	100.0
計	8.2	52.3	18.8	17.4	3.3	100.0

4.6 きょうだい

吉原千賀（高千穂大学）

兄弟姉妹については、wave1 と wave5 でのみ回答を得ている。

きょうだいの人数

「健在な兄弟姉妹（配偶者の兄弟姉妹は除く）」の数について、自分を含めなくてその数字を記入してもらった。その結果「健在なきょうだいはいない」人として wave1 と wave5 をあわせた全体として観察されたのは全体の 1 割にも満たず、9 割以上が 1 人から最大 10 人の健在なきょうだいを持っているものと観察されている。健在なきょうだい数として観察された最頻値は「1 人」で、それに「2 人」、「3 人」と続いている。wave1 と wave5 のどちらか少なくとも 1 回以上「健在のきょうだいはいない」とした人をみても、全体のトータルでの観察傾向とほぼ同じ結果である。また、きょうだい数の多い人ほど健在の兄弟姉妹数の変化を経験している割合が総じて高いという結果である。

きょうだいの性別と年齢

きょうだいの性別については、1 番目のきょうだい、2 番目のきょうだい、3 番目のきょうだいのいずれもほぼ男女半々である。きょうだいの年齢については、1 番目のきょうだいで最少から最大までの年齢の幅が大きく、3 番目のきょうだいでは逆に小さい。平均値については逆に 1 番目のきょうだいが最も小さく、3 番目のきょうだいで最も大きい。これは、高齢層ほど兄弟姉妹数が多いことに起因することだろう。

きょうだいの居住場所

続いて、きょうだいの居住場所についてである。1 番目のきょうだいについては、wave1 と wave5 では、総じて変化がないか、もしくは遠方化する傾向がみられる。特に変化がみられたのが wave1 で 1 番目のきょうだいの居住地が「15 分～30 分未満」であった人の半分以上が wave5 では「30 分以上 60 分未満」になっていたという点である。2 番目のきょうだいについては、wave1 と wave5 で変化しない割合が 1 番目のきょうだいより高く、3 番目のきょうだいでは wave1 で「30～60 分未満」であった人の半数が「3 時間以上」へと変化していた以外に変化はみられないという結果であった。

きょうだいとの会話

最後に、電話なども含めて 1 年間にきょうだいとした「話らしい話」についてである。1 番目のきょうだいについて、wave1 で「毎日」と回答した人と逆に「全くない」と回答した人は wave5 でも同様に変化がみられない。wave1 で「週 1～2 回」

の人の半数以上が wave5 では「月に 1~2 回」へ、wave1 で「月 1~2 回」の人の 4 割が「年に数回」へとその頻度には減少傾向がみられる。2 番目のきょうだいについては、wave1 で「ない」人は wave5 でも「ない」という傾向で、wave1 で「週 3~4 回」の人は wave5 で「週 1~2 回」「月 1~2 回」と減少傾向であるものの、wave1 で「月 1~2 回」の人は wave5 では、「週 1~2 回」に増加する人と「なし」になる人とに分かれる。そして wave1 で「年に数回」の人の 8 割以上はそのまま変化しないものの「月 1~2 回」「週 1~2 回」と増加する人も見られるのが特徴である。3 番目のきょうだいについては、wave1 で「毎日」の人はみな「毎日」で不変である。しかし、wave1 で「週 1~2 回」と「月 1~2 回」の人では皆 wave5 においてそれぞれ「月 1~2 回」と「年に数回」へと減少傾向である。その一方で、wave1 で「年数回」と回答した人では、wave5 で「週 1~2 回」と増加する人と逆に「なし」になってしまう人に分かれる。そして、wave1 で「なし」と回答した人は wave5 では 6 割以上が「年に数回」「話らしい話」をするようになったという回答であった点は、1 番目のきょうだい、2 番目のきょうだいとは違った様相である。

表4.6.1 問21.きょうだい数(n=1870)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
健在のきょうだいはいない	228	6.7	139	7.4	93.2
1人	1302	38.0	724	38.7	98.0
2人	1029	30.0	575	30.8	97.0
3人	436	12.7	261	14.0	91.4
4人	226	6.6	144	7.7	84.0
5人	101	2.9	68	3.6	81.6
6人	67	2.0	42	2.3	85.7
7人	31	0.9	20	1.1	82.5
8人	8	0.2	6	0.3	75.0
10人	2	0.1	1	0.1	100.0
計	3430	100.0	1980	105.9	94.4

(n=1870)

表4.6.2 問21付問1.1番年上のきょうだい

(ア) 性別

	度数	%
男性	842	48.3
女性	901	51.7
計	1743	100.0

表4.6.3 問21付問1.1番年上のきょうだい (イ) 年齢

	平均	最小値	最大値
年齢	52.2	17.0	92.0

表4.6.4 問21付問1.1番年上のきょうだい (ウ) 居住場所

	同じ建物内 (玄関も同じ)	同じ建物内 (玄関は別)	15分未 満	15分～30 分未満	30分～60 分未満	1時間～3 時間未満	3時間以 上	計
同じ建物内 (玄関も同じ)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ建物内 (玄関は別)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ敷地内の別棟	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
15分未満	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分～30分未満	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0	100.0
30分～60分未満	0.0	0.0	7.1	7.1	57.1	28.6	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	70.0	10.0	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	10.9	1.8	10.9	9.1	25.5	20.0	21.8	100.0

表4.6.5 問21付問1.1番年上のきょうだい

(エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	毎日	週3～4回	週1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	計
毎日	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
週3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
週1～2	0.0	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	100.0
月1～2	6.7	6.7	20.0	26.7	40.0	0.0	100.0
年数回	0.0	0.0	3.6	0.0	82.1	14.3	100.0
なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	10.5	3.5	10.5	14.0	50.9	10.5	100.0

表4.6.6 問21付問1.1番年上のきょうだい

(オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	30万未満	なし	計
30万以上	0.0	100.0	100.0
30万未満	0.0	100.0	100.0
なし	7.4	92.6	100.0
計	7.0	93.0	100.0

表4.6.7 問21付問1.1番年上のきょうだい

(カ) この方に相談にのってもらうことはありますか

	あった	なかった	計
あった	47.4	52.6	100.0
なかった	2.6	97.4	100.0
計	17.5	82.5	100.0

表4.6.8 問21付問1.1番年上のきょうだい

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしても
らうことはありますか

	あった	なかった	計
あった	37.5	62.5	100.0
なかった	6.1	93.9	100.0
計	10.5	89.5	100.0

表4.6.9 問21付問1.1番年上のきょうだい

(ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	30万未満	なし	計
30万未満	25.0	75.0	100.0
なし	3.8	96.2	100.0
計	5.3	94.7	100.0

表4.6.10 問21付問1.1番年上のきょうだい
 (ケ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	45.0	55.0	100.0
なかった	8.3	91.7	100.0
計	21.4	78.6	100.0

表4.6.11 問21付問1.1番年上のきょうだい
 (コ) この方の看病や家事・育児の手伝いをしたことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	28.6	71.4	100.0
なかった	2.0	98.0	100.0
計	5.3	94.7	100.0

表4.6.12 問21付問1.2番目のきょうだい
 (ア) 性別

	度数	%
男性	501	48.5
女性	532	51.5
計	1033	100.0

表4.6.13 問21付問1.2番目のきょうだい (イ) 年齢

	平均	最小値	最大値
年齢	53.8	15.0	88.0

表4.6.14 問21付問1.2番目のきょうだい (ウ) 居住場所

	同じ敷地 内の別棟	15分未 満	30分未 満	30分～60 分未満	1時間～3 時間未満	3時間以 上	計
同じ敷地内の別棟	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分未満	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	100.0
15分～30分未満	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
30分～60分未満	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	0.0	8.3	83.3	8.3	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	2.8	11.1	13.9	16.7	33.3	22.2	100.0

表4.6.15 問21付問1.2番目のきょうだい

(エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	週3～4回	週1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	計
週3～4	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0
週1～2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
月1～2	0.0	28.6	57.1	0.0	14.3	100.0
年数回	0.0	4.8	9.5	85.7	0.0	100.0
なし	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	2.6	10.5	18.4	55.3	13.2	100.0

表4.6.16 問21付問1.2番目のきょうだい

(オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	30万未満	なし	計
30万未満	0.0	100.0	100.0
なし	2.7	97.3	100.0
計	2.6	97.4	100.0

表4.6.17 問21付問1.2番目のきょうだい

(カ) この方に相談にのってもらうことはありますか

	あった	なかった	計
あった	25.0	75.0	100.0
なかった	11.8	88.2	100.0
計	13.2	86.8	100.0

表4.6.18 問21付問1.2番目のきょうだい

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしてもらうことはありますか

	あった	なかった	計
あった	100.0	0.0	100.0
なかった	0.0	100.0	100.0
計	2.6	97.4	100.0

表4.6.19 問21付問1.2番目のきょうだい

(ク) この方に金銭的な援助をされましたか

	30万未満	なし	計
30万未満	100.0	0.0	100.0
なし	2.7	97.3	100.0
計	5.3	94.7	100.0

表4.6.20 問21付問1.2番目のきょうだい
 (ケ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	16.7	83.3	100.0
なかった	9.7	90.3	100.0
計	10.8	89.2	100.0

表4.6.21 問21付問1.2番目のきょうだい
 (コ) この方の看病や家事・育児の手伝いをしたことはありましたか

	なかった	計
あった	100.0	100.0
なかった	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.6.22 問21付問1.3番目のきょうだい
 (ア) 性別

	度数	%
男性	221	46.4
女性	255	53.6
計	476	100.0

表4.6.23 問21付問1.3番目のきょうだい (イ) 年齢

	平均	最小値	最大値
年齢	58.8	20.0	82.0

表4.6.24 問21付問1.3番目のきょうだい (ウ) 居住場所

	同じ建物内 内(玄関も同じ)	30分～60分未満	1時間～3時間未満	3時間以上	計
同じ建物内(玄関も同じ)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30分～60分未満	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	9.1	9.1	27.3	54.6	100.0

表4.6.25 問21付問1.3番目のきょうだい

(エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	毎日	週1～2回	月に1～2回	年に数回	なし	計
毎日	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
週1～2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
月1～2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
年数回	0.0	16.7	0.0	66.7	16.7	100.0
なし	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
計	8.3	8.3	8.3	58.3	16.7	100.0

表4.6.26 問21付問1.3番目のきょうだい

(オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	なし	計
なし	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.6.27 問21付問1.3番目のきょうだい

(カ) この方に相談にのってもらうことはありますか

	なかった	計
あった	100.0	100.0
なかった	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.6.28 問21付問1.3番目のきょうだい

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしても
らうことはありますか

	なかった	計
あった	100.0	100.0
なかった	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.6.29 問21付問1.3番目のきょうだい

(ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	なし	計
なし	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.6.30 問21付問1.3番目のきょうだい

(ケ) この方の相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	0.0	100.0	100.0
なかった	9.1	90.9	100.0
計	8.3	91.7	100.0

表4.6.31 問21付問1.3番目のきょうだい

(コ) この方の看病や家事・育児の手伝いをしたことはありましたか

	なかった	計
あった	100.0	100.0
なかった	100.0	100.0
計	100.0	100.0

4.7 義父母

山西裕美（熊本学園大学）

瀬地山角（東京大学）

wave1 時点での義父年齢は平均値 71.1 歳(range 44-95 歳)、義母年齢は平均値 71.2 歳(range 43-99 歳)と、義母の方が平均値が高く範囲も広い。wave5 時点では義父、義母とも平均値が 75 歳を超えて後期高齢者層に入っている。

義父母ともに wave5 時点では約 8 割の人が仕事をしていない。義父の場合は、wave1 時点で働いていた人でも、wave5 時点で辞めている割合が 3/4 であるのに対し、義母の場合は wave1 で仕事をしていたケースのうち 7 割以上が wave5 時点でも仕事をしている。

住居は、義父母ともに wave5 の時点で同居は同じ敷地内も含めて約 3 割であるが、もともと wave1 時点で同居だった場合は、敷地内から同じ建物への移動はあっても離れる傾向は見られない。もともと別居だった場合、遠近の移動を含めて若干の変化が見られる。

話らしい話をするかどうかについては、義母に対しての方が wave5 の時点でも週 1 回以上と頻度の高い者が 3 割以上おり、義父の場合よりも多い。義父母共通の傾向として、wave1 で頻度の低かった場合でも、経年変化により頻度が上がる傾向が若干みられる。

義父母からの金銭的援助は、義父母共通に見られる傾向として、wave1 時点から受けていない場合は、wave5 時点でも約 8 割が受けていないが、wave1 時点で受けていたケースの場合、wave5 時点でも受けている傾向が強いことである。

義父母に相談にのってもらえるかどうかは、義母に相談にのってもらえるケースの割合は義父に対するよりは多く、wave5 時点でも約 2 割弱ある。wave1 時点で相談にのってもらったケースの半分が wave5 時点でも相談をしている傾向がうかがえる。

義父母からの看病や家事の手伝いをしてもらったかどうかについては、義父母の場合とも wave1 時点で手伝ってもらっていない場合は、wave5 時点でも手伝ってもらっていないことが多い。しかし、wave1 時点で手伝ってもらった場合は、wave5 時点でも手伝ってもらっている場合が多く、特に義母の場合は 5 割を超える。

義父母への金銭的援助については、義父母に対してはともに wave5 時点で金銭的援助を行っていないケースが 7 割以上であるが、wave1 時点で金銭的援助を行った場合は wave5 時点でも行っている場合も多く、特に義母に対する場合はその傾向が強い。

義父母からの相談に対しては、ともに wave5 時点で相談にのっていない場合が殆どであるが、義母の場合は異なる。

義父母への看病や家事の手伝いについては、wave5 時点では、義父母の場合とも 8 割前後の子どもは援助を行っていない。しかし、wave1 時点で援助を行った場合

は、wave5 時点でも 6 割以上のケースが援助を行っている。

義父母の健康状態では、義父母とも wave5 時点では 6 割以上が良好である。wave1 と wave5 を比較しても、悪化している割合はそれほど高くなく、むしろ加齢にかかわらず wave1 時点よりも良くなっていると回答する傾向が多く見られる。

wave1 と wave5 との比較からは、金銭的援助や看病や家事の手伝いなど、質問項目によっては援助の方向性（義父母から子どもへ、子どもから義父母へ）に関わらず、wave1 時点で見られた傾向が wave5 時点でも続いている。話らしい話を子どもとするなどの場合のように頻度が上がる傾向がうかがえるものもあった。

義父母間では回答に違いが見られなかった項目もあったが、年齢、仕事、子どもからの金銭的援助、子どもからの看病や家事手伝い、子どもが相談にのるといった項目では違いが表れた。これは高齢期女性特有の問題、女性の方が年齢が高くなりがちであり、遺族年金など制度的にも経済状況が男性よりも不利になりやすいことなどが反映していると考えられる。

表4.7.1 問22付問1.義父（ア）年齢

	平均値	最小値	最大値
年齢	71.1	44.0	95.0

表4.7.2 問22付問1.義父（イ）就業状況

	仕事についている	無職	計
仕事についている	25.0	75.0	100.0
無職	0.0	100.0	100.0
計	15.4	84.6	100.0

表4.7.3 問22付問1.義父（ウ）居住場所

	同じ建物内	同じ敷地内	15分～30分未満	30分～60分未満	1時間～3時間未満	3時間以上	計
同じ建物内(玄関も同じ)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ敷地内の別棟	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分～30分未満	0.0	0.0	42.9	42.9	14.6	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0
計	13.3	13.3	20.0	33.3	13.3	6.7	100.0

表4.7.4 問22付問1.義父（エ）この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	まったくなかった	計
週に3～4回	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
週に1～2回	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0
月に1～2回	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
年に数回	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	100.0
まったくなかった	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	100.0
計	7.1	7.1	7.1	21.4	35.7	21.4	100.0

表4.7.5 問22付問1.義父（オ）この方から金銭的な援助を受けましたか

	受けた（年間30万以上）	受けた（年間30万未満）	受けなかった	計
受けた（年間30万以上）	50.0	50.0	0.0	100.0
受けた（年間30万未満）	0.0	100.0	0.0	100.0
受けなかった	9.1	9.1	81.8	100.0
計	14.3	21.4	64.3	100.0

表4.7.6 問22付問1.義父

(カ) この方に相談にのってもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	0.0	100.0	100.0
なかった	9.1	90.9	100.0
計	8.3	91.7	100.0

表4.7.7 問22付問1.義父

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしてもらったことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	33.3	66.7	100.0
なかった	12.5	87.5	100.0
計	21.4	78.6	100.0

表4.7.8 問22付問1.義父

(ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	した(年30万未満)	しなかった	計
した(年間30万未満)	50.0	50.0	100.0
しなかった	16.7	83.3	100.0
計	21.4	78.6	100.0

表4.7.9 問22付問1.義父

(ケ) この方に相談相手になることはありましたか

	なかった	計
あった	100.0	100.0
なかった	100.0	100.0
計	100.0	100.0

表4.7.10 問22付問1.義父

(コ) この方の看病や家事などの手伝いをしたことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	66.7	33.3	100.0
なかった	0.0	100.0	100.0
計	14.3	85.7	100.0

表4.7.11 問22付問1.義父 (サ) この方の健康状態はいかがですか

	たいへん良好	まあ良好	どちらとも いえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	39.0	50.7	7.1	2.6	0.7	100.0
まあ良好	8.3	71.6	13.3	5.9	0.9	100.0
どちらともいえない	1.9	38.2	34.9	23.6	1.4	100.0
やや悪い	1.5	13.2	24.4	50.2	10.7	100.0
たいへん悪い	0.0	3.5	17.2	48.3	31.0	100.0
計	9.6	53.1	17.9	16.3	3.1	100.0

表4.7.12 問22付問1.義母 (ア) 年齢

	平均値	最小値	最大値
年齢	71.2	43.0	99.0

表4.7.13 問22付問1.義母 (イ) 就業状況

	仕事についている	無職	計
仕事についている	71.4	28.6	100.0
無職	5.9	94.1	100.0
計	25.0	75.0	100.0

表4.7.14 問22(ウ) 義母はどこに住んでいるか

	同じ建物内(玄関も同じ)	同じ建物内(玄関別)	同じ敷地内の別棟	15分～30分未満	30分～60分未満	1時間～3時間未満	3時間以上	計
同じ建物内(玄関も同じ)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ建物内(玄関は別)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
同じ敷地内の別棟	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
15分～30分未満	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
30分～60分未満	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	100.0
1時間～3時間未満	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	100.0
3時間以上	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	100.0
計	16.0	4.0	12.0	16.0	28.0	8.0	16.0	100.0

表4.7.15 問22付問1.義母(エ) この方と「話らしい話」をどれくらいしましたか

	ほぼ毎日	週に1～2回	月に1～2回	年に数回	まったくなかった	計
ほぼ毎日	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
週に3～4回	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
週に1～2回	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
月に1～2回	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	100.0
年に数回	0.0	0.0	10.0	80.0	10.0	100.0
まったくなかった	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
計	12.5	20.8	20.8	37.5	8.3	100.0

表4.7.16 問22付問1.義母

(オ) この方から金銭的な援助を受けましたか

	受けた(年間30万未満)	受けなかった	計
受けた(年間30万以上)	100.0	0.0	100.0
受けた(年間30万未満)	25.0	75.0	100.0
受けなかった	21.1	79.0	100.0
計	25.0	75.0	100.0

表4.7.17 問22付問1.義母

(カ) この方に相談にのってもらうことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	50.0	50.0	100.0
なかった	10.5	89.5	100.0
計	17.4	82.6	100.0

表4.7.18 問22付問1.義母

(キ) この方に看病や家事・育児などの手伝いをしてもらうことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	54.6	45.5	100.0
なかった	7.7	92.3	100.0
計	29.2	70.8	100.0

表4.7.19 問22付問1.義母

(ク) この方に金銭的な援助をしましたか

	した(年30万未満)	しなかった	計
した(年間30万以上)	100.0	0.0	100.0
した(年間30万未満)	40.0	60.0	100.0
しなかった	22.2	77.8	100.0
計	29.2	70.8	100.0

表4.7.20 問22付問1.義母

(ケ) この方にの相談相手になることはありましたか

	あった	なかった	計
あった	40.0	60.0	100.0
なかった	10.5	89.5	100.0
計	16.7	83.3	100.0

表4.7.21 問22付問1.義母

(コ) この方の看病や家事などの手伝いをしたことはありましたか

	あった	なかった	計
あった	62.5	37.5	100.0
なかった	0.0	100.0	100.0
計	20.8	79.2	100.0

表4.7.22 問22付問1.義母 (サ) この方の健康状態はいかがですか

	たいへん良好	まあ良好	どちらとも いえない	やや悪い	たいへん悪い	計
たいへん良好	45.0	47.4	5.2	2.4	0.0	100.0
まあ良好	8.2	71.4	14.2	5.5	0.7	100.0
どちらともいえない	1.9	37.4	34.4	22.0	4.3	100.0
やや悪い	1.0	16.5	26.1	45.4	11.0	100.0
たいへん悪い	0.0	3.5	8.2	36.5	51.8	100.0
計	9.5	51.4	18.6	15.5	5.0	100.0

4.8 世帯、態度、その他

坂本有芳（日本学術振興会）

一緒に住んでいる人

「現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。一時的に別居している方は除いてご記入ください」とたずね、一緒に住んでいる人の数を答えてもらった（表 4.8.1）。観察された中で最も多いのは「2人」で1/4強を占め、次いで「3人」「4人」が2割強である。2010年「国民生活基礎調査」（厚生労働省 2010）によれば、世帯人員数として最も多いのは「1人」、次いで「2人」であるのに対し、本結果では「1人」の割合が少ない。調査対象者に20歳代前半と単独世帯の多い年齢層が含まれていなかったことが表れているだろう。観察人数と観察回数を掛け合わせた「全体」の度数のうち、脱落や無回答で未観察となった割合が1割強となっている。

「個体間」の割合を確認すると、同居人数が「1人」、つまり一人暮らしだったことが、wave1から5までの期間中に1度でもあった人の割合は1割弱となる。同居人数が「2人」「3人」「4人」の状態を経験した人はそれぞれ3割強であり、「全体」で示された割合よりも1割程度多い。「個体内」の分布では、「2人」よりも「3人」「4人」の割合のほうが多いことが特徴的である。また「5人」は2割弱、「6人」は1割強を占めており、「1人」の割合より多い。

調査期間中の変動を反映する「個体内」の度数をみると、最もパーセンテージが大きいのは「2人」であり、次いで「1人」「4人」「3人」の割合が多い。この結果は調査期間中、たとえば2人と回答した人のうち、全期間の回答のうちの「2人」だった期間の割合を示したものであるため、数値が大きいほど変動が少ないことになる。「2人」世帯は安定的に長期間続く傾向があること、「2人」と比べると「1人」「3人」「4人」のほうが人数の変動がみられるといえる。さらに大人数の世帯では数値が小さいため、世帯人員数の変動が起こりやすいと読み取れるが、そもそも該当数が少なく、誤差の大きい結果であることに留意が必要である。

一緒に住んでいる相手

一緒に住んでいる人を複数回答形式でたずねた結果が表 4.8.2～4.8.14 にわたって示されている。「自分自身」は「全体」「個体間」「個体内」ともに100%であるのは、質問紙で「あなたを含めて」となっているためである。回答者が選び忘れているケースは、データクリーニング段階で修正されている。

「全体」「個体間」の数値をみると、同居者として回答割合が高いものは、まず「自分の配偶者」であり約8割を占め、次いで「自分の子ども」（約6割）である。親との同居状況を見ると、「自分の父」は1割程度なのに対し、「自分の母」は15%以上である。「自分の義父」は5%ほどであり、「自分の義母」の割合は義父よりも3～4ポイント高い。親と同居している割合は、自分の親 > 自分の義親であり、かつ母親

> 父親という傾向があることが分かる。

次いで同居割合が高いのは、「自分の孫」であり、「子どもの配偶者」、「自分の兄弟姉妹」が続くが、これらは 5%に満たない。「自分の祖父母」「配偶者の祖父母」「配偶者の兄弟姉妹」と同居している者は、ごくわずかである。

「個体内」の数値を見てみよう。「住んでいない」「住んでいる」割合の違いに着目して見てみると、「住んでいる」の割合が「住んでいない」よりも多いのは「自分の配偶者」と「自分の子ども」のみである。5 時点の観察期間を通じて配偶者や子と同居の状態だった人が多いことがうかがえる。

「自分の配偶者」と「自分の子ども」以外の同居者の場合は、「個体内」が「住んでいない」となっている割合が 100%に近い値となっている。「自分の配偶者」と「自分の子ども」以外のメンバーについては、ある時点で「住んでいない」と回答した人が、「住んでいる」という状態に変化することは希であるといえよう。

世帯年収・本人年収・配偶者年収

「去年 1 年間の収入は、税込みではどれに近いでしょうか。あなたご自身、配偶者の方、世帯全体のそれぞれについて、お答えください。臨時収入、副収入、年金も含めてください」と質問した。表 4.8.15 はこの世帯収入の集計結果である。世帯収入は、wave2 を除く 4 時点で調査がなされている。1,858 人×4 時点=7,432 に対し、「全体」の回答数は 7,241 であり、未観察の割合は少ない。回答分布を見ると、「全体」「個体内」では 200 万円台から 700 万円台に多く分布していることが確認できる。「個体内」が示す数値はほとんどが 30~40%台であり、世帯収入は観測した 4 時点の間で変動する割合が多いことがうかがえる。

なお表 4.8.16 は男性回答者、表 4.8.17 は女性回答者の本人収入の集計結果である。また、表 4.8.18 は男性回答者、表 4.8.19 は女性回答者の配偶者収入の集計結果である。男性（男性回答者の本人収入や女性回答者の配偶者収入）では、200 万円台から 500 万円台に比較的集中しており、女性（女性の本人収入や男性の配偶者収入）では、300 万円未満で大半を占めている。「個体内」のパーセントの値をみると、男性は概ね 4 割台後半、女性は 5 割台で、男性のほうが変動する割合が多いことがわかる。

松井真一（岐阜大学）

サポート・ネットワーク（援助や相談相手）

「あなたは、次の（ア）～（エ）のような問題で援助や相談相手がほしいとき、どのような人や機関を頼りにしますか。それぞれの場合について、あてはまるものに○をつけてください」と質問している。この設問の具体的な質問項目と、調査実施時点は以下のとおりである。wave2 の調査では設問がなく、（エ）については wave1 と wave5 のみ実施されている点に注意が必要である。なお、分析の結果、ほとんど

回答者から選択されないもの（例：自分の介護を必要とするときに、親に頼る、など）は、集計表の掲載を割愛した。

（ア）問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したとき・・・wave1,3,4,5

（イ）急いでお金（30万円程度）を借りなければならないとき・・・wave1,3,4,5

（ウ）あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき・・・
wave1,3,4,5

（エ）あなたが寝たきりなどで、介護を必要とするようになったとき・・・wave1,5

まず、援助や相談相手についてみていく。「問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したとき」に頼りにする相手として「配偶者」をあげた回答者のうち約9割の者は次の調査時点においても頼りにする相手として「配偶者」をあげており、配偶者は援助や相談相手として極めて安定的に頼りにされていることがわかる。また、「自分の親」、「子ども」についても、これらを頼りにすると回答した者のうち7割を超える回答者が調査時点を超えて引き続き頼りにする相手として挙げている。その他の親族について調査時点間で連続して名前が挙げられている割合をみると、「兄弟姉妹」（約6割強）、「配偶者の親」（約5割）、「配偶者の兄弟姉妹」（約4割）、「子どもの配偶者」（約3割）、「その他の親族」（約3割）となっている。親族以外では、「友人や職場の同僚」が約6割となっており、親族以外のグループのなかでは比較的安定して相談相手として選ばれている。

「急いでお金（30万円程度）を借りなければならないとき」に頼りにする相手としては、「配偶者」と「自分の親」が調査時点を超えて安定的に名前が挙げられている。「兄弟姉妹」、「子ども」、「配偶者の親」についても6割から6割強の割合で連続して名前が挙げられており、頼りにされる傾向が安定していることがうかがえる。一方で「誰もいない」と答えた回答者のうち約5割は次の調査時点においても頼る相手がおらず、金銭的な支援を頼るような関係は情緒的な支援を頼る関係と比べて築くのが困難であることがうかがえる。

「あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき」に頼りにする相手として「配偶者」、「自分の親」、「子ども」と答えた回答者は、次の調査時点においても7割以上の割合で同じ人の名前を挙げている。「兄弟姉妹」や「配偶者の親」もその他のグループに比べれば比較的安定して名前が挙げられており、病気や事故の際に必要な人手の援助は本人と関係が近い人を頼りにする傾向がみられる。金銭的な支援と同様に、ここでも「誰もいない」と答えた回答者のうち約5割は次の調査時点においても頼る相手がいない。

家族に関する意識

ここでは家族に関する意識についてみていく。「次のような意見について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちにもっとも近いものをそれぞれ1つずつ選んでください」と質問した。集計結果は表4.8.57から表4.8.65までである。

「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方については、「そう思う」と回答した者は1割に満たず「どちらかといえばそう思う」と回答した者と併せても4割強となっている。「子どもが3歳までは母親は育児に専念すべき」および「家族を養うのは男性の役割」という考え方については、いずれの質問でも「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した者は併せて約7割となっており、子育てにおける母親の役割と稼ぎ手における男性の役割が強く意識されていることがうかがえる。

「夫婦はお互いの同意があれば入籍しなくてもかまわない」という考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した者は約3割にとどまっており、入籍を支持する傾向がみえる。「結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」という考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した者は併せて約4割となっている。「結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」として支持する傾向を示したものが4割強にのぼっており、離婚についての考え方は支持と不支持が拮抗している。

「親が年をとって、自分たちだけでは暮らしていけなくなったら、子どもは親と同居すべきだ」という考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した者は併せて約5割となっており、生活の支援を必要とする親との同居についての考え方において明確な支持傾向は見いだせない。一方で、「年をとって収入がなくなった親を扶養するのは、子どもの責任だ」、「親が寝たきりになった時、子どもが介護するのは当たり前のことだ」という考え方については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答するものが併せて約6割となっており、子どもが親の面倒をみるという考えについては支持される傾向にある。

表4.8.1 問23.同居人数(n=1877)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
1人	510	6.3	176	9.4	68.8
2人	2134	26.3	633	33.7	76.7
3人	1848	22.8	658	35.1	64.7
4人	1865	23.0	641	34.2	68.2
5人	939	11.6	347	18.5	63.3
6人	548	6.8	208	11.1	60.5
7人	189	2.3	81	4.3	54.0
8人	69	0.9	27	1.4	58.0
9人	10	0.1	7	0.4	34.1
10人	2	0.0	2	0.1	22.5
計	8114	100.0	2780	148.1	67.5

(n=1877)

表4.8.2 問24.同居者（複数回答） 自分自身(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいる	8135	100.0	1878	100.0	100.0
計	8135	100.0	1878	100.0	100.0

(n=1878)

表4.8.3 問24.同居者（複数回答） 自分の配偶者(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	1655	20.4	496	26.4	82.3
住んでいる	6472	79.6	1533	81.6	95.9
計	8127	100.0	2029	108.0	92.6

(n=1878)

表4.8.4 問24.同居者（複数回答） 自分の子ども(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	3201	39.4	868	46.2	85.8
住んでいる	4929	60.6	1239	66.0	91.4
計	8130	100.0	2107	112.2	89.1

(n=1878)

表4.8.5 問24.同居者（複数回答） 自分の父(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7333	90.2	1726	91.9	97.5
住んでいる	796	9.8	244	13.0	79.7
計	8129	100.0	1970	104.9	95.3

(n=1878)

表4.8.6 問24.同居者（複数回答） 自分の母(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	6904	84.9	1644	87.5	96.6
住んでいる	1225	15.1	357	19.0	81.2
計	8129	100.0	2001	106.6	93.9

(n=1878)

表4.8.7 問24.同居者（複数回答） 自分の義父(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7754	95.4	1815	96.7	98.9
住んでいる	374	4.6	102	5.4	81.0
計	8128	100.0	1917	102.1	98.0

(n=1878)

表4.8.8 問24.同居者（複数回答） 自分の義母(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7504	92.3	1769	94.2	98.2
住んでいる	624	7.7	175	9.3	80.1
計	8128	100.0	1944	103.5	96.6

(n=1878)

表4.8.9 問24.同居者（複数回答） 自分の祖父母(n=1862)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7670	99.2	1852	99.5	99.6
住んでいる	63	0.8	29	1.6	61.1
計	7733	100.0	1881	101.0	99.0

(n=1878)

表4.8.10 問24.同居者（複数回答） 配偶者の祖父母(n=1862)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7711	99.7	1860	99.9	99.9
住んでいる	22	0.3	6	0.3	74.2
計	7733	100.0	1866	100.2	99.8

(n=1878)

表4.8.11 問24.同居者（複数回答） 自分の兄弟姉妹(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7874	96.9	1823	97.1	99.2
住んでいる	254	3.1	91	4.9	76.3
計	8128	100.0	1914	101.9	98.1

(n=1878)

表4.8.12 問24.同居者（複数回答） 配偶者の兄弟姉妹(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	8118	99.9	1878	100.0	99.9
住んでいる	10	0.1	5	0.3	51.3
計	8128	100.0	1883	100.3	99.7

(n=1878)

表4.8.13 問24.同居者（複数回答） 子どもの配偶者(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7762	95.5	1831	97.5	97.8
住んでいる	366	4.5	126	6.7	69.8
計	8128	100.0	1957	104.2	96.0

(n=1878)

表4.8.14 問24.同居者（複数回答） 自分の孫(n=1878)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
住んでいない	7627	93.8	1796	95.6	98.1
住んでいる	501	6.2	149	7.9	77.5
計	8128	100.0	1945	103.6	96.6

(n=1878)

表4.8.15 問28.世帯収入(n=1858)

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
収入はなかった	43	0.6	26	1.4	43.3
100万円未満	107	1.5	65	3.5	47.4
100～129万円台	104	1.4	83	4.5	38.0
130～199万円台	258	3.6	164	8.8	41.0
200～299万円台	664	9.2	392	21.1	45.1
300～399万円台	960	13.3	539	29.0	46.7
400～499万円台	901	12.4	530	28.5	42.5
500～599万円台	822	11.4	519	27.9	41.1
600～699万円台	762	10.5	486	26.2	40.5
700～799万円台	600	8.3	396	21.3	38.6
800～899万円台	497	6.9	327	17.6	37.4
900～999万円台	378	5.2	269	14.5	34.5
1000～1099万円台	371	5.1	239	12.9	38.4
1100～1199万円台	172	2.4	132	7.1	33.2
1200～1299万円台	155	2.1	119	6.4	32.2
1300～1399万円台	94	1.3	74	4.0	32.5
1400～1499万円台	71	1.0	54	2.9	31.6
1500～1599万円台	86	1.2	64	3.4	33.2
1600万円以上	196	2.7	96	5.2	51.8
計	7241	100.0	4574	246.2	40.6

(n=1858)

表4.8.16 問28.本人収入（男性）

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
収入はなかった	64	1.9	31	3.7	52.0
100万円未満	139	4.0	80	9.6	48.8
100～129万円台	100	2.9	74	8.9	34.9
130～199万円台	260	7.5	148	17.8	40.0
200～299万円台	615	17.9	277	33.3	51.8
300～399万円台	609	17.7	290	34.9	52.0
400～499万円台	395	11.5	218	26.2	44.3
500～599万円台	380	11.0	191	23.0	48.1
600～699万円台	250	7.3	136	16.4	43.9
700～799万円台	212	6.2	114	13.7	44.3
800～899万円台	159	4.6	84	10.1	46.3
900～999万円台	90	2.6	51	6.1	38.3
1000～1099万円台	52	1.5	35	4.2	32.4
1100～1199万円台	28	0.8	18	2.2	35.8
1200～1299万円台	48	1.4	28	3.4	41.4
1300～1399万円台	6	0.2	4	0.5	31.3
1400～1499万円台	4	0.1	4	0.5	21.3
1500～1599万円台	5	0.2	3	0.4	38.3
1600万円以上	30	0.9	15	1.8	46.4
計	3446	100.0	1801	216.7	46.1

(n=831)

表4.8.17 問28.本人収入（女性）

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
収入はなかった	812	17.7	313	30.0	59.0
100万円未満	1428	31.2	534	51.1	61.2
100～129万円台	550	12.0	275	26.3	44.9
130～199万円台	494	10.8	246	23.5	46.2
200～299万円台	497	10.9	222	21.2	50.6
300～399万円台	323	7.1	155	14.8	48.1
400～499万円台	184	4.0	97	9.3	45.3
500～599万円台	114	2.5	64	6.1	39.2
600～699万円台	81	1.8	48	4.6	41.1
700～799万円台	52	1.1	27	2.6	42.5
800～899万円台	24	0.5	14	1.3	36.0
900～999万円台	4	0.1	4	0.4	23.3
1000～1099万円台	2	0.0	2	0.2	20.0
1200～1299万円台	4	0.1	3	0.3	53.3
1500～1599万円台	3	0.1	2	0.2	30.0
1600万円以上	5	0.1	5	0.5	21.0
計	4577	100.0	2011	192.4	52.0

(n=1045)

表4.8.18 問28.配偶者収入（男性）

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
収入はなかった	703	21.7	261	32.2	65.4
100万円未満	926	28.5	377	46.5	59.7
100～129万円台	338	10.4	185	22.8	43.5
130～199万円台	241	7.4	125	15.4	45.5
200～299万円台	260	8.0	122	15.1	53.4
300～399万円台	135	4.2	71	8.8	44.9
400～499万円台	72	2.2	40	4.9	43.8
500～599万円台	69	2.1	38	4.7	43.3
600～699万円台	32	1.0	18	2.2	38.3
700～799万円台	31	1.0	16	2.0	44.1
800～899万円台	24	0.7	12	1.5	43.3
900～999万円台	5	0.2	2	0.3	70.0
1000～1099万円台	1	0.0	1	0.1	20.0
1100～1199万円台	1	0.0	1	0.1	20.0
1200～1299万円台	1	0.0	1	0.1	25.0
1300～1399万円台	1	0.0	1	0.1	25.0
1600万円以上	3	0.1	3	0.4	30.0
配偶者はいない	403	12.4	135	16.7	91.4
計	3246	100.0	1409	174.0	57.5

(n=810)

表4.8.19 問28.配偶者収入（女性）

	全体		個体間		個体内
	度数	%	度数	%	%
収入はなかった	58	1.3	37	3.6	38.1
100万円未満	145	3.4	84	8.2	42.5
100～129万円台	91	2.1	61	5.9	33.7
130～199万円台	225	5.2	133	13.0	40.4
200～299万円台	552	12.8	254	24.7	49.9
300～399万円台	676	15.7	325	31.7	48.1
400～499万円台	514	11.9	264	25.7	43.6
500～599万円台	430	10.0	219	21.3	44.5
600～699万円台	268	6.2	153	14.9	41.3
700～799万円台	186	4.3	112	10.9	37.1
800～899万円台	157	3.6	88	8.6	38.7
900～999万円台	84	1.9	47	4.6	38.7
1000～1099万円台	82	1.9	46	4.5	41.1
1100～1199万円台	24	0.6	19	1.9	26.5
1200～1299万円台	39	0.9	28	2.7	30.6
1300～1399万円台	9	0.2	9	0.9	22.0
1400～1499万円台	8	0.2	6	0.6	28.9
1500～1599万円台	5	0.1	5	0.5	20.0
1600万円以上	31	0.7	16	1.6	45.0
配偶者はいない	736	17.0	231	22.5	89.2
計	4320	100.0	2137	208.1	48.1

(n=1027)

表4.8.20 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
配偶者

	しない	する	計
しない	80.3	19.7	100.0
する	11.1	88.9	100.0
計	34.7	65.3	100.0

表4.8.21 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
自分の親

	しない	する	計
しない	90.9	9.1	100.0
する	24.0	76.0	100.0
計	73.4	26.6	100.0

表4.8.22 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	87.4	12.6	100.0
する	33.5	66.5	100.0
計	72.9	27.1	100.0

表4.8.23 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
子ども

	しない	する	計
しない	86.9	13.1	100.0
する	29.4	70.7	100.0
計	69.7	30.3	100.0

表4.8.24 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
配偶者の親

	しない	する	計
しない	97.6	2.4	100.0
する	47.4	52.6	100.0
計	95.3	4.7	100.0

表4.8.25 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
配偶者の兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	97.9	2.1	100.0
する	59.1	40.9	100.0
計	96.5	3.5	100.0

表4.8.26 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
子どもの配偶者

	しない	する	計
しない	98.5	1.5	100.0
する	70.4	29.6	100.0
計	97.8	2.2	100.0

表4.8.27 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
その他の親族

	しない	する	計
しない	97.4	2.6	100.0
する	66.7	33.3	100.0
計	96.2	3.8	100.0

表4.8.28 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
友人や職場の同僚

	しない	する	計
しない	82.6	17.4	100.0
する	34.3	65.8	100.0
計	65.0	35.0	100.0

表4.8.29 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
近所の人

	しない	する	計
しない	97.0	3.0	100.0
する	60.3	39.7	100.0
計	95.5	4.5	100.0

表4.8.30 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
 専門家やサービス機関

	しない	する	計
しない	94.7	5.3	100.0
する	60.5	39.5	100.0
計	92.0	8.0	100.0

表4.8.31 問27.頼りにする人や機関

(ア) 問題を抱えて、落ち込んだり、混乱したりしたとき (複数回答)
 誰もいない

	しない	する	計
しない	97.7	2.4	100.0
する	68.2	31.8	100.0
計	96.6	3.4	100.0

表4.8.32 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金 (30万円程度) を借りなければならないとき (複数回答)
 配偶者

	しない	する	計
しない	81.6	18.4	100.0
する	24.4	75.6	100.0
計	55.4	44.6	100.0

表4.8.33 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金 (30万円程度) を借りなければならないとき (複数回答)
 自分の親

	しない	する	計
しない	91.9	8.1	100.0
する	17.5	82.5	100.0
計	64.1	35.9	100.0

表4.8.34 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金 (30万円程度) を借りなければならないとき (複数回答)
 兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	90.1	9.9	100.0
する	39.4	60.6	100.0
計	79.8	20.2	100.0

表4.8.35 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
子ども

	しない	する	計
しない	91.1	8.9	100.0
する	33.0	67.0	100.0
計	80.0	20.0	100.0

表4.8.36 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
配偶者の親

	しない	する	計
しない	95.9	4.1	100.0
する	41.2	58.8	100.0
計	91.0	9.1	100.0

表4.8.37 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
配偶者の兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	98.1	1.9	100.0
する	58.7	41.3	100.0
計	96.9	3.2	100.0

表4.8.38 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
子どもの配偶者

	しない	する	計
しない	99.3	0.8	100.0
する	72.7	27.3	100.0
計	99.1	1.0	100.0

表4.8.39 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
その他の親族

	しない	する	計
しない	98.5	1.5	100.0
する	67.1	32.9	100.0
計	97.6	2.4	100.0

表4.8.40 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
友人や職場の同僚

	しない	する	計
しない	97.1	2.9	100.0
する	60.0	40.0	100.0
計	95.7	4.3	100.0

表4.8.41 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
近所の人

	しない	する	計
しない	99.8	0.2	100.0
する	62.5	37.5	100.0
計	99.7	0.3	100.0

表4.8.42 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
専門家やサービス機関

	しない	する	計
しない	92.8	7.2	100.0
する	59.3	40.7	100.0
計	89.6	10.4	100.0

表4.8.43 問27.頼りにする人や機関

(イ) 急いでお金(30万円程度)を借りなければならないとき(複数回答)
誰もいない

	しない	する	計
しない	96.9	3.2	100.0
する	52.5	47.5	100.0
計	94.5	5.5	100.0

表4.8.44 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき(複数回答)
配偶者

	しない	する	計
しない	73.3	26.7	100.0
する	26.3	73.7	100.0
計	48.3	51.7	100.0

表4.8.45 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
自分の親

	しない	する	計
しない	91.9	8.1	100.0
する	23.3	76.7	100.0
計	69.5	30.5	100.0

表4.8.46 問27.頼りにする人や機関 (ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答) 兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	82.7	17.3	100.0
する	31.8	68.2	100.0
計	64.4	35.6	100.0

表4.8.47 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
子ども

	しない	する	計
しない	80.8	19.2	100.0
する	23.5	76.5	100.0
計	57.0	43.0	100.0

表4.8.48 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
配偶者の親

	しない	する	計
しない	94.4	5.6	100.0
する	33.9	66.1	100.0
計	84.6	15.4	100.0

表4.8.49 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
配偶者の兄弟姉妹

	しない	する	計
しない	93.2	6.8	100.0
する	51.6	48.4	100.0
計	88.3	11.7	100.0

表4.8.50 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
子どもの配偶者

	しない	する	計
しない	96.4	3.6	100.0
する	60.4	39.6	100.0
計	94.4	5.6	100.0

表4.8.51 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
その他の親族

	しない	する	計
しない	95.0	5.0	100.0
する	67.8	32.2	100.0
計	92.8	7.2	100.0

表4.8.52 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
友人や職場の同僚

	しない	する	計
しない	93.7	6.4	100.0
する	57.6	42.4	100.0
計	89.5	10.5	100.0

表4.8.53 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
近所の人

	しない	する	計
しない	95.6	4.4	100.0
する	69.2	30.8	100.0
計	93.7	6.3	100.0

表4.8.54 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
専門家やサービス機関

	しない	する	計
しない	88.2	11.8	100.0
する	62.2	37.8	100.0
計	84.5	15.5	100.0

表4.8.55 問27.頼りにする人や機関

(ウ) あなたや家族の誰かが病気や事故で、どうしても人手が必要なとき (複数回答)
誰もいない

	しない	する	計
しない	98.4	1.7	100.0
する	51.9	48.1	100.0
計	97.1	2.9	100.0

表4.8.56 問27.頼りにする人や機関

(エ) あなたが寝たきりなどで、介護を必要とするようになったとき (複数回答)
専門家やサービス機関

	しない	する	計
しない	50.0	50.0	100.0
する	0.0	100.0	100.0
計	40.0	60.0	100.0

表4.8.57 問3.家族に関する意識

(ア) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだ

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	48.7	42.0	4.4	4.9	100.0
どちらかといえばそう思う	5.9	66.0	19.5	8.7	100.0
どちらかといえばそう思わない	1.2	28.2	45.7	24.9	100.0
そう思わない	1.3	10.7	25.4	62.6	100.0
計	6.6	39.4	26.6	27.4	100.0

表4.8.58 問3.家族に関する意識

(イ) 子どもが3歳までは母親は育児に専念すべき

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	64.2	28.9	4.1	2.8	100.0
どちらかといえばそう思う	15.8	64.8	15.3	4.1	100.0
どちらかといえばそう思わない	4.9	34.8	46.3	14.1	100.0
そう思わない	4.9	13.0	23.1	59.1	100.0
計	27.2	42.9	17.8	12.2	100.0

表4.8.59 問3.家族に関する意識
 (ウ) 家族を養うのは男性の役割

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	56.4	37.4	3.4	2.8	100.0
どちらかといえばそう思う	14.1	66.4	14.5	5.0	100.0
どちらかといえばそう思わない	6.3	36.9	38.0	18.8	100.0
そう思わない	5.0	16.1	24.0	54.9	100.0
計	21.8	47.7	17.0	13.6	100.0

表4.8.60 問3.家族に関する意識
 (エ) 夫婦はお互いの同意があれば入籍しなくてもかまわない

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	44.1	28.8	14.1	13.1	100.0
どちらかといえばそう思う	18.3	41.7	29.0	11.1	100.0
どちらかといえばそう思わない	3.5	18.0	53.4	25.2	100.0
そう思わない	3.1	4.8	21.6	70.6	100.0
計	10.0	17.6	31.8	40.7	100.0

表4.8.61 問3.家族に関する意識
 (オ) 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	52.9	26.4	12.6	8.2	100.0
どちらかといえばそう思う	19.0	49.1	26.0	5.9	100.0
どちらかといえばそう思わない	5.2	20.9	50.8	23.1	100.0
そう思わない	4.5	5.6	26.5	63.4	100.0
計	15.8	23.8	31.9	28.6	100.0

表4.8.62 問3.家族に関する意識
 (カ) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	46.6	33.6	12.2	7.6	100.0
どちらかといえばそう思う	11.6	58.4	25.1	4.9	100.0
どちらかといえばそう思わない	2.9	27.1	56.5	13.5	100.0
そう思わない	6.3	10.2	33.5	50.1	100.0
計	11.9	36.0	36.1	16.0	100.0

表4.8.63 問3.家族に関する意識

(キ) 親が年をとって自分たちだけでは暮らしていけなくなったら同居すべきだ

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	43.5	38.6	9.3	8.7	100.0
どちらかといえばそう思う	8.2	60.6	23.8	7.5	100.0
どちらかといえばそう思わない	4.0	25.6	52.4	18.0	100.0
そう思わない	5.0	17.7	32.7	44.5	100.0
計	10.4	39.5	32.5	17.6	100.0

表4.8.64 問3.家族に関する意識

(ク) 年をとった親を扶養するのは子どもの責任だ

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	49.1	39.2	6.7	5.0	100.0
どちらかといえばそう思う	14.5	62.2	17.6	5.7	100.0
どちらかといえばそう思わない	6.0	35.6	43.7	14.7	100.0
そう思わない	8.6	17.4	29.1	44.9	100.0
計	18.6	45.4	22.9	13.2	100.0

表4.8.65 問3.家族に関する意識

(ケ) 親の介護を子どもがするのは当たり前

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	計
そう思う	44.8	42.0	6.5	6.7	100.0
どちらかといえばそう思う	12.5	60.9	20.4	6.2	100.0
どちらかといえばそう思わない	4.7	29.0	52.5	13.9	100.0
そう思わない	5.3	19.2	32.4	43.0	100.0
計	15.3	43.8	27.9	13.1	100.0